

福岡市

障がい者の地域生活への移行に関する調査 報告書

内容

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象者	1
3 調査内容	1
4 調査票の種類（合計 6 種類）	1
5 調査方法	2
6 スケジュール	2
調査（1）【入所施設・事業者からの回答】	3
1：入所されている障がい者の方で対象となる障がい	3
2：入所者が負担する 1 ヶ月の費用（滞在費・食費・寝具料など）の平均金額	3
3：入所者数について	3
4：入所者の年代	4
5：手帳の所持（重複障がい者の場合もそれぞれカウントする）	4
6：障がい支援区分	5
7：入所期間	5
8：平成 28 年 4 月以降に施設を退所し、地域での生活（グループホーム、アパート、自宅等 での生活）に移行した人はいますか。	6
9：地域での生活（地域移行）を進めるために必要な取組の優先度を教えてください。	6
10：地域生活への移行を希望する入所者に対してどんな支援を行っていますか。（複数回答）	12
11：あなたの施設の現在の地域生活移行に対する取組姿勢は、以下のいずれですか。	12
12：あなたの施設の今後の地域生活移行の取組方針は、以下のいずれですか。	12
13：将来のニーズを把握するため、以下の質問にお答えください。	13
調査（2）【グループホーム・事業者からの回答】	14
1：利用されている障がい者の方で対象となる障がい	14

2 : 対象となるサービス類型を教えてください。	14
3 : 利用者が負担する家賃の平均金額	14
4 : 利用者が負担する1ヶ月の費用（食費・水光費など）の最高金額と最低金額	14
5 : 貴グループホーム開設を希望したのは誰ですか。（複数回答）	14
6 : 土地や建物の所有について、あてはまるものはどれですか。（複数回答）	14
7 : 貴グループホームは何らかの災害・防犯対策を行っていますか。（複数回答）	15
8 : 貴法人は行政から避難所指定を受けていますか。	15
9 : 災害・防災の観点から気になっている点などありましたらご記入ください。	15
10 : 現在の利用者について以下の項目について回答してください。	16
11 : グループホームを退去し、入居施設に入所した人（平成28年4月以降）はいますか。	21
12 : グループホームの開設とその後の運営において、困難な事柄がありましたか。	21
13 : グループホームを開設する際、各種法令上の項目は、どなたがチェックを行っていますか。	25
14 : 地域や関係機関等との関わりについてあてはまるものを回答してください。	25
15 : 安定した収支を確保するうえでは、どのような改善が必要だと思われませんか。	28
16 : 職員を継続的に確保していくうえでは、どのような改善が必要だと思われませんか。 ...	31
17 : 現在の利用者のうち、重度障害者支援加算対象の利用者はいますか。	32
18 : 今年度中に、新たに重度障害者支援加算対象に該当する人を受け入れる予定はありますか。	32
19 : 重度障害者支援加算対象となるような障がいの重い人（障がい支援区分5・6程度の人） のグループホームの入居ができない（進まない）と思われる理由（要因）は何だと思われ ますか。	33
20 : 新たにグループホームを設置する予定について回答ください。	35
21 : 地域での生活（地域移行）を進めるために必要な取組の優先度を教えてください。 ...	37
22 : アパート等での1人暮らしの実現にむけ、入居者に対してどんな支援を行っていますか。	44
23 : グループホーム入居者がアパート等の民間賃貸住宅に入居する際に、問題になった事項 がありましたか。	45
24 : 将来のニーズを把握するため、質問にお答えください。	46
調査（3）【入所施設・入所者からの回答】	47
1 : 年齢と性別を教えてください。	47
2 : 入所して何年になりますか。	47
3 : 持っている手帳を教えてください。	47
4 : 障がい支援区分はどれに当てはまりますか。	48
5 : 要介護認定はどれに当てはまりますか。	49

6 : ご両親の年齢を教えてください。	49
7 : 今の暮らしは楽しいですか。	49
8 : とても楽しい、楽しいと答えた方 一番楽しいことを教えてください。	49
9 : 楽しくないと答えた方 楽しくないのはなぜですか。	49
10 : 月のうち何日くらい外出しますか。(生活介護・通院等への通所は含みません)	49
11 : 施設の行事以外の外出はありますか。その外出は誰としますか。	50
12 : 1か月で自由に使えるお金はいくらですか。	50
13 : 食事はおいしいですか。	50
14 : 一番楽しみなメニューは何ですか。	50
15 : あなたはこれからもずっとこの施設で暮らしたいですか。1つだけ回答してください。	50
16 : どうしてそう思うのですか。	51
17 : もし地域での生活をするとしたら、どのような支援やサービスがあればよいと思いますか。	51
18 : この調査票はどなたが記入しましたか。	57
調査(4)【グループホーム・利用者からの回答】	58
1 : 年齢と性別を教えてください。	58
2 : 入居して何年になりますか。	58
3 : 持っている手帳を教えてください。	58
4 : 障がい支援区分はどれに当てはまりますか。	59
5 : 要介護認定はどれに当てはまりますか。	60
6 : ご両親の年齢を教えてください。	60
7 : 今の暮らしは楽しいですか。	60
8 : とても楽しい、楽しいと答えた方 一番楽しいことを教えてください。	60
9 : 楽しくないと答えた方 楽しくないのはなぜですか。	60
10 : 月のうち何日くらい外出しますか。(生活介護・通院等への通所は含みません)	61
11 : ホームの行事以外の外出はありますか。その外出は誰としますか。	61
12 : 1か月で自由に使えるお金はいくらですか。	61
13 : 食事はおいしいですか。	61
14 : 一番楽しみなメニューは何ですか。	61
15 : 仲間たちと気が合いますか。	61
16 : 職員さんたちと気が合いますか。	61
17 : あなたはこれからもずっとこのホームで暮らしたいですか。1つだけ回答してください。	61
18 : どうしてそう思うのですか。	62

19：もし地域での生活をするとしたら、どのような支援やサービスがあればよいと思いますか。	62
20：この調査票はどなたが記入しましたか。	70
調査（5）【入所施設・家族等からの回答】	71
1：入所者との関係と年齢を教えてください。	71
2：入所者の今後の暮らし方についてどのように考えられていますか。	71
3：現在の入所施設を退去し、地域での生活をするると仮定した場合、どのような支援やサービスがあればよいと思いますか。	71
調査（6）【グループホーム・家族等からの回答】	79
1：利用者の年齢と性別を教えてください。	79
2：グループホーム利用者の今後の暮らし方についてどのように考えられていますか。	79
3：現在、グループホームを利用している方が、地域での生活をするると仮定した場合、どのような支援やサービスがあればよいと思いますか。	79

I 調査の概要

1 調査の目的

地域生活移行部会において障がい者の地域生活への移行（住まいを施設や病院から単に元の家族に戻すことではなく、障がい者個人が市民として、自ら選んだ住まいで安心して自分らしく暮らしを実現すること。）を推進するための新たな手法や施策について検討を行うための、入所施設の入所者および共同生活援助（以下「グループホーム」という。）の利用者の基礎的なデータと、サービス提供事業者や入所者・利用者およびその家族等のニーズ等を把握するため。

2 調査対象者

- (1) 福岡市内にあるすべての入所施設およびグループホーム事業所
 - ①入所施設 13カ所
 - ②グループホーム 約140カ所
- (2) 福岡市内にある入所施設及びグループホームの利用者で、福岡市内で支給決定を受けている者および保護者
 - ①入所施設 約700名（定員）
 - ②グループホーム 約900名（定員）

3 調査内容

調査対象		調査概要
事業者	入所施設	①入所者・利用者の状況 ②施設から地域への生活への移行状況 ③地域生活への移行に関すること (課題・考え方・必要な施策)
	グループホーム	①入所者・利用者の状況 ②施設から地域、地域から施設への移行状況 ③地域生活移行に関すること (課題・考え方・必要な施策) ④設置に関すること (課題・障がいの重い方の受け入れ)
入所施設入所者 グループホーム利用者 入所施設入所者の家族等 グループホーム利用者の家族等		①ご自身状況、ご関係 ②将来の希望 ③地域生活移行に関すること（課題） ④行政への要望

4 調査票の種類（合計6種類）

- ・調査（1）【入所施設・事業者用】
- ・調査（2）【グループホーム・事業者用】
- ・調査（3）【入所施設・入所者用】
- ・調査（4）【グループホーム・利用者用】
- ・調査（5）【入所施設・家族等用】
- ・調査（6）【グループホーム・家族等用】

5 調査方法

調査票による全数（悉皆）調査

事業者：委託事業者から事業者宛に送付、事業者から委託事業者へ郵送

利用者：委託事業者から事業者宛に送付、事業者から利用者へ手渡し、利用者から委託事業者へ郵送

家族等：委託事業者から事業者へ送付、事業者から家族等へ郵送、家族等から委託事業者へ郵送

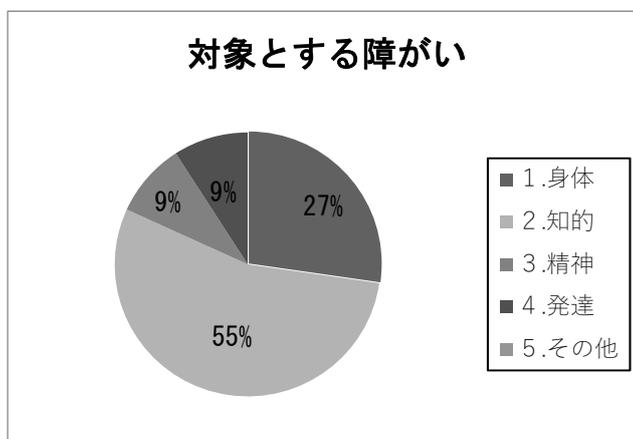
6 スケジュール

平成31年1月	調査票送付
2月	回収、集計表作成
3月	報告書作成

調査（１）【入所施設・事業者からの回答】

１：入所されている障がい者の方で対象となる障がい

有効回答数 8 件
 (全 13 件中)
 身体… 3 施設
 知的… 6 施設
 精神… 1 施設
 発達… 1 施設

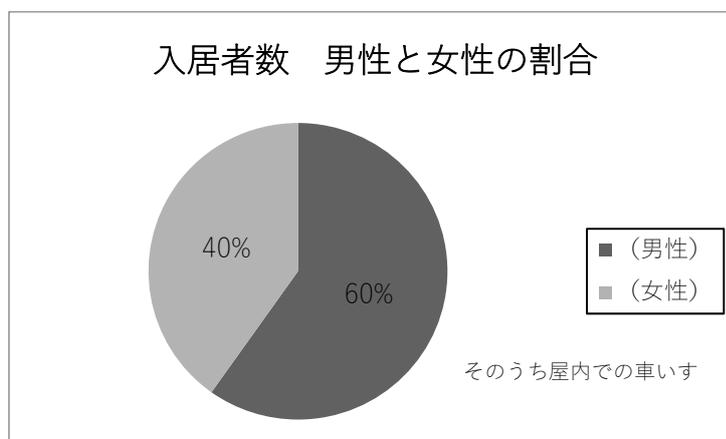


２：入所者が負担する 1 ヶ月の費用（滞在費・食費・寝具料など）の平均金額

約 42,000 円

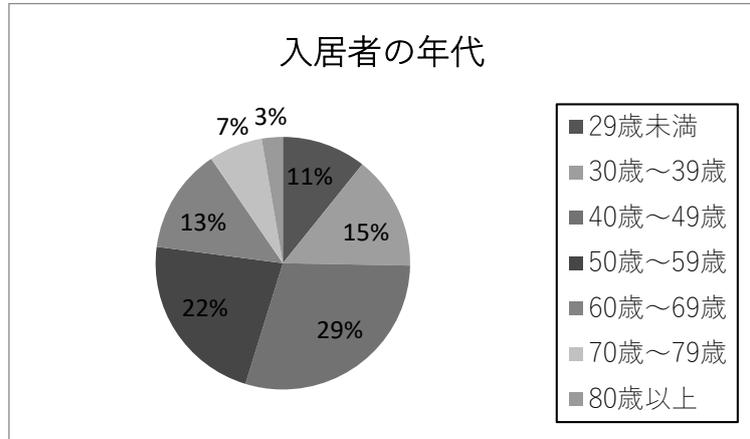
３：入所者数について

合計 336 人
 男性 201 人
 女性 135 人



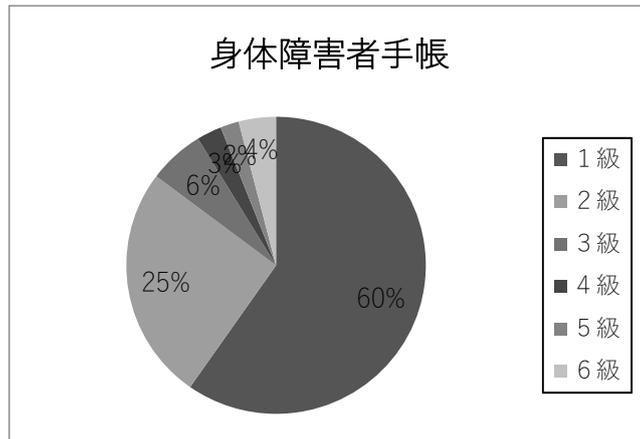
4：入所者の年代

29歳未満……………36人
 30歳～39歳…49人
 40歳～49歳…99人
 50歳～59歳…75人
 60歳～69歳…45人
 70歳～79歳…23人
 80歳以上……………9人



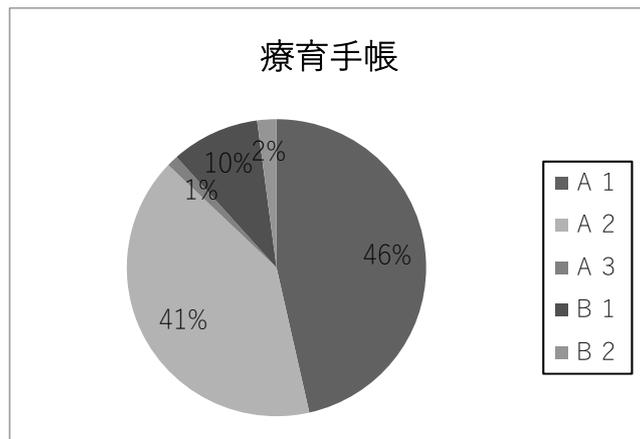
5：手帳の所持（重複障がい者の場合もそれぞれカウントする）

身体障害者手帳
 1級…89人
 2級…38人
 3級…9人
 4級…4人
 5級…3人
 6級…6人



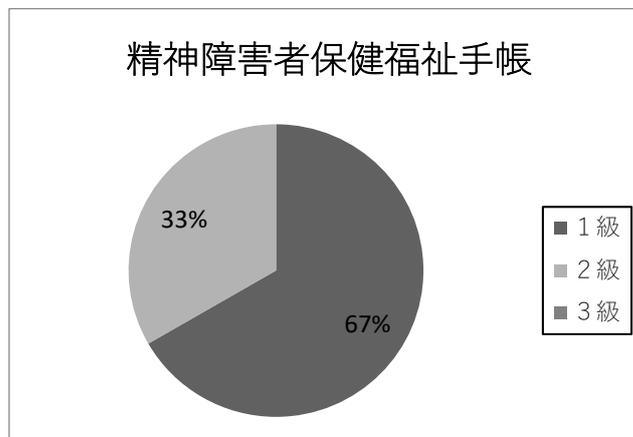
療育手帳

A1…112人
 A2…98人
 A3…3人
 B1…23人
 B2…5人



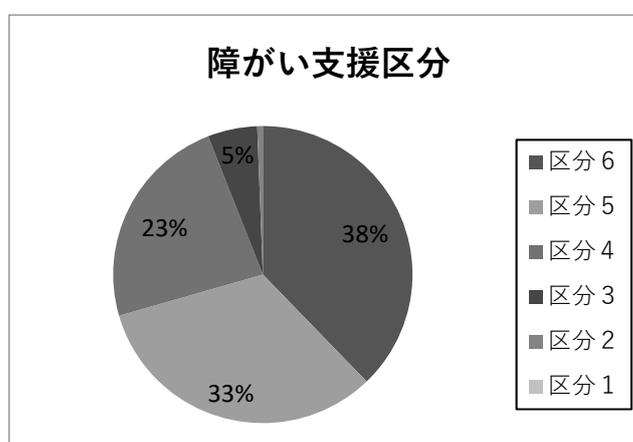
精神障害者保健福祉手帳

1級…2人
2級…1人
3級…0人



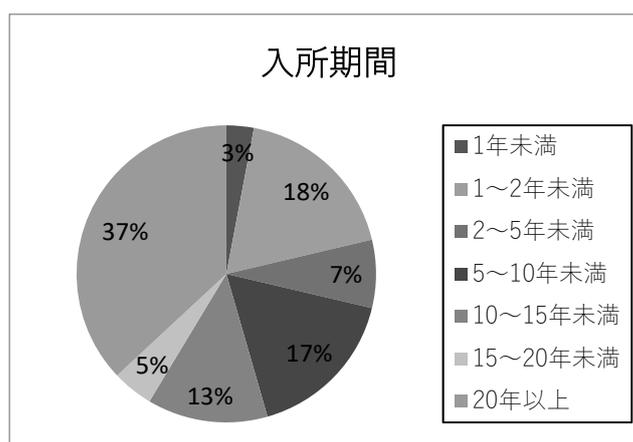
6：障がい支援区分

区分6…127人
区分5…110人
区分4…79人
区分3…18人
区分2…2人
区分1…0人



7：入所期間

1年未満…10人
1～2年未満…62人
2～5年未満…25人
5～10年未満…57人
10～15年未満…44人
15～20年未満…15人
20年以上…123人



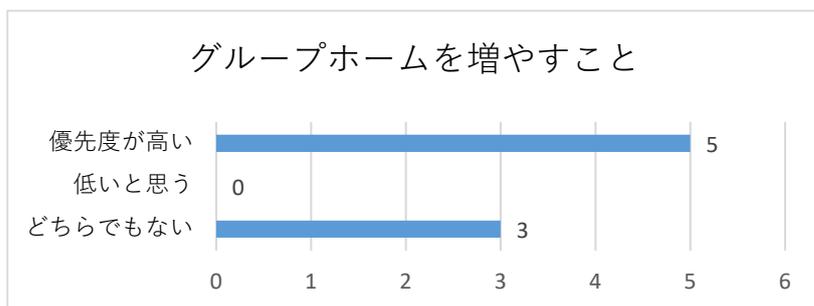
8：平成28年4月以降に施設を退所し、地域での生活（グループホーム、アパート、自宅等での生活）に移行した人はいますか。

いる……14人

9：地域での生活（地域移行）を進めるために必要な取組の優先度を教えてください。

回答は、「1」優先度が高いと思う「2」低いと思う「3」どちらでもないの3択

(1) グループホームを増やすこと ①



(2) 民間賃貸住宅等での受入を促進するための

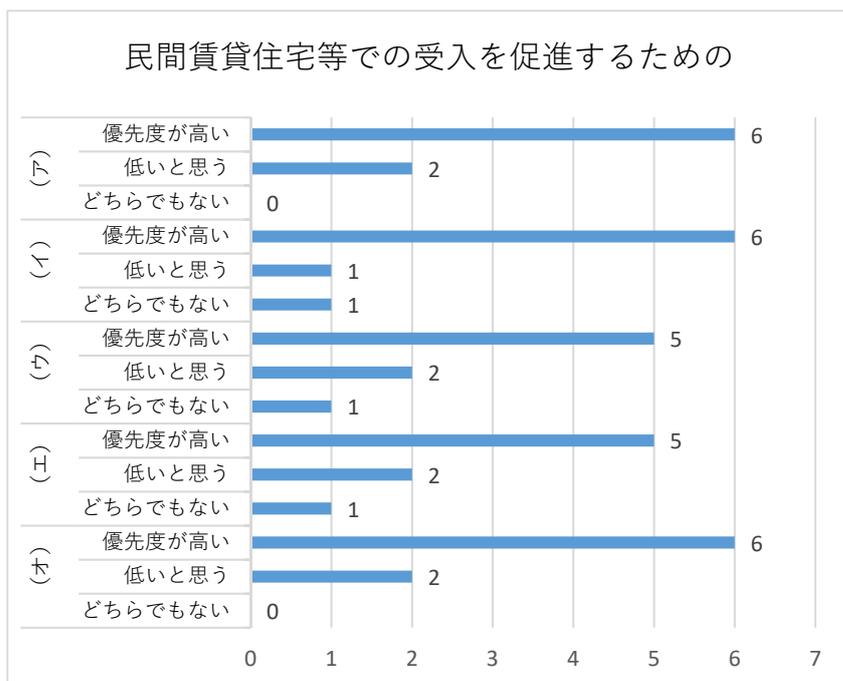
(ア) 保証人の確保 ②

(イ) 家賃保証のシステム ③

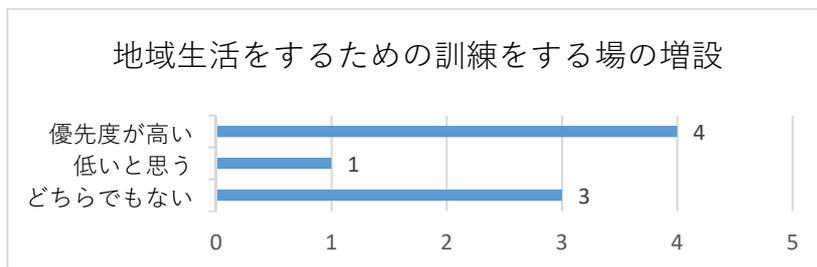
(ウ) 精神障がい者の受け入れが可能な住宅の確保 ④

(エ) 理解ある不動産会社を増やすこと ⑤

(オ) 近隣住民への理解を増やすこと ⑥



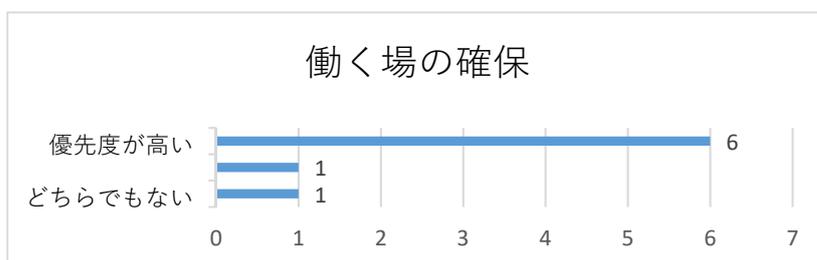
(3) 地域生活をするための訓練をする場の増設 ⑦



(4) 就労訓練をする場の増設 ⑧

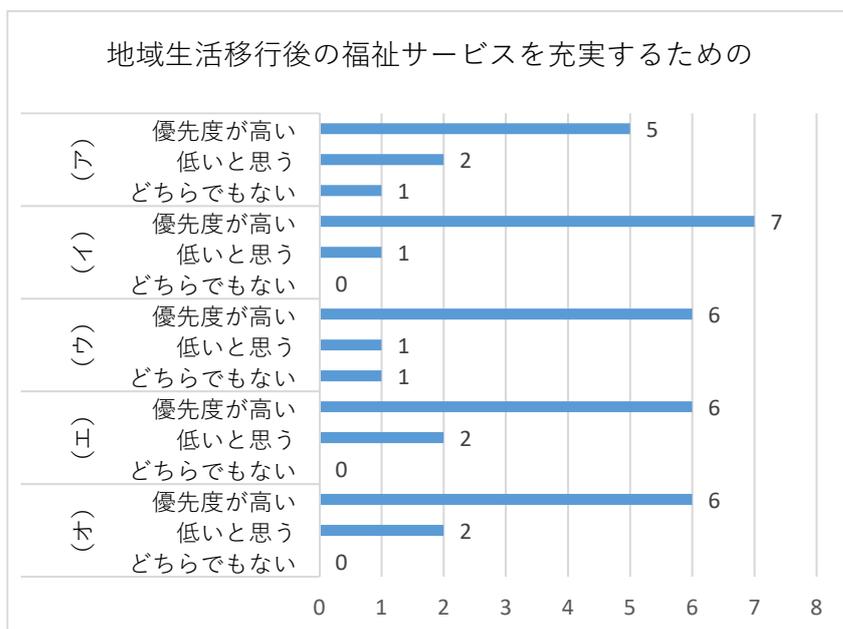


(5) 働く場の確保 ⑨



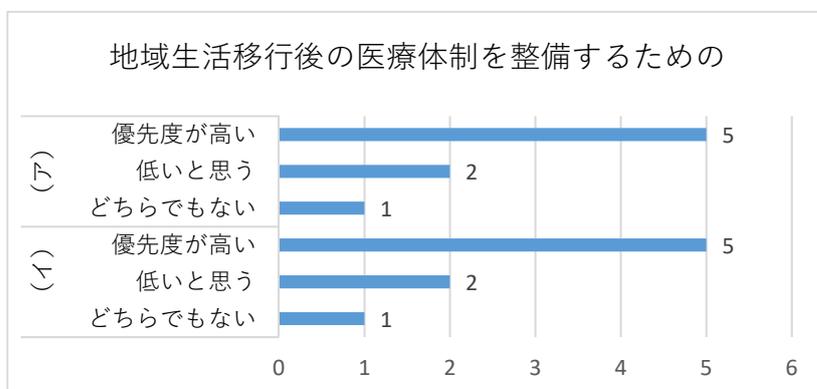
(6) 地域生活移行後の福祉サービスを充実するための

- (ア) 土日祝日等の支援 ⑩
- (イ) 正しい生活を継続できるようなハード面での支援
(例えば週5日通所する場を確保する等) ⑪
- (ウ) 通所等の支援 (必要に応じて電話等での起床の声掛け、
出勤確認、移動支援等の規則正しい生活が定着するまでの支援) ⑫
- (エ) 本人に適した環境になるまで一緒に試行錯誤し落ち着く状況までの支援 ⑬
- (オ) 本人からの訴えが出来ない人への定期的な訪問等の支援 ⑭

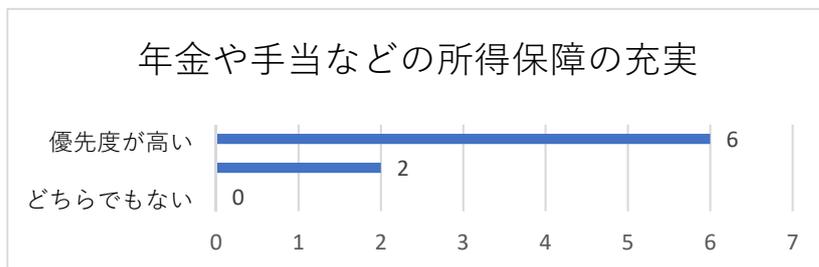


(7) 地域生活移行後の医療体制を整備するための

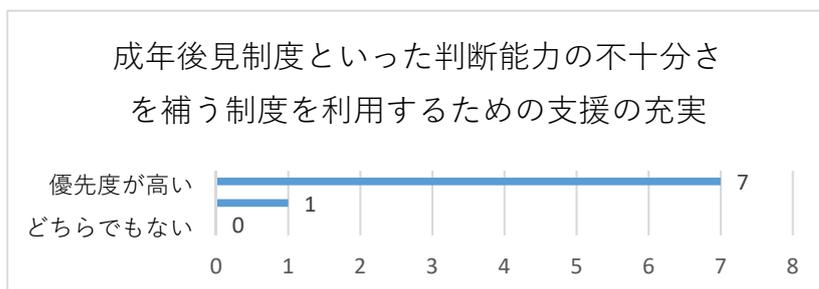
- (ア) 通院の付き添い等の支援・自主通院が可能となるような支援 ⑮
- (イ) 服薬管理・手伝い (電話・スマホ動画での確認等も含む) ⑯



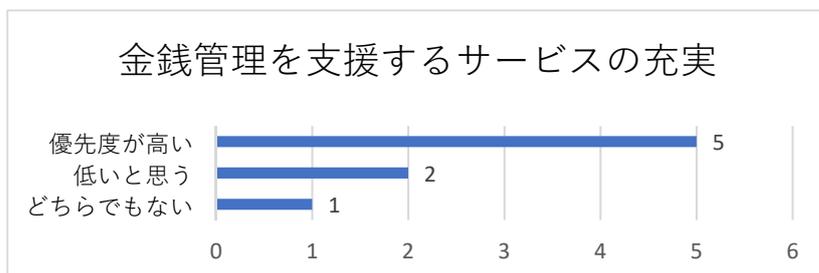
(8) 年金や手当などの所得保障の充実 ⑰



(9) 成年後見制度といった判断能力の不十分さを補う制度を利用するための支援の充実 ⑱



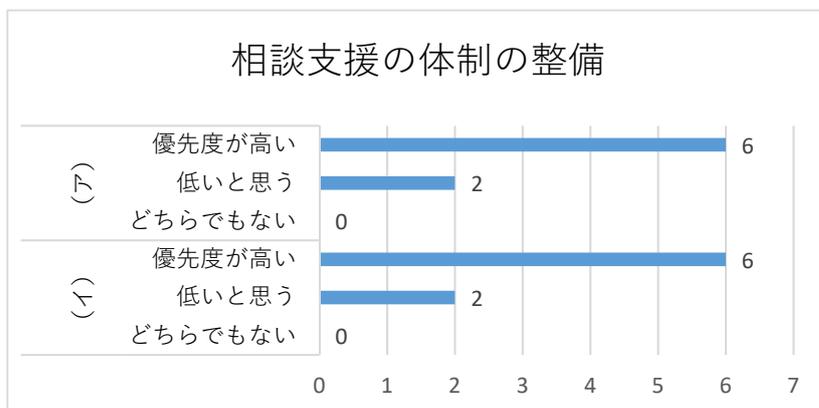
(10) 金銭管理を支援するサービスの充実 ⑲



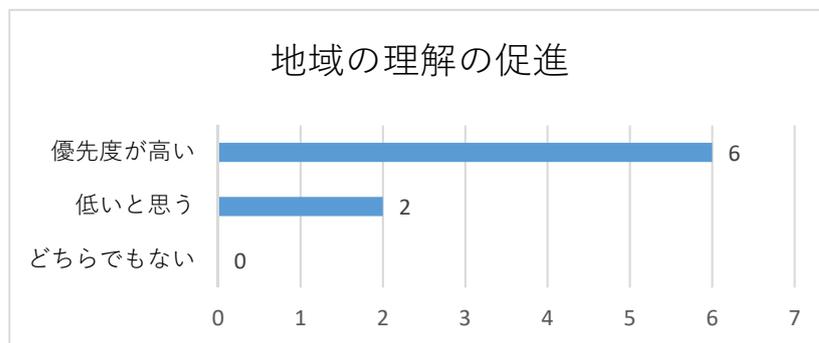
(11) 相談支援の体制の整備

(ア) 本人が困ったとき・不安な時などに駆けつけられる体制 ⑳

(イ) 家主・不動産会社などからの呼び出しに駆けつけられる体制 ㉑



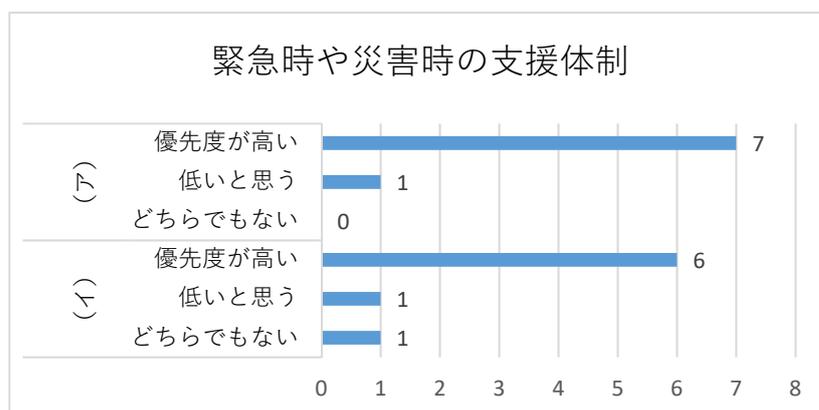
(12) 地域の理解の促進 ㉒



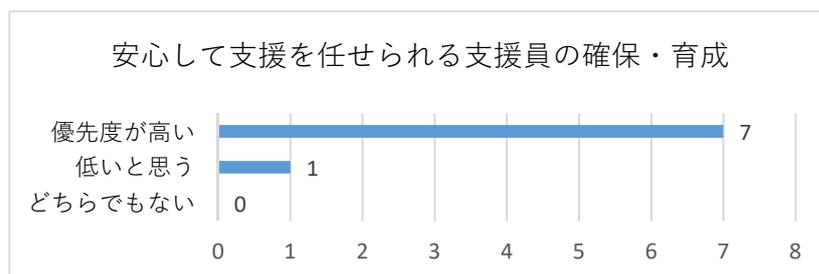
(13) 緊急時や災害時の支援体制

(ア) 地域との連携が取れていること ㉓

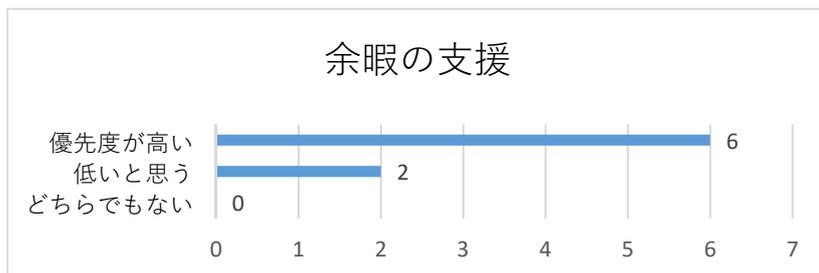
(イ) 行政の災害マニュアルがあること ㉔



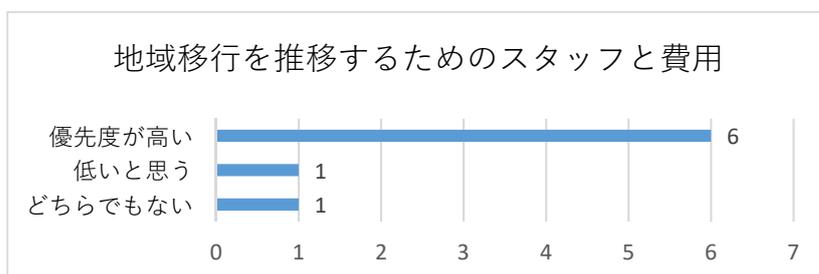
(14) 安心して支援を任せられる支援員の確保・育成 ㉕



(15) 余暇の支援 ⑳



(16) 地域移行を推進するためのスタッフと費用 ㉑



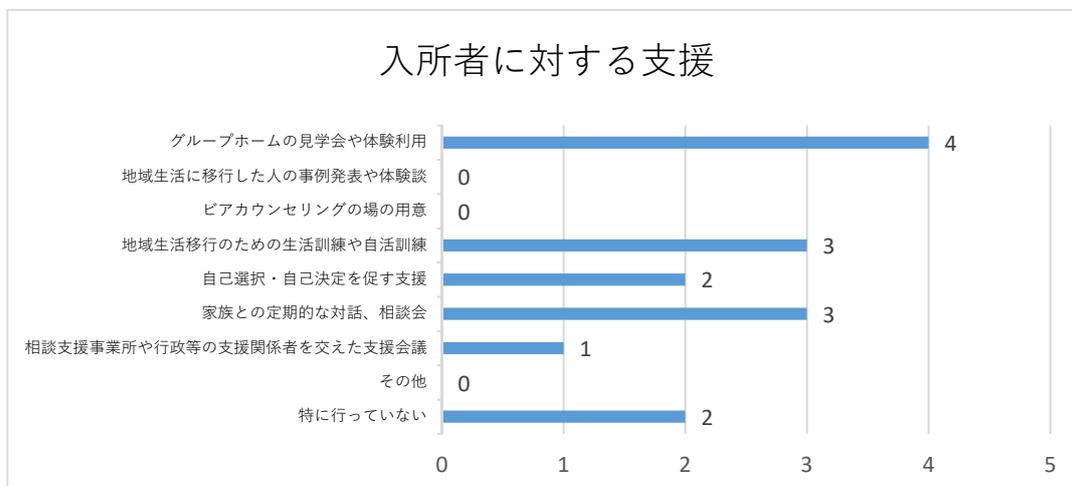
(17) その他 ㉒

- ・地域に理解を得る行政の体制
- ・GHに入居が難しい場合の生活の場の確保、入所増

①～㉒の中で優先度が高いと思われる項目はどれですか。

	A施設	B施設	C施設	D施設	E施設	F施設	G施設	H施設
1番	①	④	②	⑨	①	㉒	⑨	⑯
2番	㉑	⑥	④	⑤	②	⑥	⑬	㉑
3番	⑨	㉑	⑤	0	⑪	㉒	㉒	㉒
4番	⑫	㉑	⑮	0	㉑	⑱	㉑	⑩
5番	⑧	⑤	⑪	0	⑫	⑮	⑯	⑥

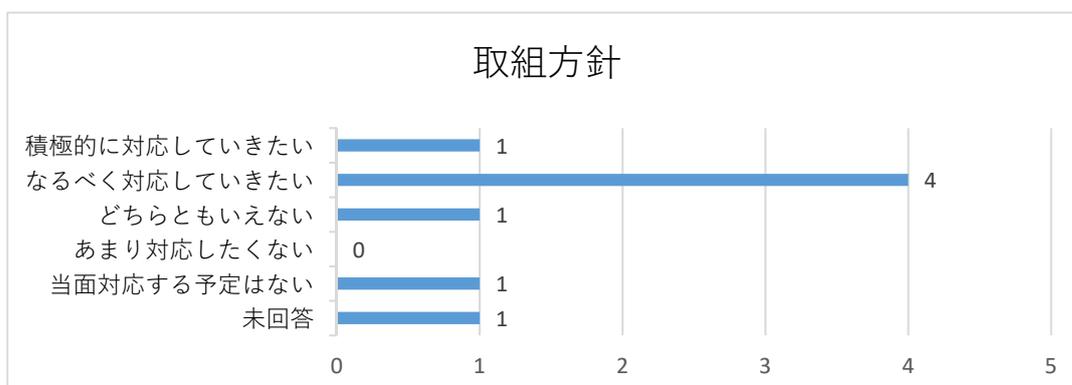
10：地域生活への移行を希望する入所者に対してどんな支援を行っていますか。（複数回答）



11：あなたの施設の現在の地域生活移行に対する取組姿勢は、以下のいずれですか。



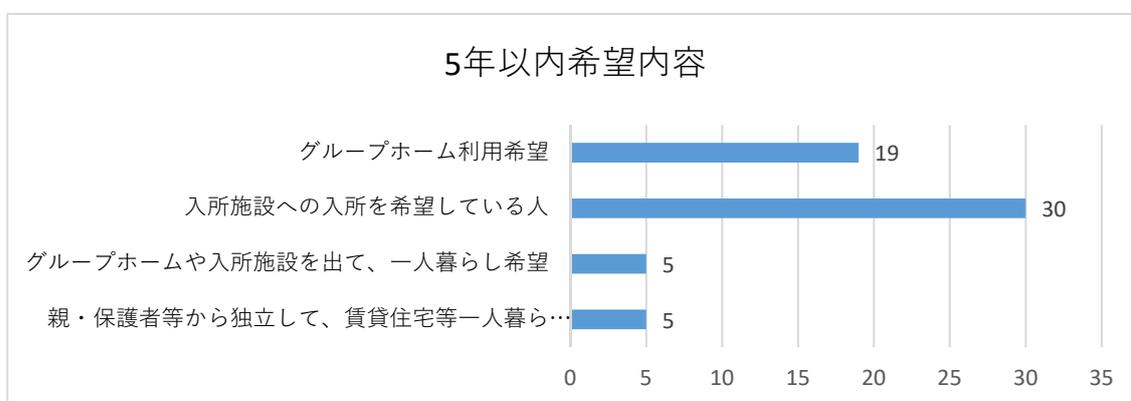
12：あなたの施設の今後の地域生活移行の取組方針は、以下のいずれですか。



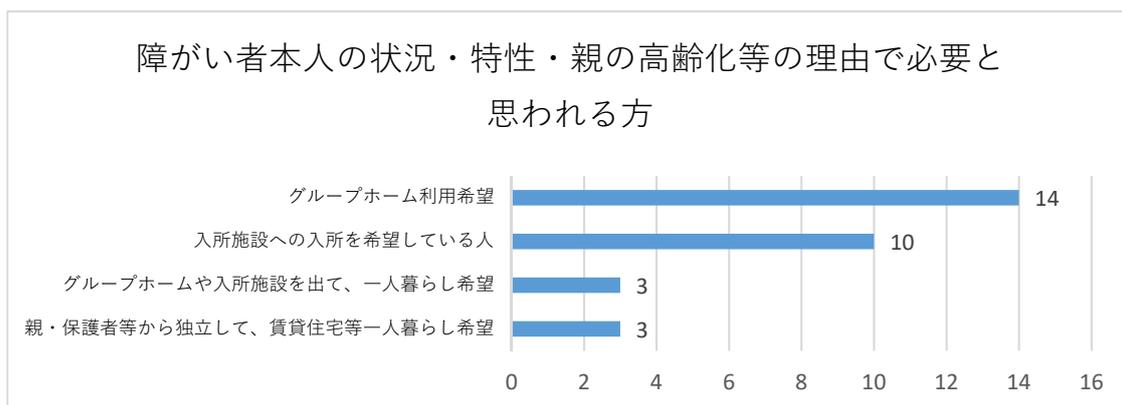
13：将来のニーズを把握するため、以下の質問にお答えください。

回答は、貴法人内で、指定特定相談支援事業を行っている場合のみご回答ください。
本人の希望どおりのサービス等利用計画になっていない場合も、このアンケートにおいては、本人の本来の希望をご記入ください。
なお、複数の指定特定相談支援事業所を運営している法人はまとめて（1法人1回答として）ください。

- (1) ①5年以内にグループホームの利用を希望している人
②5年以内に入所施設への入所を希望している人
③5年以内にグループホームや入所施設を出て、賃貸住宅等で一人暮らしを希望している人
④5年以内に親・保護者等から独立して、賃貸住宅等で一人暮らしを希望している人



- (2) 上記希望者のうち、障がい者本人の状況・特性、親の高齢化等の理由を判断し、希望どおりのサービス等利用計画案の作成が必要と思われる方は何人いますか。
上記①～上記④のうちでそれぞれの人数を教えてください。



調査（２）【グループホーム・事業者からの回答】

１：利用されている障がい者の方で対象となる障がい

有効回答数 48カ所

(全80件中)

身体…… 8カ所

知的… 36カ所

精神… 29カ所

発達… 10カ所

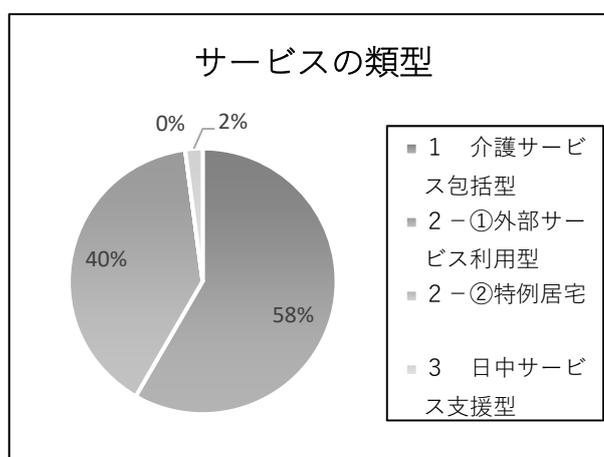
２：対象となるサービス類型を教えてください。

介護サービス包括型… 28カ所

外部サービス利用型… 19カ所

特例居宅…………… 0カ所

日中サービス支援型…… 1カ所



３：利用者が負担する家賃の平均金額

約 26,000円

４：利用者が負担する１ヶ月の費用（食費・水光費など）の最高金額と最低金額

最高金額… 75,000円

最低金額…… 4,050円

５：貴グループホーム開設を希望したのは誰ですか。（複数回答）

運営法人…………… 41カ所

土地・建物の所有者…………… 1カ所

入居希望本人、またはご家族や親族…………… 20カ所

その他…………… 1カ所

６：土地や建物の所有について、あてはまるものはどれですか。（複数回答）

土地・建物ともに運営法人が所有…………… 10カ所

土地は賃貸、建物は運営法人が所有…………… 1カ所

運営法人が借り上げ…………… 29カ所

7：貴グループホームは何らかの災害・防犯対策を行っていますか。(複数回答)

実施しているものすべてに回答してください。

事業所危機管理マニュアルを作成している……………	36カ所
事業所危機管理計画を策定している……………	13カ所
緊急連絡先をリスト化している……………	42カ所
避難訓練を実施している……………	41カ所
水や食料等を備蓄している……………	23カ所
ハザードマップを確認している……………	37カ所
災害時に避難する広域避難場所を知っている……………	43カ所
非常時持出用品をまとめてある……………	17カ所
災害時帰宅支援ステーションや一時滞在施設の運営計画を策定……………	1カ所
その他……………	2カ所

8：貴法人は行政から避難所指定を受けていますか。

いる…1件　　いない…47件

「いる」と回答した事業者は下記の質問も回答してください。

①避難所支援に関する運営計画を策定しているか？

いる…1件

②上記①について支援体制や費用負担等について行政や地域と連携・相談・調整等を行っているか？

いる…1件

9：災害・防災の観点から気になっている点などありましたらご記入ください。

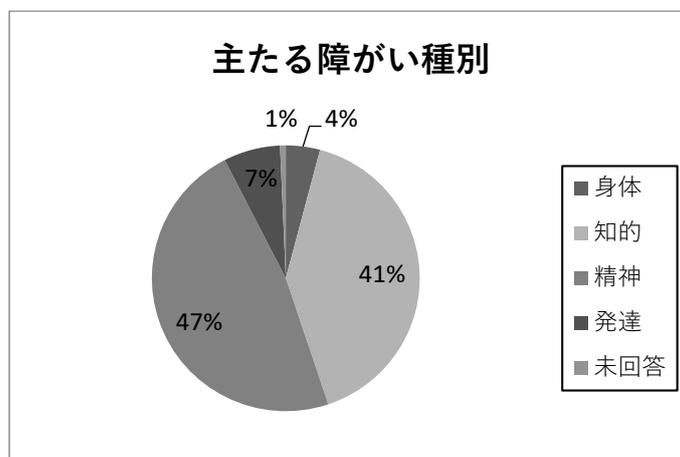
- ・夜間に災害が発生した場合に宿直者がどこまで対応できるか不安がある
(宿直者がいない建物の利用者への対応など)
- ・避難所に滞在することになった場合、利用者がどんな対応をするのか予想しにくい面がある
- ・夜間時は人手が足りない。避難行動要支援者として入っておらず、ホームのスタッフだけで避難することになっている
- ・避難所の耐震化、防災、備蓄、障がい者に対する受入れ体制を知りたい
- ・災害時に、薬の備蓄は十分あるのか？が気になります
- ・万一、身近に火災等の災害が発生した場合パニックにならないように気をつけたい。一時的にしても避難所で環境が違ったことで不安が増し、緊張が強くなることのない様気をつけたい
- ・発生時に職員が何人いて活動できるかいつも気になっています
- ・日々の運営の中で、十分な備蓄は難しい
- ・夜間の避難訓練を実施したいが、なかなか実現できない
- ・近くに避難場所はあるが、スペースの関係で食料や水を備蓄できない
- ・グループホーム前の土地が開所当時雑木林でしたが、ここ一年で木が切られ大雨になった時土砂が流れ込むのではないかと不安を感じている
- ・避難所生活のなかでどれだけ周りの方が理解して頂けるかが心配な所です
- ・築年数約50年であり、鉄筋造ではあるが老朽化が目立つ点・食料品の備蓄について、高齢者向けのアイテムが高額であるために負担が大きい

10：現在の利用者について以下の項目について回答してください。

- ①平均入居年数…3年
- ②平均年齢………42歳
1番低い年齢…17歳
1番高い年齢…75歳
- ③性別 男性…204人 女性…89人 合計 293人
- ④平成29年1月～12月の間に入院した回数…35回
- ⑤平成29年1月～12月の間の入院延べ日数…11回

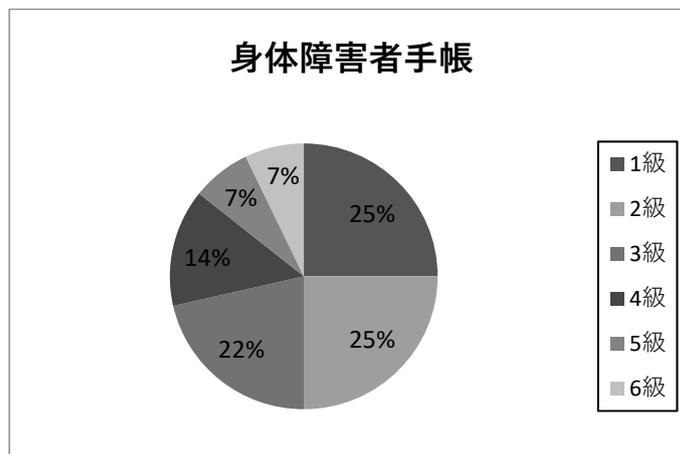
⑥主たる障がい種別

- 身体…… 12人
- 知的… 119人
- 精神… 139人
- 発達…… 20人
- 未回答…… 3人

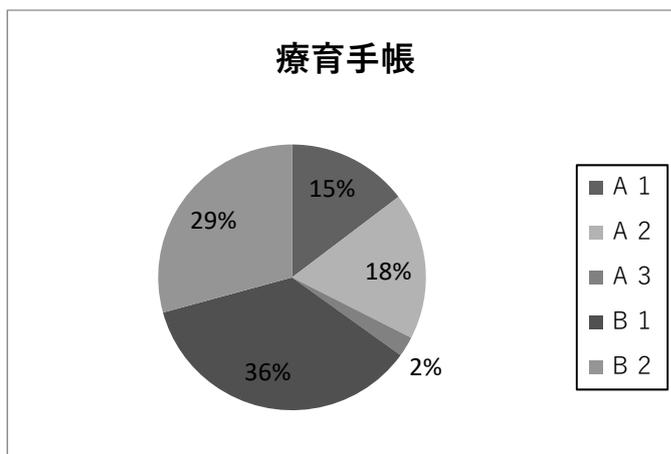


⑦手帳種別

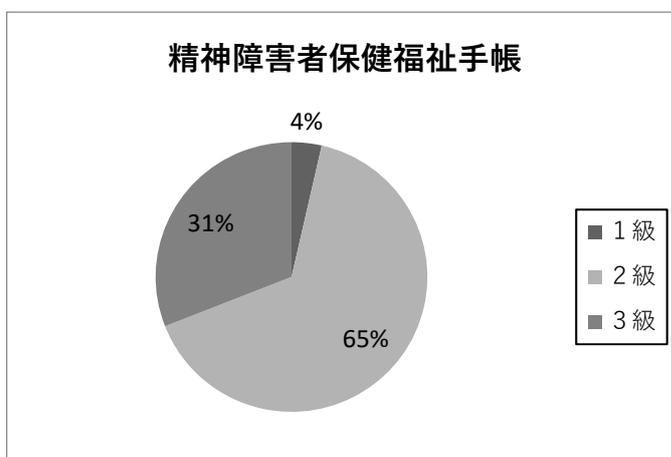
- 1級… 7人
- 2級… 7人
- 3級… 6人
- 4級… 4人
- 5級… 2人
- 6級… 2人



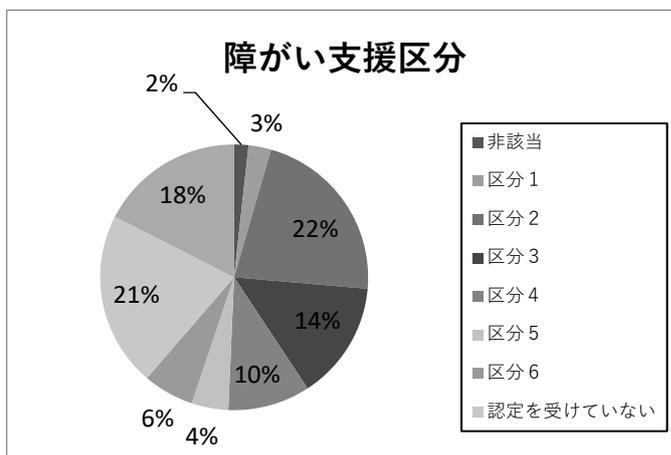
A1…18人
 A2…22人
 A3…3人
 B1…44人
 B2…36人



1級…3人
 2級…55人
 3級…26人

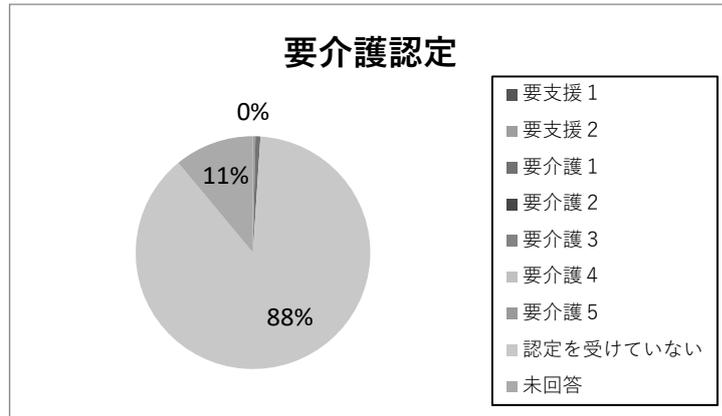


⑧障がい支援区分
 非該当…5人
 区分1…8人
 区分2…64人
 区分3…42人
 区分4…29人
 区分5…13人
 区分6…18人
 認定を受けていない…62人
 未回答…52人

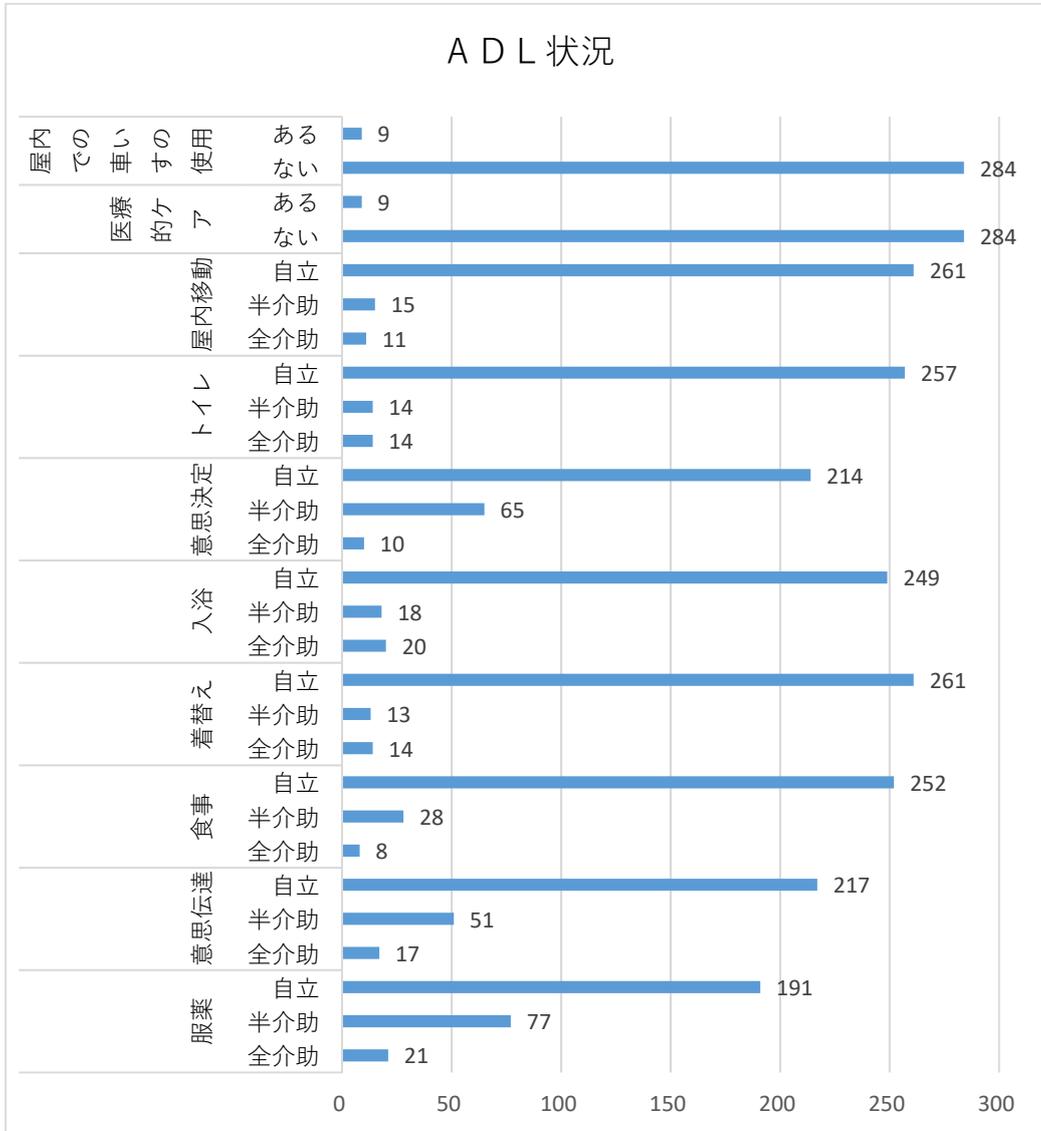


⑨要介護認定

要支援1……0人
 要支援2……1人
 要介護1……2人
 要介護2……0人
 要介護3……0人
 要介護4……0人
 要介護5……0人
 認定を受けていない…256人
 未回答……34人

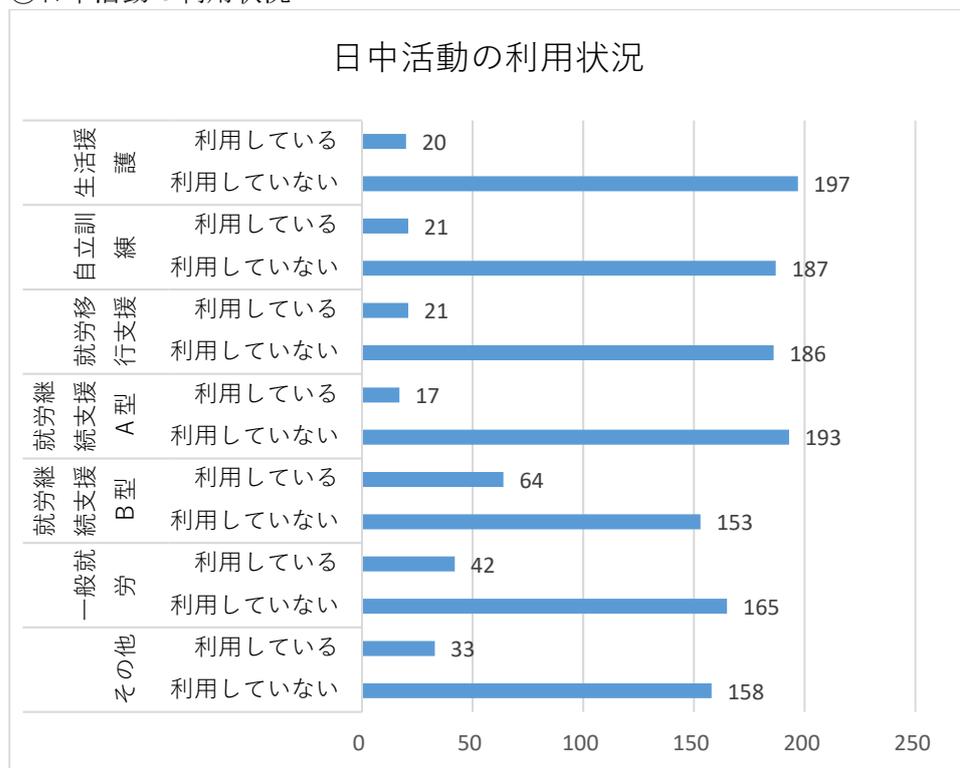


⑩ADLの状況



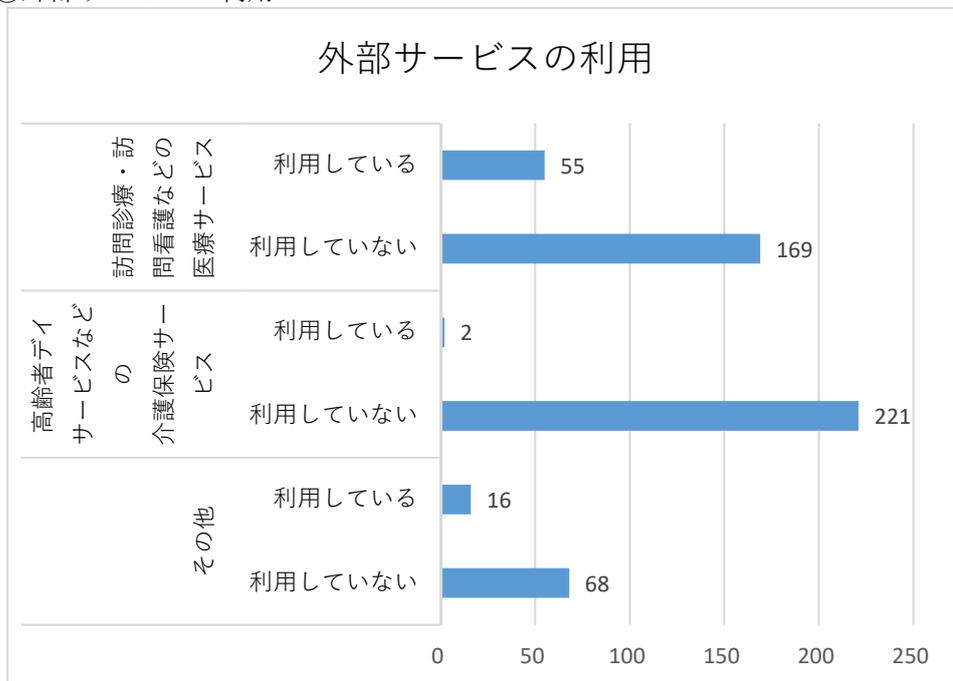
(未回答あり)

⑪日中活動の利用状況



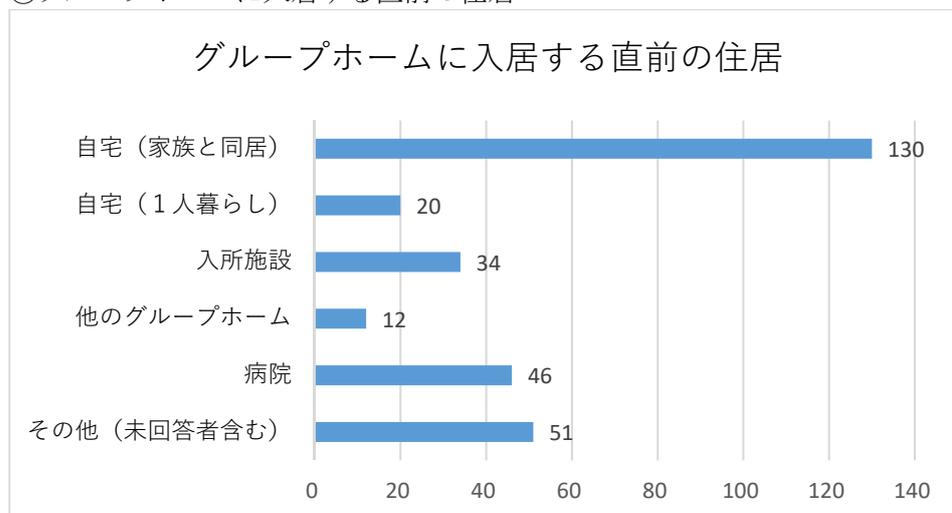
※未回答者あり

⑫外部サービスの利用

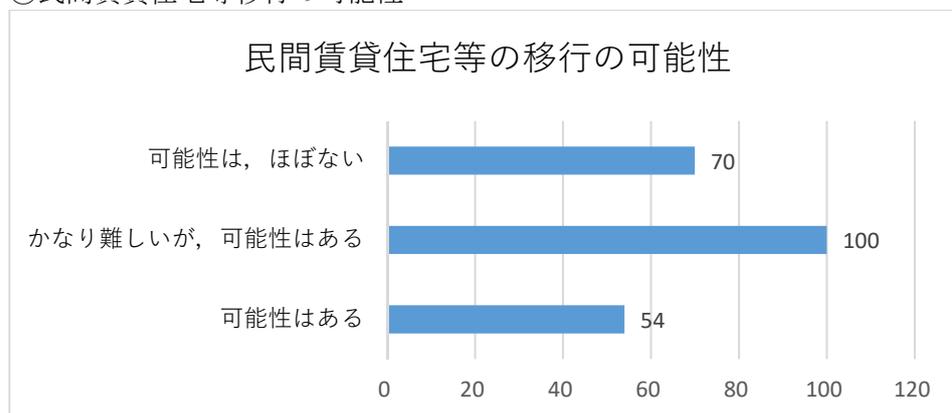


※未回答者あり

⑬グループホームに入居する直前の住居

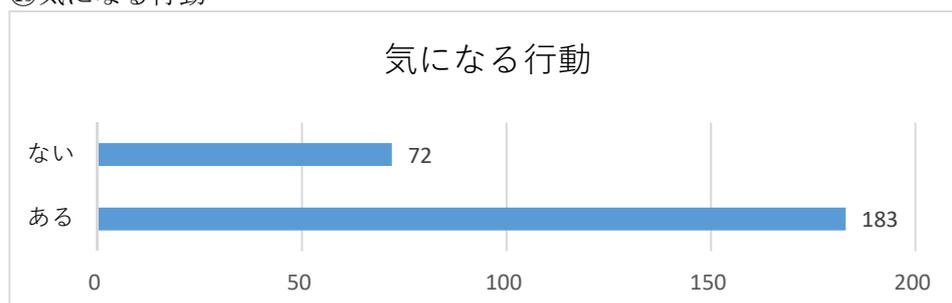


⑭民間賃貸住宅等移行の可能性



※未回答者あり

⑮気になる行動



※未回答者あり

11：グループホームを退去し、入居施設に入所した人（平成28年4月以降）はいますか。

いる……13件

12：グループホームの開設とその後の運営において、困難な事柄がありましたか。

特になかった

あった（ある）⇒「あった（ある）」の場合は、下記の記載の事柄について、あてはまるものを回答してください。

「1」とても困難 「2」やや困難 「3」少し困難

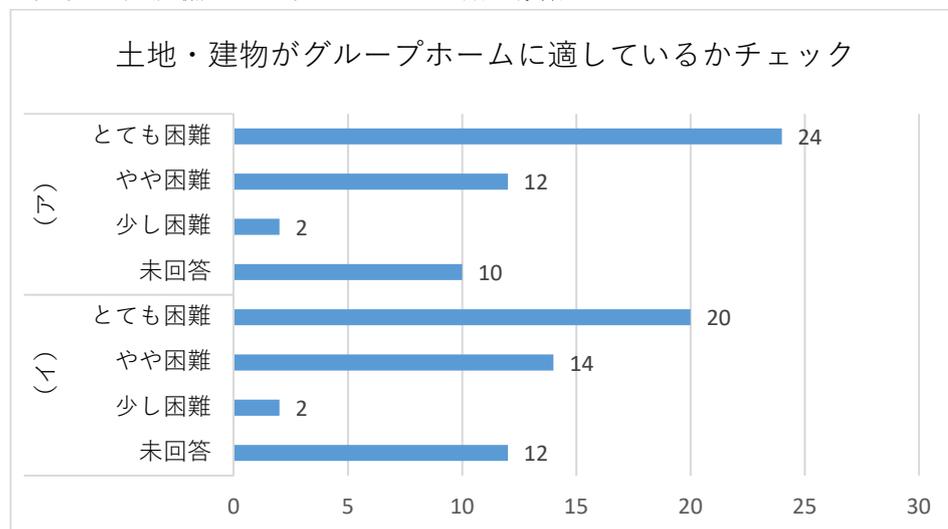
(1) 土地・建物を確保するための情報の入手



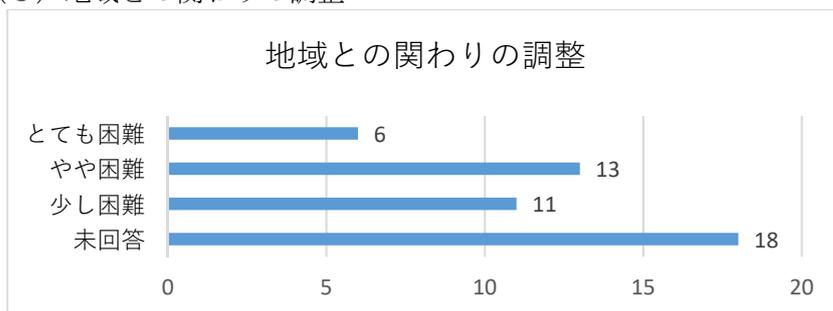
(2) 土地・建物がグループホームに適しているかのチェック

(ア) 役所の窓口が保健福祉局・住宅都市局・消防局など複数にまたがり煩雑

(イ) 消防設備・用途変更などの申請が煩雑



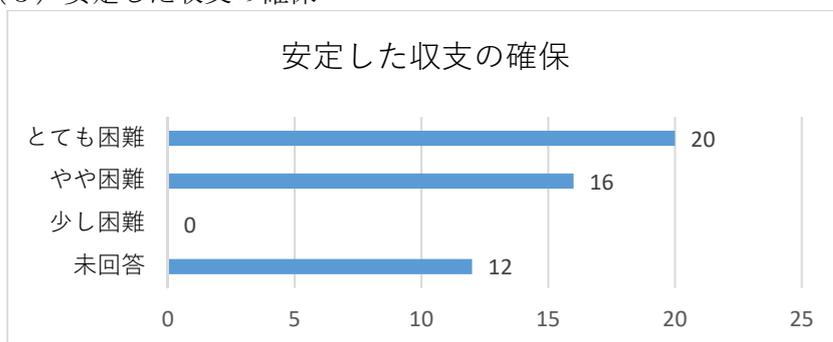
(3) 地域との関わりの調整



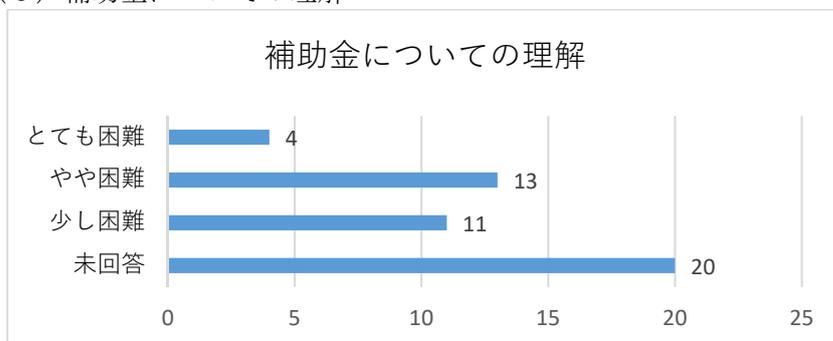
(4) 資金計画、初期費用、事業開始後の運営収支等に関する情報の入手



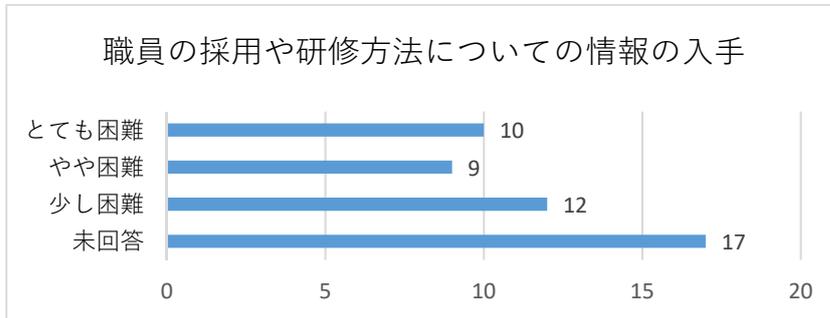
(5) 安定した収支の確保



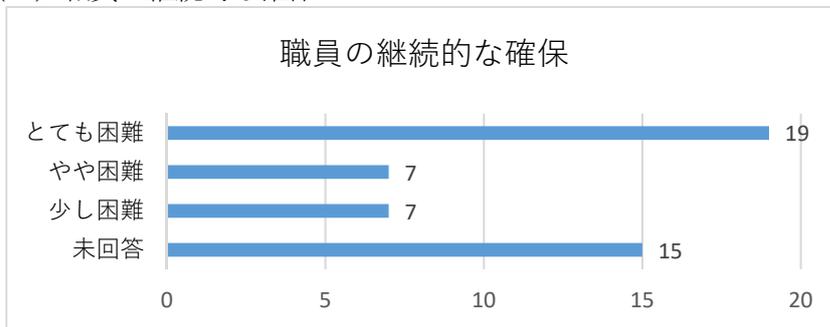
(6) 補助金についての理解



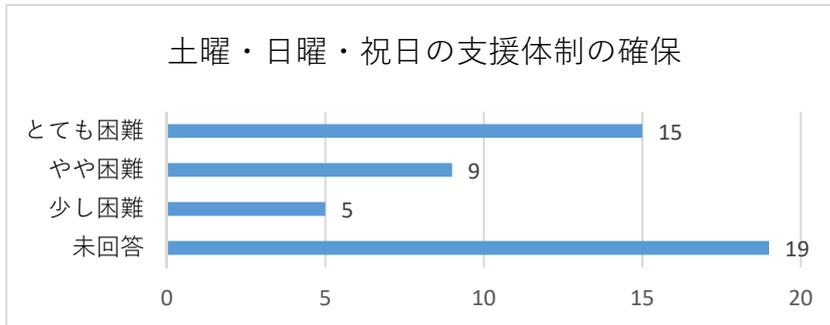
(7) 職員の採用や研修方法についての情報の入手



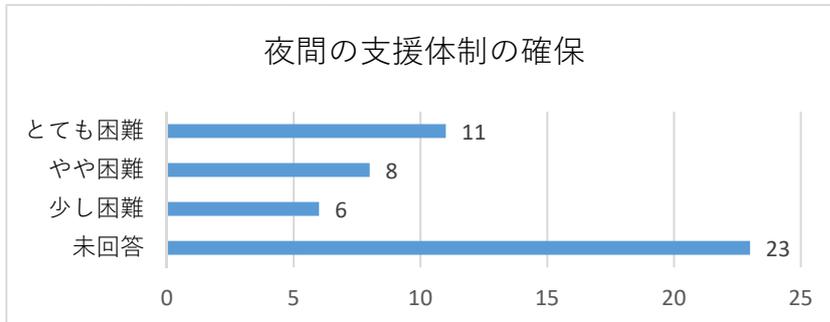
(8) 職員の継続的な確保



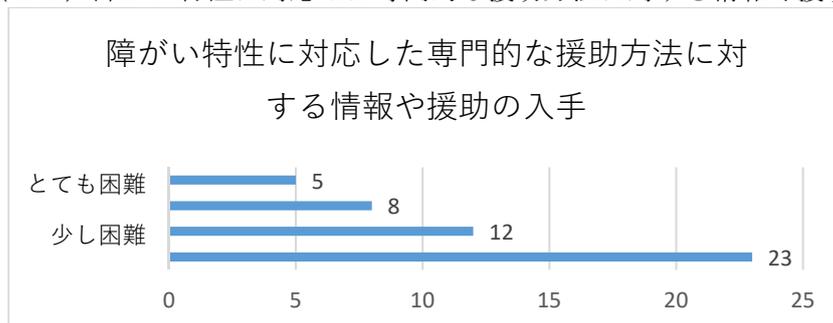
(9) 土曜・日曜・祝日の支援体制の確保



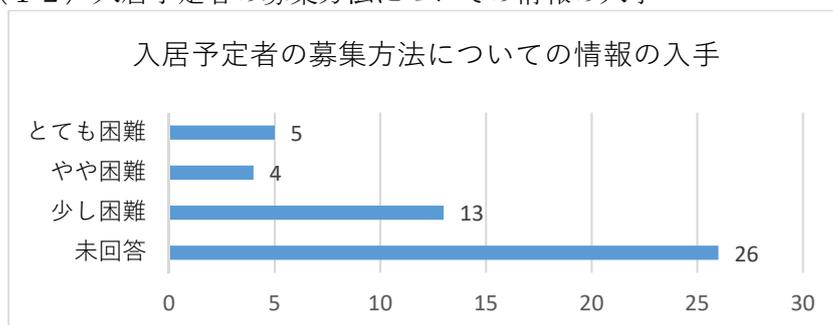
(10) 夜間の支援体制の確保



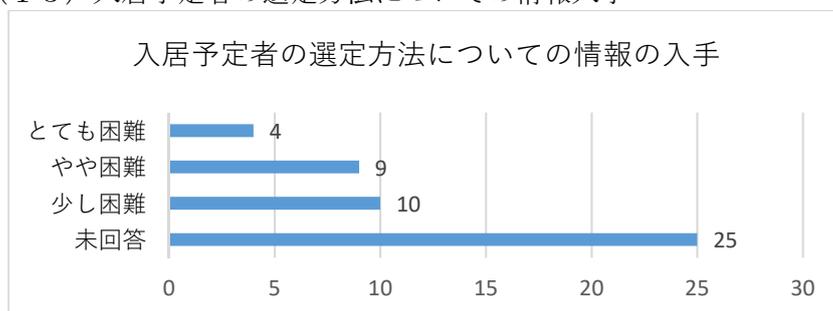
(1 1) 障がい特性に対応した専門的な援助方法に対する情報や援助の入手



(1 2) 入居予定者の募集方法についての情報の入手



(1 3) 入居予定者の選定方法についての情報入手



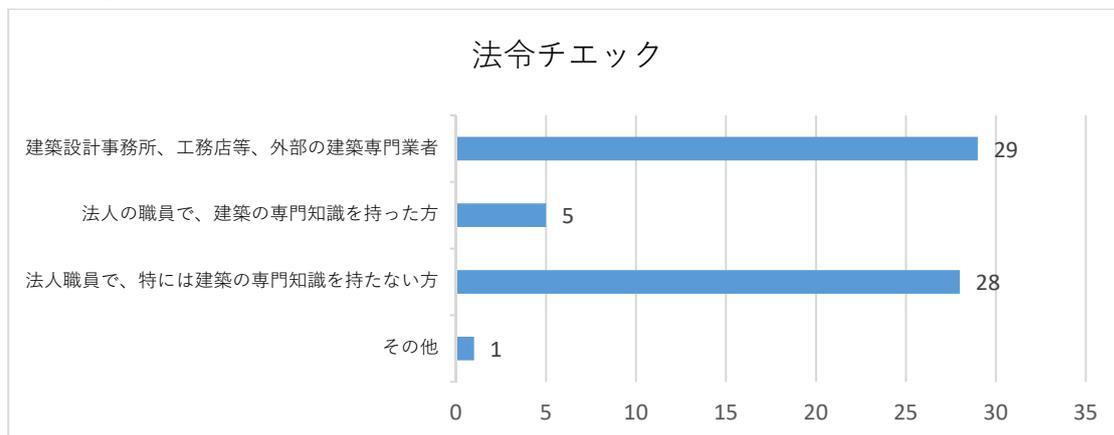
(1 4) その他

・回答無し

13：グループホームを開設する際、各種法令上の項目は、どなたがチェックを行っていますか。

- 1.建築設計事務所、工務店等、外部の建築専門業者
- 2.法人の職員で、建築の専門知識を持つ方
- 3.法人の職員で、特には建築の専門知識を持たない方
- 4.その他

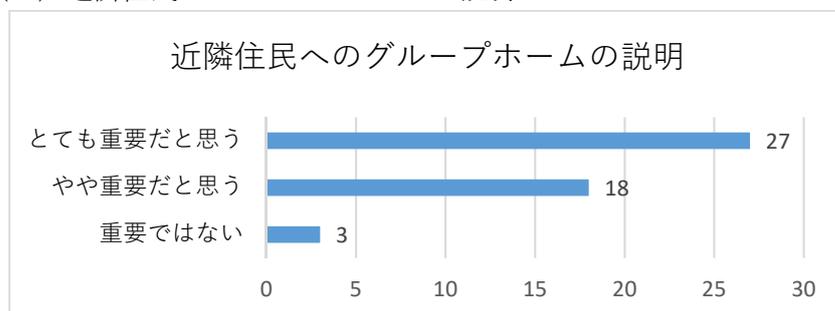
(複数回答)



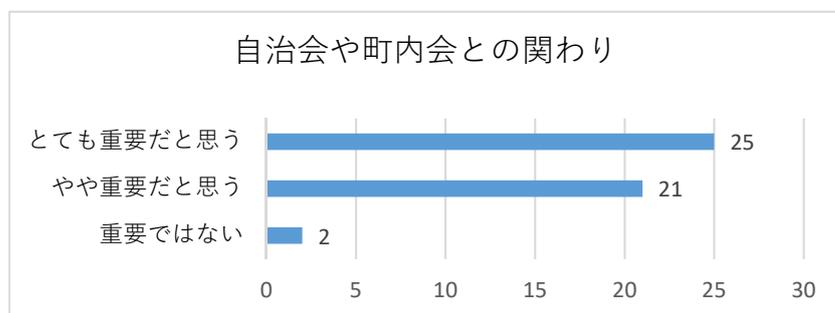
14：地域や関係機関等との関わりについてあてはまるものを回答してください。

「1」とても重要だと思う 「2」やや重要だと思う 「3」重要ではない

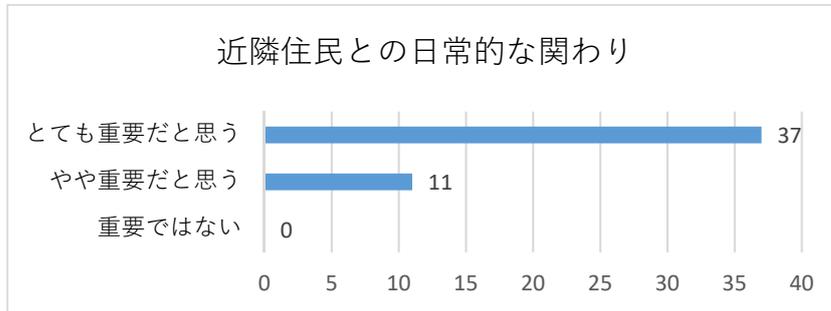
(1) 近隣住民へのグループホームの説明



(2) 自治会や町内会との関わり



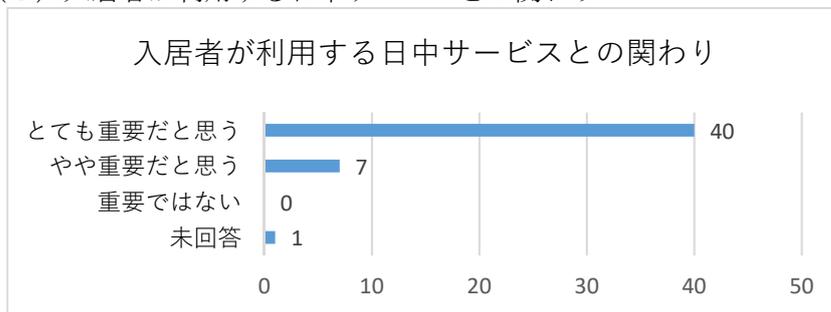
(3) 近隣住民との日常的な関わり（あいさつ等）



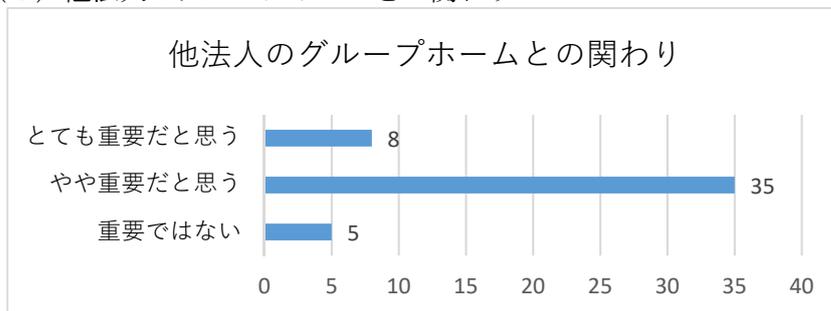
(4) 入居者のご家族との関わり



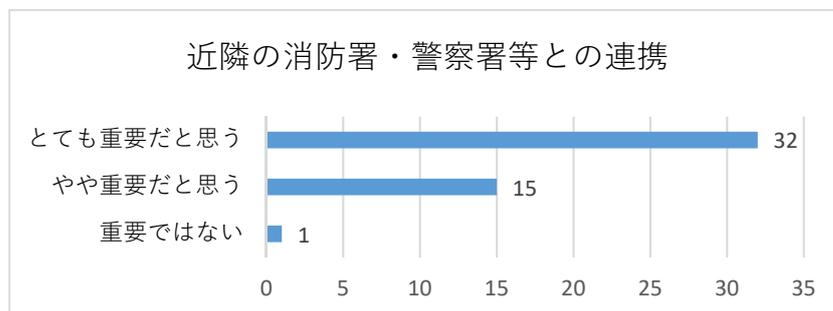
(5) 入居者が利用する日中サービスとの関わり



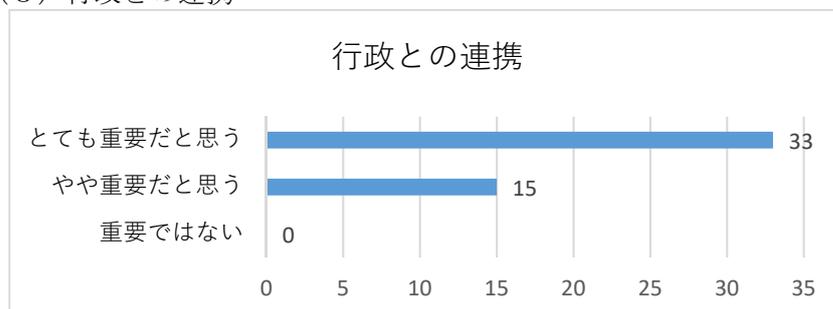
(6) 他法人のグループホームとの関わり



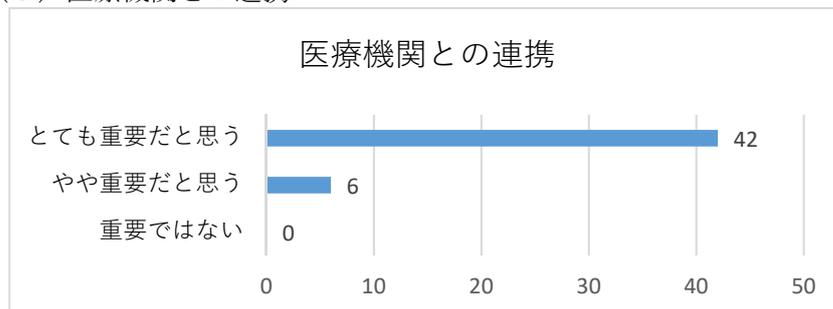
(7) 近隣の消防署・警察署等との関わり



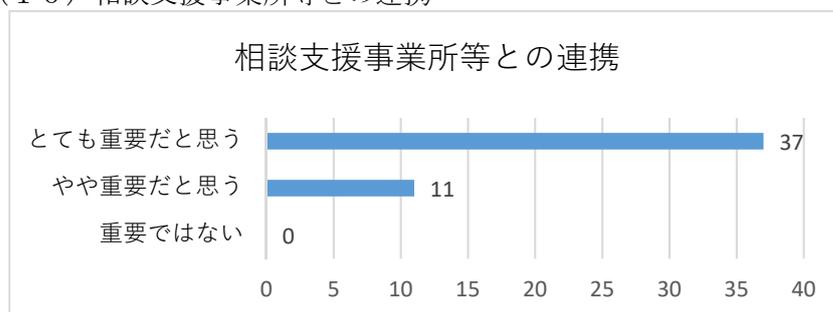
(8) 行政との連携



(9) 医療機関との連携



(10) 相談支援事業所等との連携



(11) その他

・回答無し

15：安定した収支を確保するうえでは、どのような改善が必要だと思われますか。

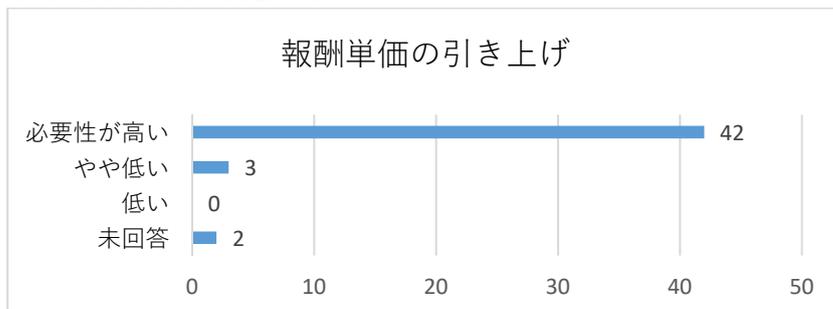
特にない… 1カ所

ある… 47カ所

ある⇒「ある」の場合は、下記記載の事柄について、該当するものを回答してください。

「1」必要性和高いと思われる 「2」やや低いと思われる 「3」低いと思われる

(1) 報酬単価の引き上げ



(2) 初期投資の補填策・軽減策

(ア) 福岡市設置補助金の増額

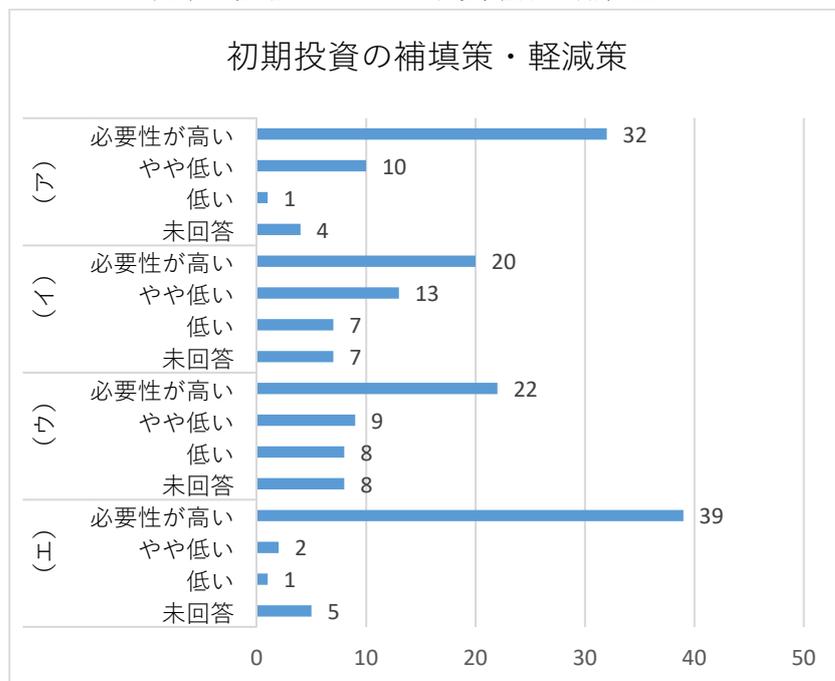
(イ) 市有地の提供

(ウ) 転用可能な公共建築物の提供

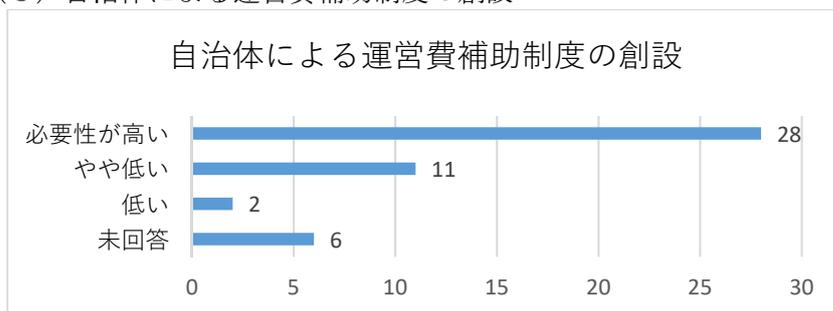
(エ) スプリンクラー等消防設備設置に関する助成制度の改善

(オ) その他

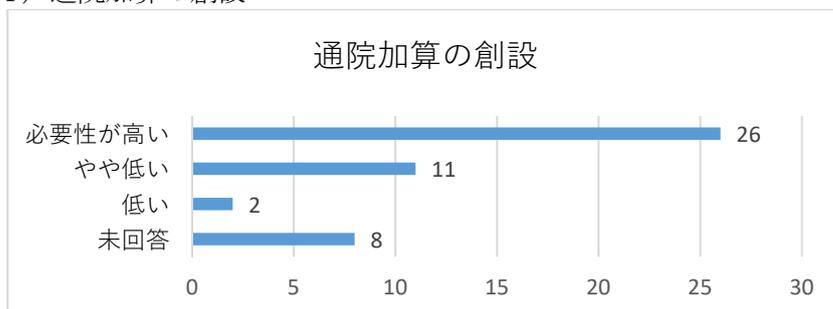
- ・小規模な修繕等の補助金及び手続き書類等の簡潔化
- ・補助金について2ヶ月以内、50%入居の廃止
- ・長期入院者がでた時の職員確保の補助金



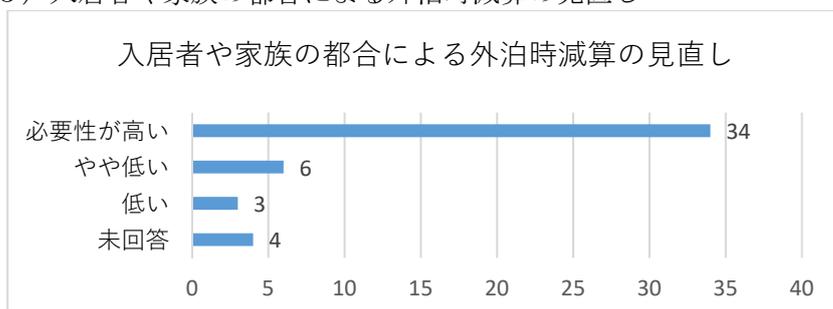
(3) 自治体による運営費補助制度の創設



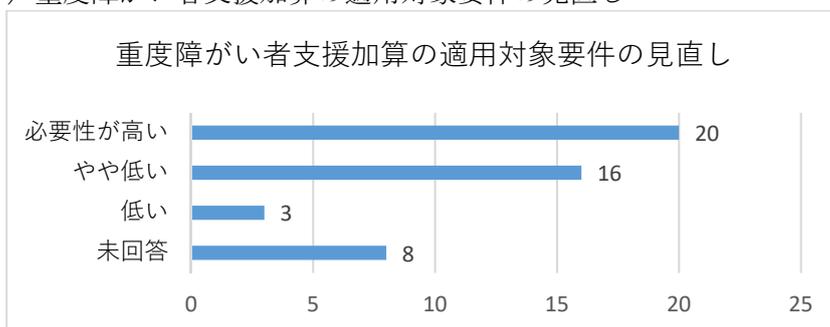
(4) 通院加算の創設



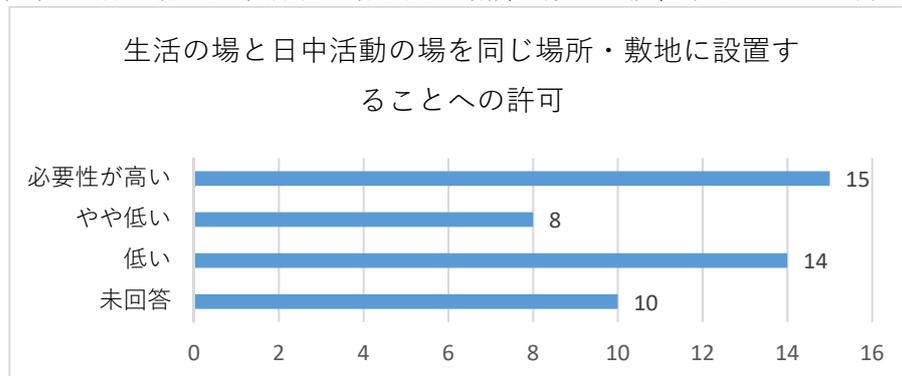
(5) 入居者や家族の都合による外泊時減算の見直し



(6) 重度障がい者支援加算の適用対象要件の見直し



(7) 生活の場と日中活動の場を同じ場所・敷地に設置することへの許可



(8) その他

- ・入居者の入院時や計画的な入居計画へ向けての空室補填制度。触法障がい者受入れ時のタイムラグなどで空室が出てしまうことへの対応
- ・入居者の入院時の補助充実
- ・障がい特性における精神・発達の方の支援がどれだけ大変か報酬を決める人が理解していない
- ・日中支援加算の土日祝の算定可にする事

16：職員を継続的に確保していくうえでは、どのような改善が必要だと思われますか。

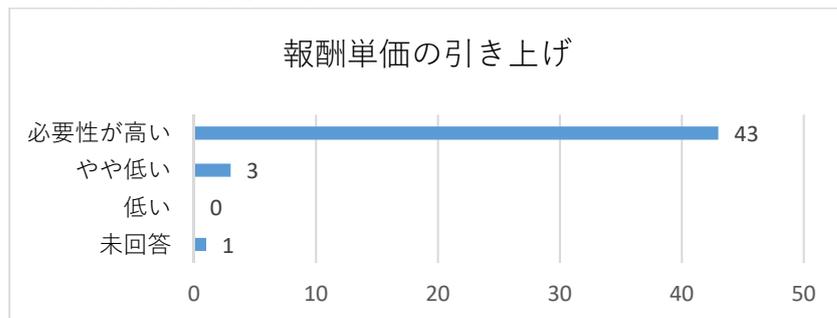
特にない…… 1カ所

ある…… 47カ所

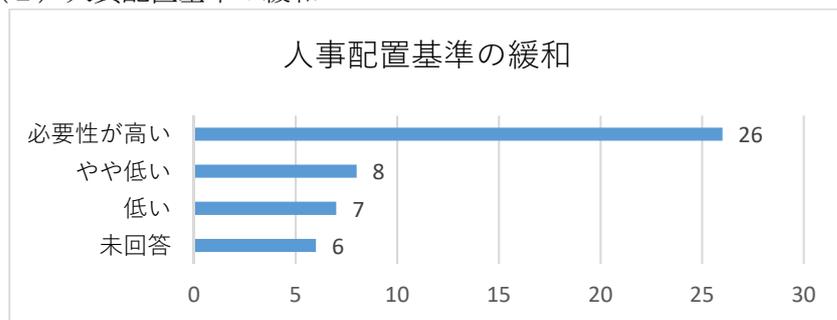
ある⇒「ある」の場合は、下記記載の事柄について、該当するものを回答してください。

「1」必要性が高いと思われる 「2」やや低いと思われる 「3」低いと思われる

(1) 報酬単価の引き上げ



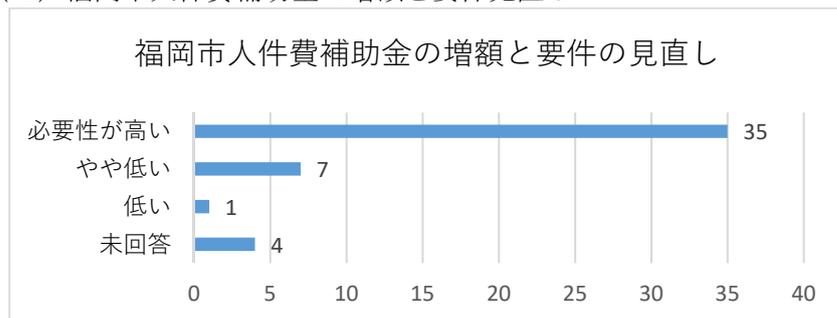
(2) 人員配置基準の緩和



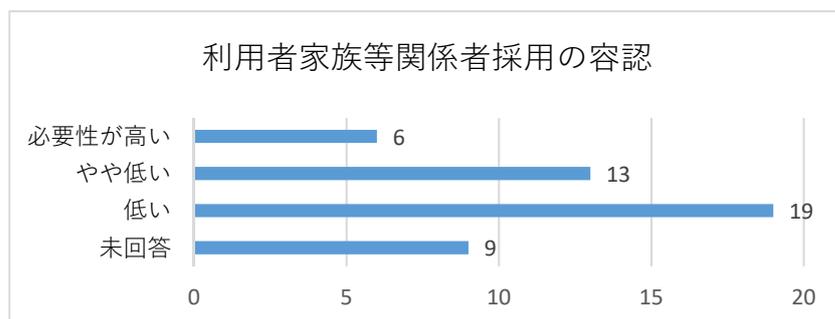
(3) 夜勤者配置の支援策



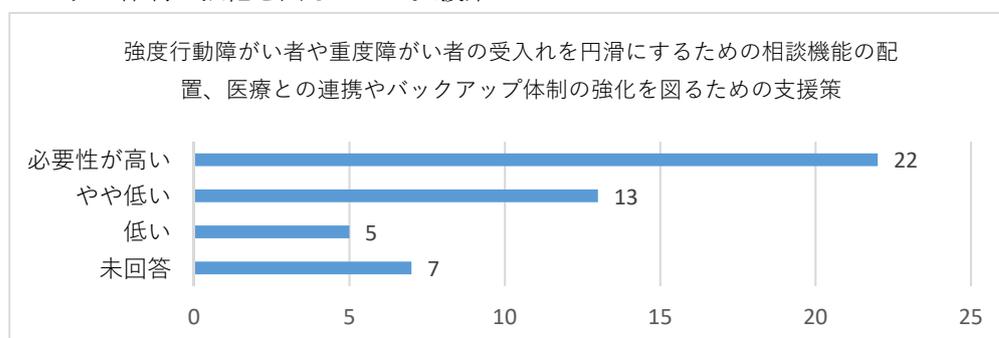
(4) 福岡市人件費補助金の増額と要件の見直し



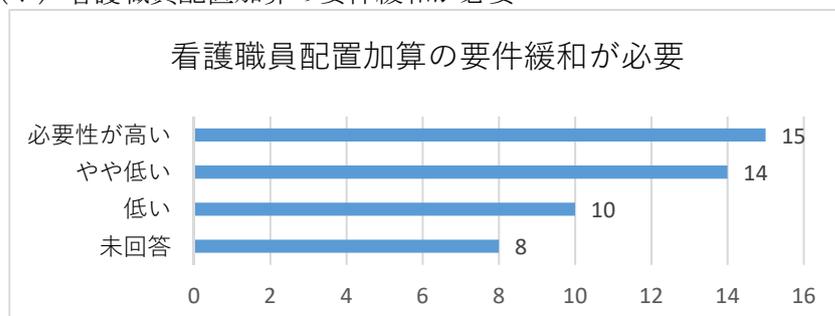
(5) 利用者家族等関係者採用の容認



(6) 強度行動障がい者の受け入れを円滑にするための相談機能の配置、医療との連携やバックアップ体制の強化を図るための支援策



(7) 看護職員配置加算の要件緩和が必要



(8) その他

- ・回答無し

17 : 現在の利用者のうち、重度障害者支援加算対象の利用者はいますか。

- ・いる 10人(4カ所)

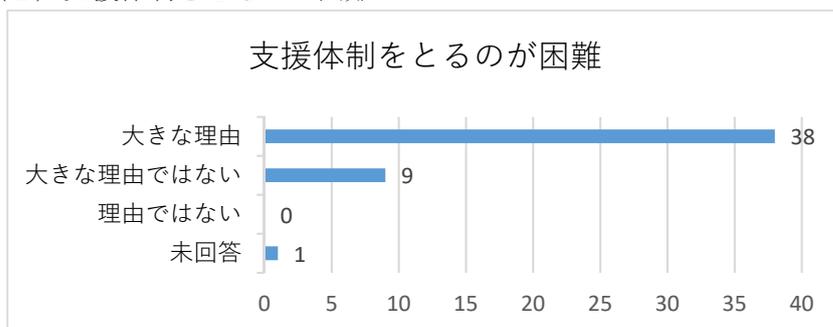
18 : 今年度中に、新たに重度障害者支援加算対象に該当する人を受け入れる予定はありますか。

- ・ある 2人(2カ所)

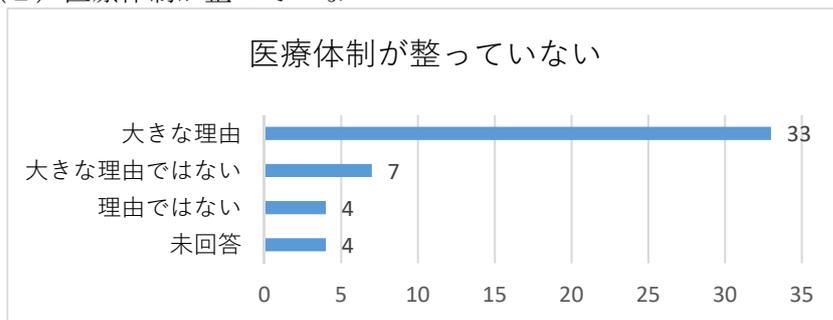
19：重度障害者支援加算対象となるような障がいの重い人（障がい支援区分5・6程度の人）のグループホームの入居ができない（進まない）と思われる理由（要因）は何だと思われますか。

「1」大きな理由（要因）だと思われる 「2」理由（要因）ではあるが大きな理由ではないと思われる場合 「3」理由ではない

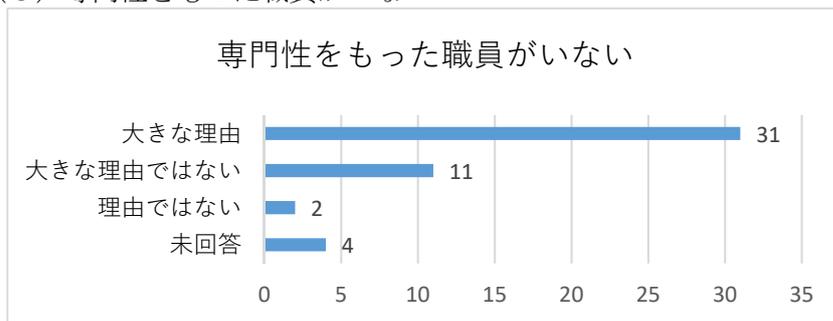
(1) 支援体制をとるのが困難



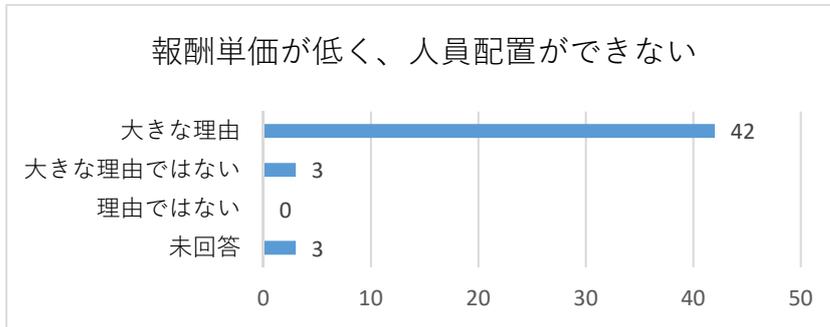
(2) 医療体制が整っていない



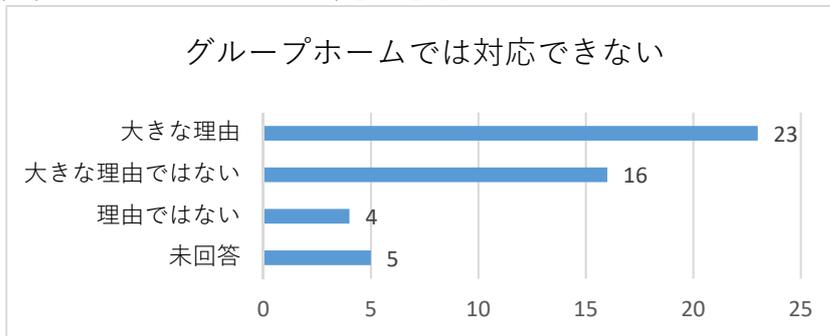
(3) 専門性をもった職員がいない



(4) 報酬単価が低く、人員配置ができない



(5) グループホームでは対応できない



(6) その他

- ・家主がスプリンクラーを設置することを拒否
- ・夜間（24h）支援体制が求められるが、それに伴う人員の確保及び専門性を有した職員の心理的・身体的な重労働化がある
- ・アパート形式なので構造上難しい
- ・外部サービスのため 24h ではない

20：新たにグループホームを設置する予定について回答ください。

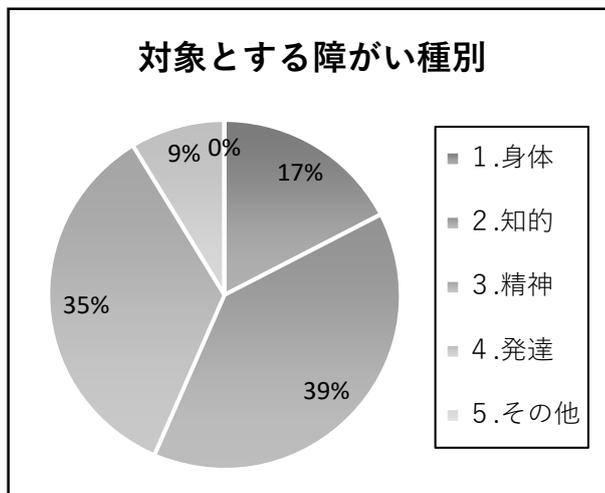
①開設予定時期

2019年6月～2021年4月

②定員 93人（11カ所）

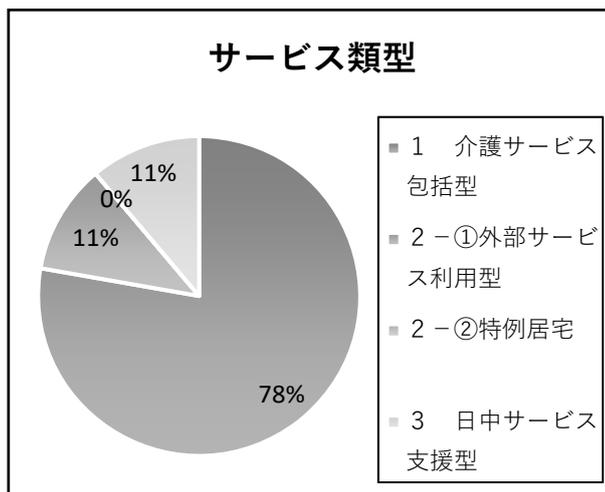
③対象とする障がい種別

- 1.身体…4カ所
- 2.知的…9カ所
- 3.精神…8カ所
- 4.発達…2カ所
- 5.その他
- ・回答無し



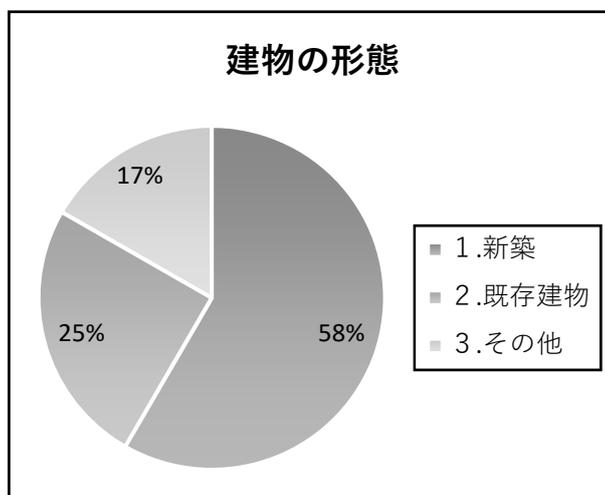
④サービス類型

- 1.介護サービス包括型……7カ所
- 2.①外部サービス利用型…2カ所
- ②特例居宅 ……………0カ所
- 3.日中サービス支援型……1カ所
- 未回答……………1カ所



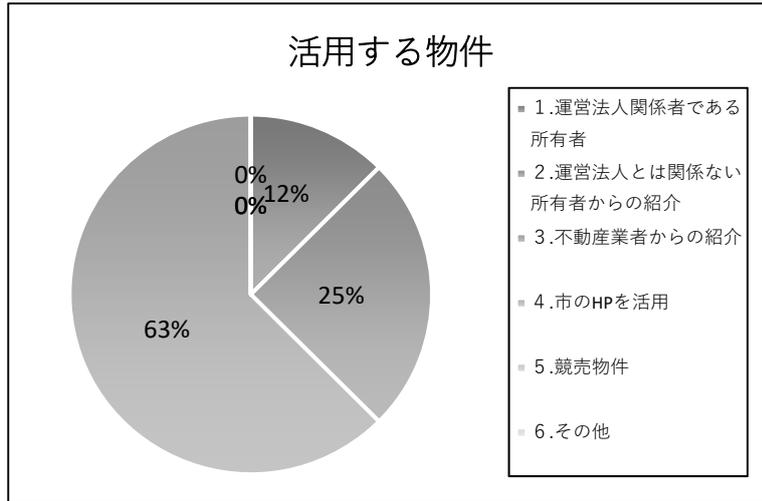
⑤グループホームを設置する建物の形態

- 1.新築……………7カ所
- 2.既存建物の改修…3カ所
- 3.その他……………1カ所
- ・賃貸アパートの利用



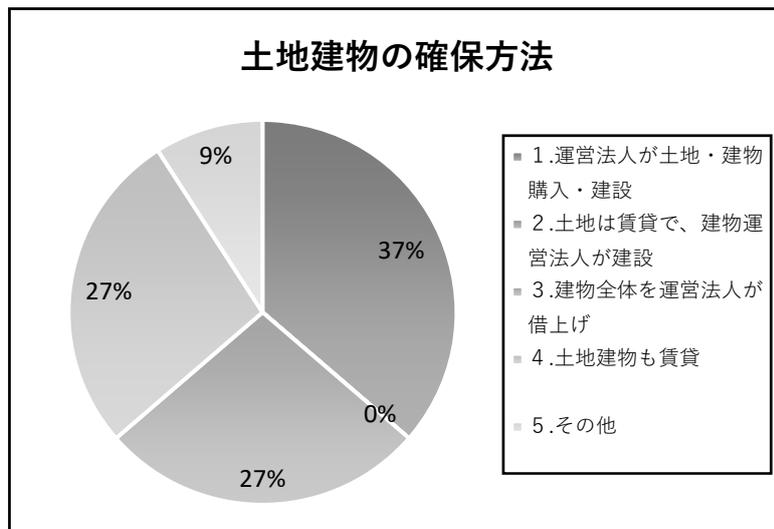
⑥グループホームとして活用する物件はどのようにして見つけましたか。

- 1.運営法人関係者である所有者（入居希望者の家族や法人の会員等）からの紹介… 1カ所
- 2.運営法人とは関係ない所有者からの紹介…………… 2カ所
- 3.不動産業者からの紹介…………… 5カ所
- 4.市のホームページ（開設応援サイト）を活用…………… 0カ所
- 5.競売物件…………… 0カ所
- 6.その他（未回答含む）…………… 3カ所
・法人が土地を見つけました



⑦土地・建物の確保方法

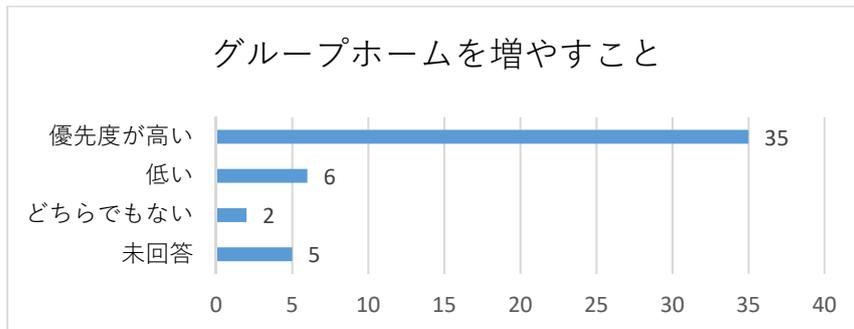
- 1.運営法人が土地・建物購入・建設…………… 4カ所
- 2.土地は賃貸で、建物は運営法人が建設…………… 0カ所
- 3.建物全体を運営法人が借上げ…………… 3カ所
- 4.土地も建物も賃貸…………… 3カ所
- 5.その他…………… 1カ所
・運営法人またはグループ企業による買いとり



21：地域での生活（地域移行）を進めるために必要な取組の優先度を教えてください。

回答は、「1」優先度が高いと思う 「2」低いと思う 「3」どちらでもないの3択また、「1」を選んだ中で、特に優先的に取り組んでほしいと思うものを5つ選んでください。必ずしも5つ選ぶ必要はありません。

(1) グループホームを増やすこと ①



(2) 民間賃貸住宅等での受入を促進するための

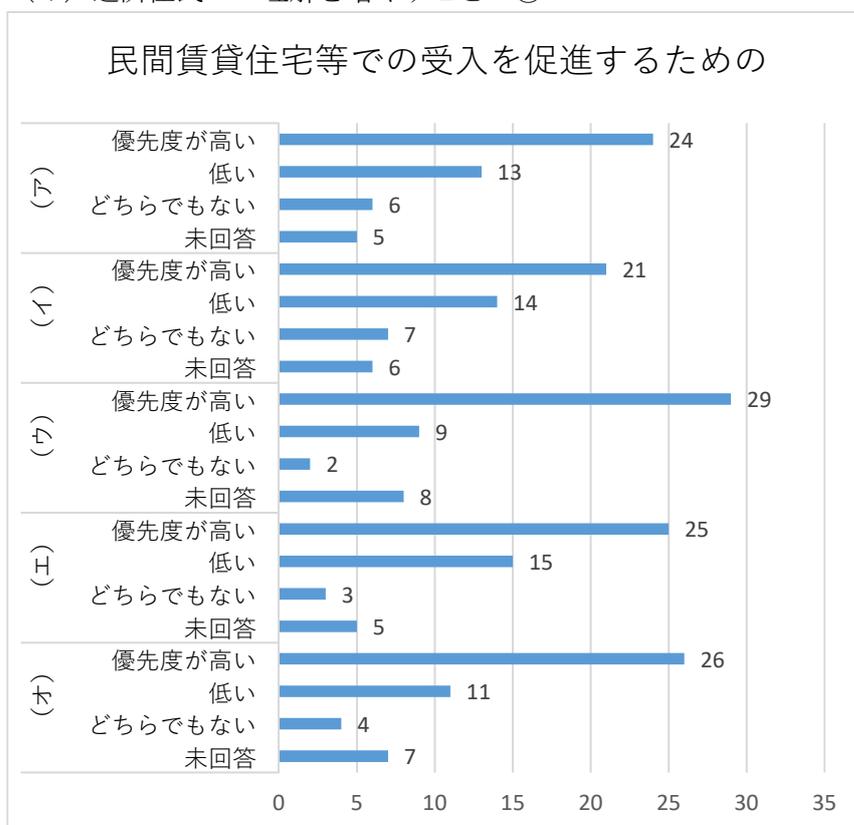
(ア) 保証人の確保 ②

(イ) 家賃保証のシステム ③

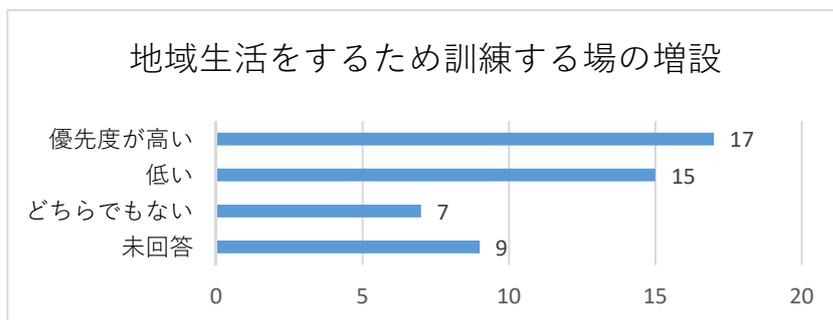
(ウ) 精神障がい者の受け入れが可能な住宅の確保 ④

(エ) 理解ある不動産会社を増やすこと ⑤

(オ) 近隣住民への理解を増やすこと ⑥



(3) 地域生活をするための訓練をする場の増設 ⑦



(4) 就労訓練をする場の増設 ⑧

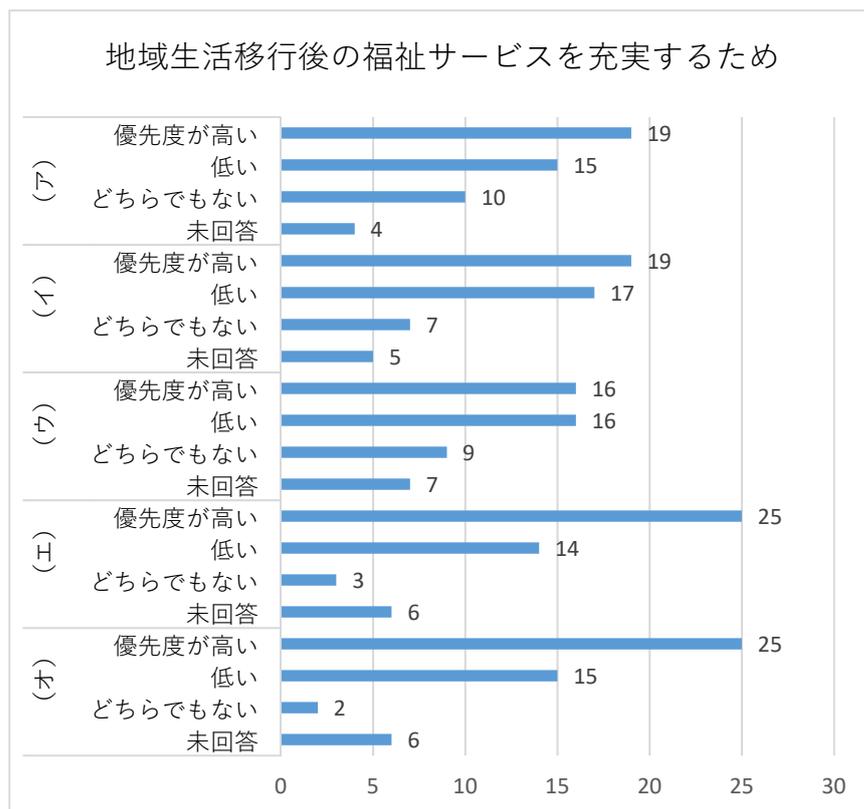


(5) 働く場の確保 ⑨



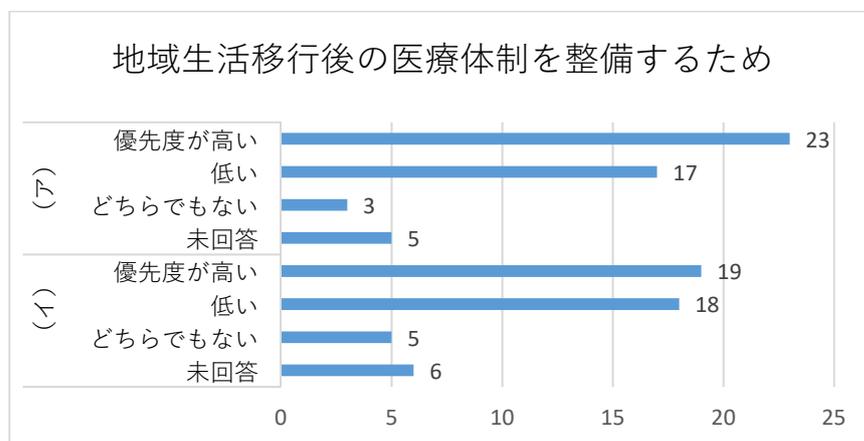
(6) 地域生活移行後の福祉サービスを充実するための

- (ア) 土日祝日等の支援 ⑩
- (イ) 正しい生活を継続できるようなハード面での支援
(例えば週5日通所する場を確保する等) ⑪
- (ウ) 通所等の支援(必要に応じて電話等での起床の声掛け、出勤確認、移動支援等の規則正しい生活が定着するまでの支援) ⑫
- (エ) 本人に適した環境になるまで一緒に試行錯誤し落ち着く状況までの支援 ⑬
- (オ) 本人からの訴えが出来ない人への定期的な訪問等の支援 ⑭



(7) 地域生活移行後の医療体制を整備するための

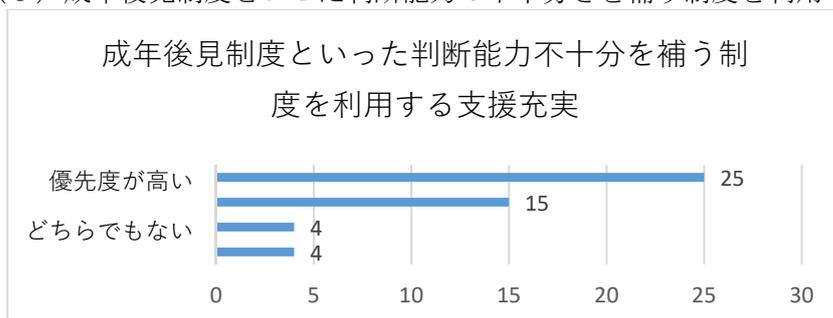
- (ア) 通院の付き添い等の支援・自主通院が可能となるような支援 ⑮
- (イ) 服薬管理・手伝い(電話・スマホ動画での確認等も含む) ⑯



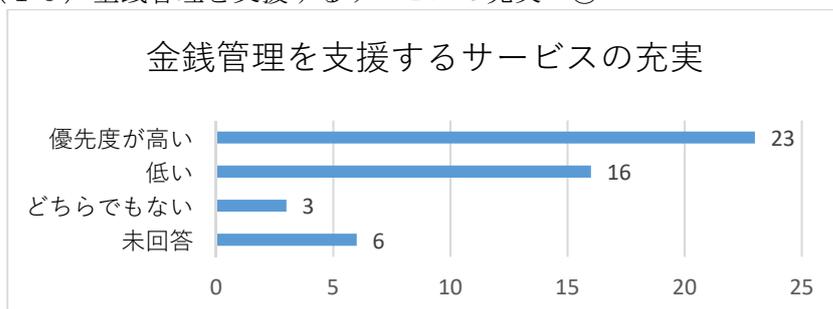
(8) 年金や手当などの所得保障の充実 ⑰



(9) 成年後見制度といった判断能力の不十分さを補う制度を利用するための支援の充実 ⑱



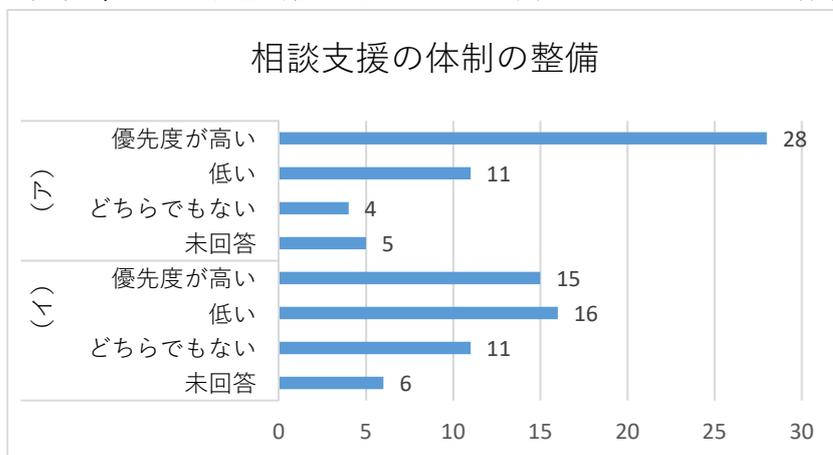
(10) 金銭管理を支援するサービスの充実 ⑲



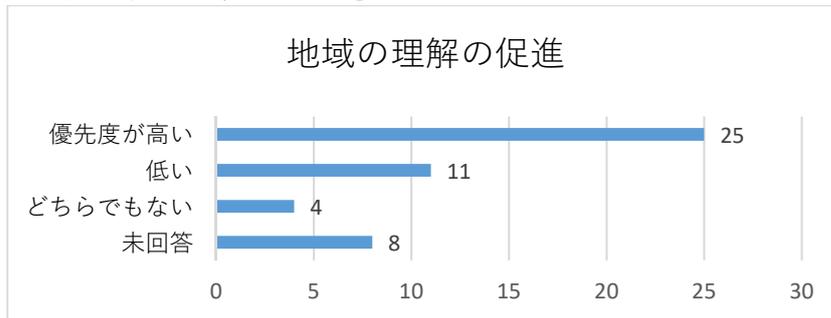
(11) 相談支援の体制の整備

(ア) 本人が困ったとき・不安な時などに駆けつけられる体制 ⑳

(イ) 家主・不動産会社などからの呼び出しに駆けつけられる体制 ㉑



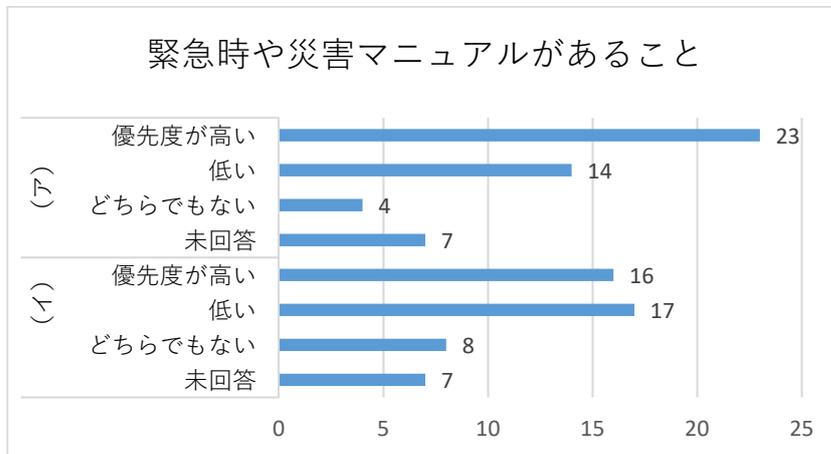
(12) 地域の理解の促進 ㉒



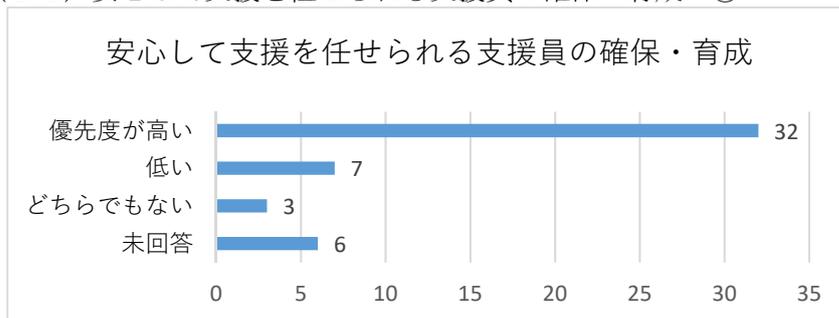
(13) 緊急時や災害時の支援体制

(ア) 地域との連携が取れていること ㉓

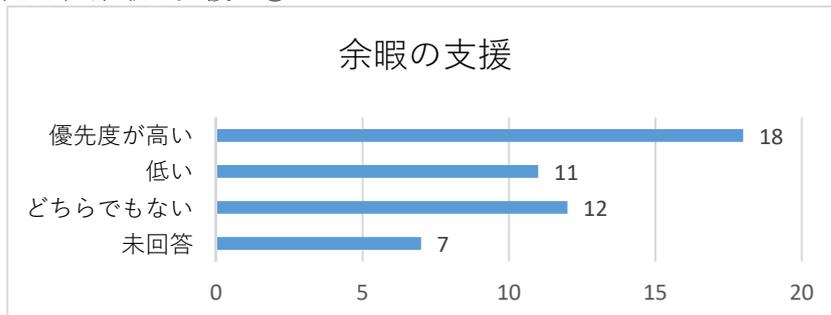
(イ) 行政の災害マニュアルがあること ㉔



(14) 安心して支援を任せられる支援員の確保・育成 ㉕



(15) 余暇の支援 ㉖



(16) 地域移行を推進するためのスタッフと費用 ⑳



(17) その他 ㉑

- ・㉑と類似していますが、援護寮（生活訓練施設）を復活させると、退院促進が進む
- ・家族の理解と意識の向上
- ・家族（特に保護者）の理解と意識の向上
- ・ショートステイのような試し期間の確保

①～⑳の中で優先度が高いと思われる項目はどれですか。

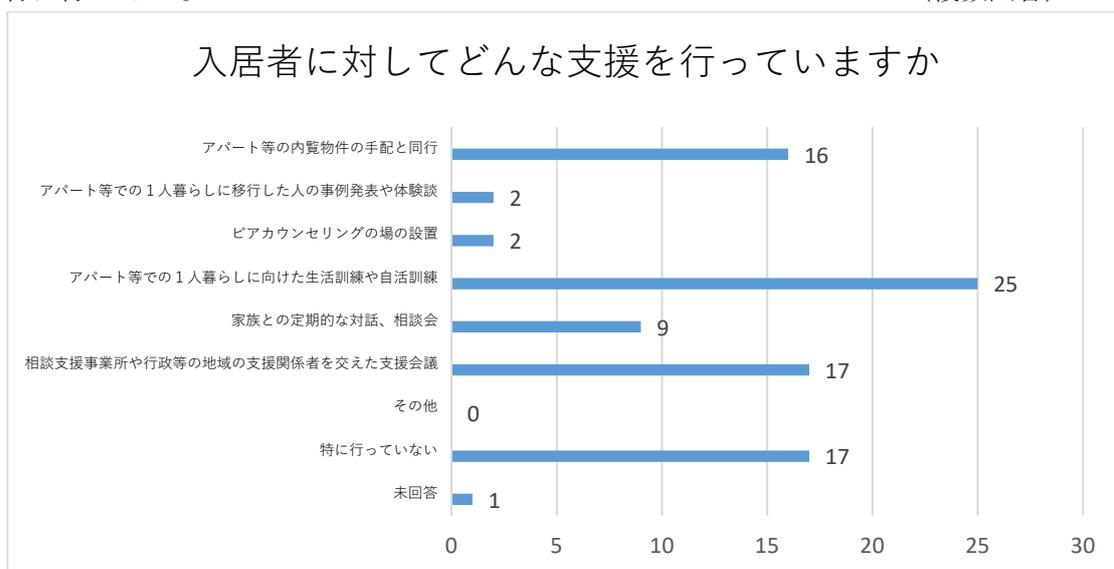
		1番	2番	3番	4番	5番
1	①	17	1	1	1	0
2	④	3	3	1	2	0
3	⑰	3	2	0	0	3
4	⑦	3	1	1	0	1
5	⑫	3	0	1	1	1
6	㉕	2	2	2	0	1
7	②	2	2	1	3	0
8	⑬	2	1	1	1	2
9	⑨	1	5	2	2	2
10	⑥	1	4	2	0	2
11	⑤	1	3	3	1	2
12	⑩	1	3	1	7	3
13	㉒	1	2	2	2	3
14	㉔	1	1	3	1	1
15	⑱	1	1	2	1	3
16	⑧	1	0	3	4	0
17	⑭	0	3	5	2	5
18	③	0	3	1	2	1
19	⑲	0	2	5	4	2
20	㉘	0	2	0	0	0
21	㉓	0	1	0	1	2
22	㉗	0	1	0	0	1
23	⑮	0	0	2	2	1
24	⑯	0	0	1	2	1
25	⑪	0	0	2	1	0
26	㉖	0	0	0	1	0
27	㉑	0	0	0	0	0
28	㉔	0	0	0	0	0

※「優先度が高いと思われるもの」の1番に記入された番号の多い順で並べています。

22：アパート等での1人暮らしの実現にむけ、入居者に対してどんな支援を行っていますか。

- 1.アパート等の内覧物件の手配と同行
- 2.アパート等での1人暮らしに移行した人の事例発表や体験談
- 3.ピアカウンセリングの場の設置
- 4.アパート等での1人暮らしに向けた生活訓練や自活訓練
- 5.家族との定期的な対話、相談会
- 6.相談支援事業所や行政等の地域の支援関係者を交えた支援会議
- 7.その他
- 8.特に行っていない

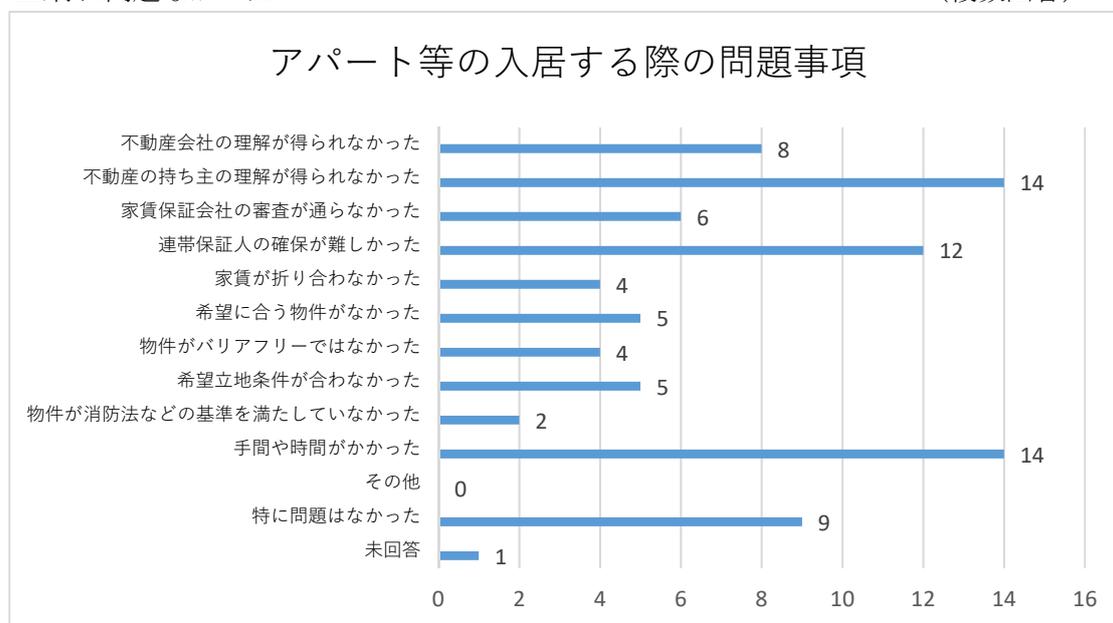
(複数回答)



23：グループホーム入居者がアパート等の民間賃貸住宅に入居する際に、問題になった事項がありましたか。

- 1.不動産会社の理解が得られなかった
- 2.不動産の持ち主（オーナー）の理解が得られなかった
- 3.家賃保証会社の審査が通らなかった
- 4.連帯保証人の確保が難しかった
- 5.家賃が折り合わなかった
- 6.希望に合う物件がなかった
- 7.物件がバリアフリーではなかった
- 8.希望立地条件が合わなかった
- 9.物件が消防法などの基準を満たしていなかった
- 10.手間や時間がかかった
- 11.その他
- 12.特に問題なかった

(複数回答)



24：将来のニーズを把握するため、質問にお答えください。

回答は、貴法人内で、指定特定相談支援事業を行っている場合のみご回答ください。

本人の希望どおりのサービス等利用計画になっていない場合も、このアンケートにおいては、本人の本来の希望をご記入ください。

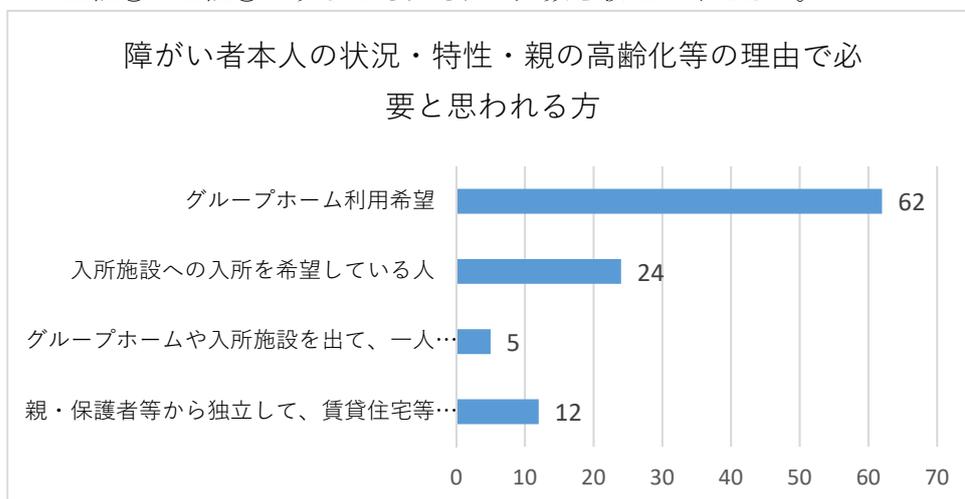
なお、複数の指定特定相談支援事業所を運営している法人はまとめて（1法人1回答として）ください。

- (1) ① 5年以内にグループホームの利用を希望している人
② 5年以内に入所施設への入所を希望している人
③ 5年以内にグループホームや入所施設を出て、賃貸住宅等で一人暮らしを希望している人
④ 5年以内に親・保護者等から独立して、賃貸住宅等で一人暮らしを希望している人



- (2) 上記希望者のうち、障がい者本人の状況・特性、親の高齢化等の理由を判断し、希望どおりのサービス等利用計画案の作成が必要と思われる方は何人いますか。

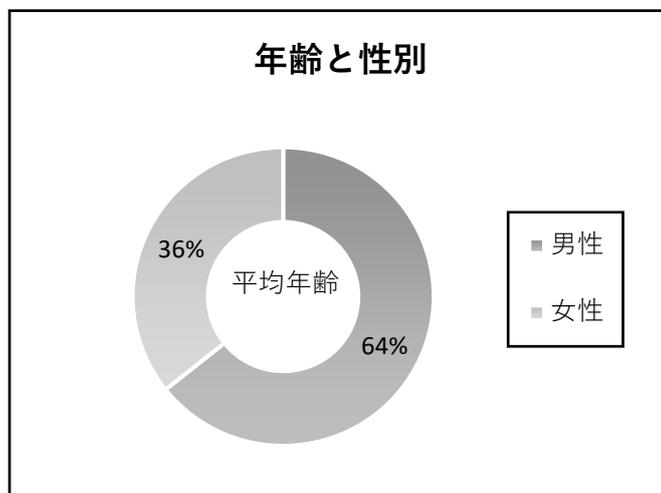
上記①～上記④のうちでそれぞれの人数を教えてください。



調査（3）【入所施設・入所者からの回答】

1：年齢と性別を教えてください。

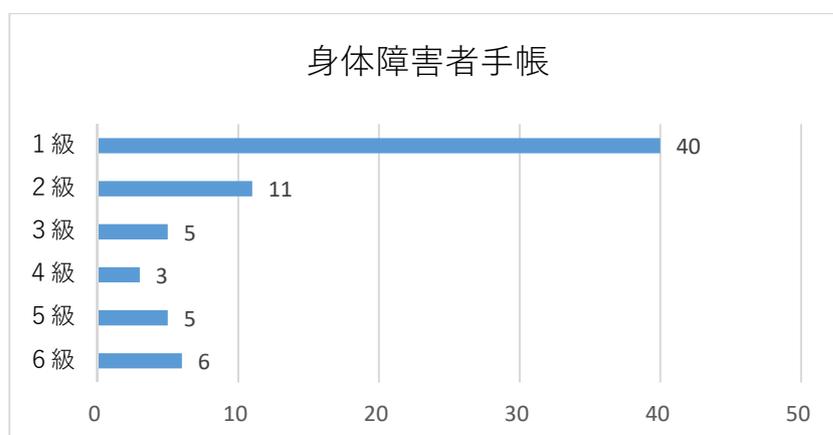
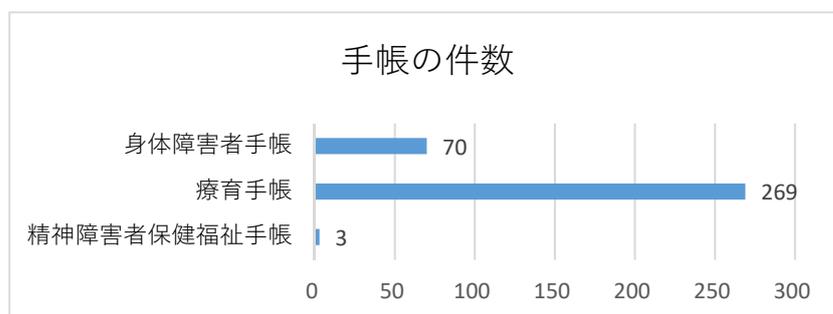
回答数 310人
 男性… 198人
 女性… 110人
 男性… 19歳～88歳
 女性… 25歳～93歳
 未回答… 2人

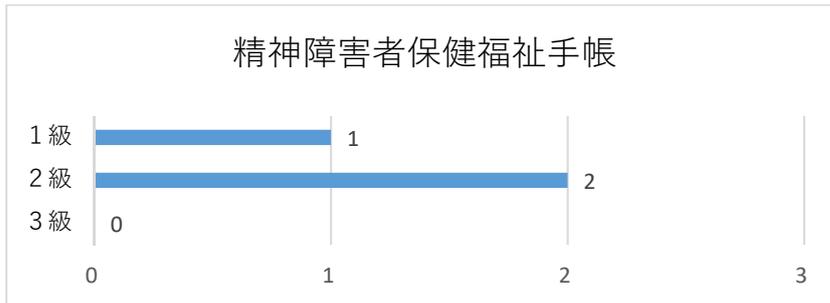
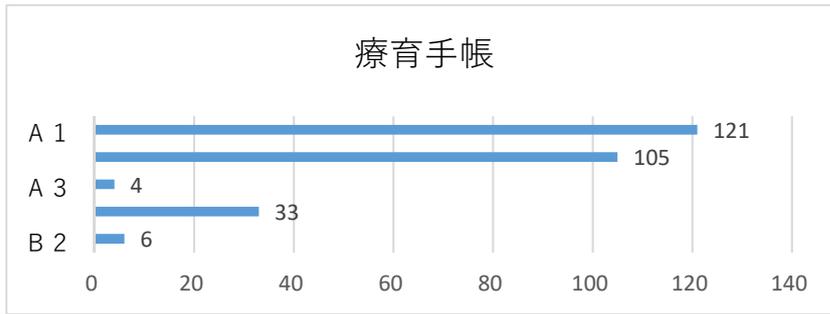


2：入所して何年になりますか。

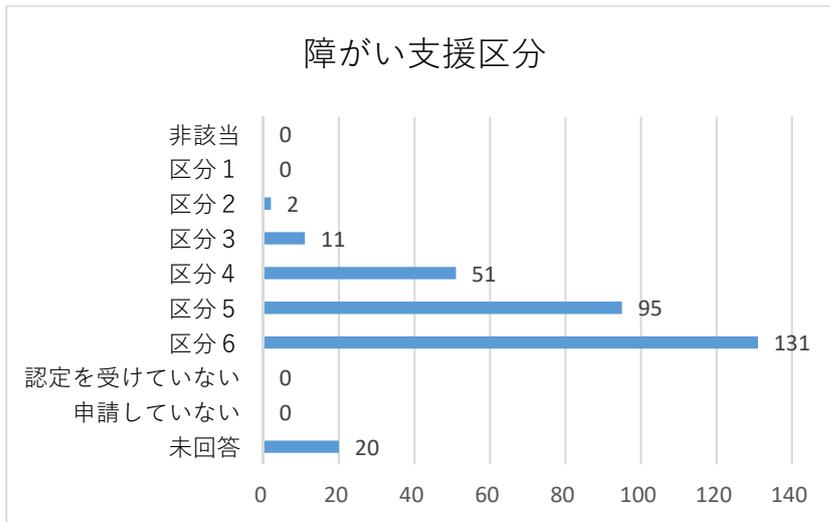
平均の歳… 18年
 1番短い年… 2カ月
 1番長い年… 59年

3：持っている手帳を教えてください。

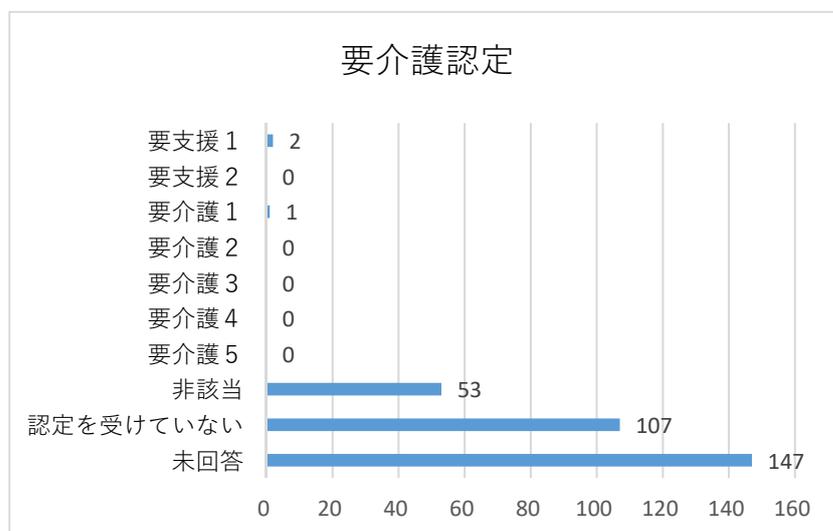




4：障がい支援区分はどれに当てはまりますか。



5：要介護認定はどれに当てはまりますか。



6：ご両親の年齢を教えてください。

お父さん…平均年齢 72 歳 最低年齢…47 歳 最高年齢…92 歳
お母さん…平均年齢 73 歳 最低年齢…44 歳 最高年齢…91 歳

7：今の暮らしは楽しいですか。

とても楽しい…40 人 楽しい…211 人 楽しくない…24 人

8：とても楽しい、楽しいと答えた方 一番楽しいことを教えてください。

- ・人と関わること
- ・外出
- ・売店や公共交通機関での外出
- ・テレビを見ること
- ・食事の時間
- ・送迎車に同乗してドライブ
- ・行事
- ・内職
- ・買い物支援の売店
- ・カラオケ
- ・貼り絵や刺し子を職員と一緒にすること

9：楽しくないと答えた方 楽しくないのはなぜですか。

- ・ウォーキングがしたくない
- ・自分の好きな時に好きなように外出することが難しいため
- ・たのしくないだけ
- ・苦手、好まない人がいるから
- ・施設の中ばかりいて楽しくない
- ・皆に悪口を言われているような気がする
- ・保護者との面会
- ・職員との言葉のやりとり
- ・騒がしくて暴れる利用者や壊す利用者がいるので困っています

10：月のうち何日くらい外出しますか。(生活介護・通院等への通所は含みません)

- ①平均の日数…… 2 日
- ②最低日数…… 0 日
- ③最高日数……20 日

11：施設の行事以外の外出はありますか。その外出は誰としますか。

ある…161日 ない…118日

- ・保護者か職員
- ・支援員
- ・両親
- ・兄弟

12：1か月で自由に使えるお金はいくらですか。

- ①平均金額… 9,313円
- ②最低金額… 0円
- ③最高金額… 50,000円

13：食事はおいしいですか。

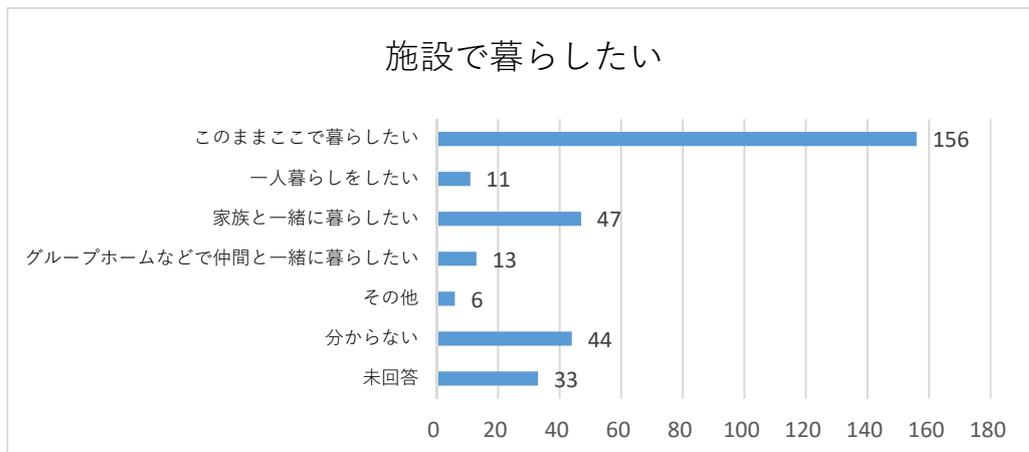
- ①とてもおいしい… 69件
- ②おいしい… 191件
- ③おいしくない… 15件

14：一番楽しみなメニューは何ですか。

- ・全部好き
- ・肉
- ・ラーメン
- ・カレーライス
- ・チャーハン
- ・ちゃんぽん
- ・揚げ物
- ・ミートスパゲティ
- ・ご飯
- ・パン
- ・オムライス
- ・魚料理

15：あなたはこれからもずっとこの施設で暮らしたいですか。1つだけ回答してください。

- 1.このままここで暮らしたい
- 2.1人暮らしをしたい
- 3.家族と一緒に暮らしたい
- 4.グループホームなどで仲間と一緒に暮らしたい
- 5.その他
 - ・早良に行きたい
 - ・他施設へ入所したい
 - ・好きな利用者と一緒にマンションで暮らしたい
 - ・働きたい
 - ・しばらくは
- 6.分からない



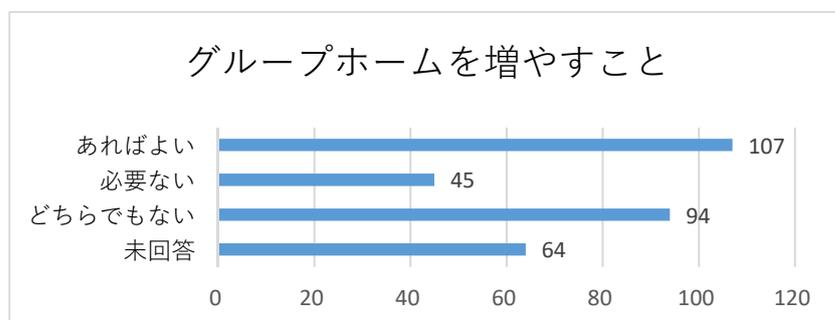
16：どうしてそう思うのですか。

- ・保護者が亡くなった時、一人で生きていくのは大変だから
- ・施設での生活が一番自分にあってるから
- ・ゆっくりと過ごすことができるから
- ・友達がたくさんいて職員の方とも一緒に生活ができるから。学園の食事がおいしいから
- ・職員のやりとりもあり、楽しいこともあるため

17：もし地域での生活をするとしたら、どのような支援やサービスがあればよいと思いますか。

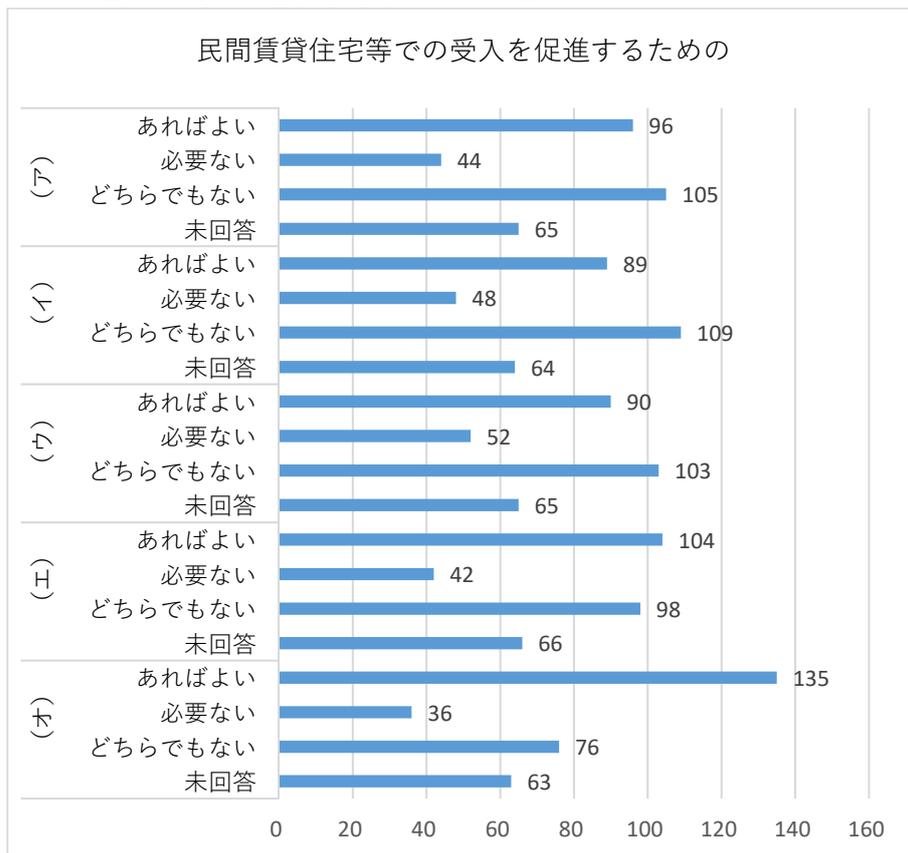
回答は、「1」あればよいと思う「2」必要ないと思う「3」どちらでもないの3択
また、「1」を選んだ中で、特に優先的に取り組んでほしいと思うものを5つ選んでください。
必ずしも5つ選ぶ必要はありません。

(1) グループホームを増やすこと ①

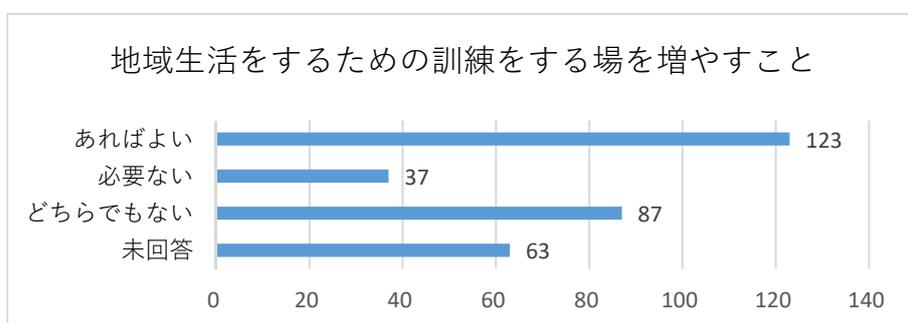


(2) 民間賃貸住宅等での受入を促進するための

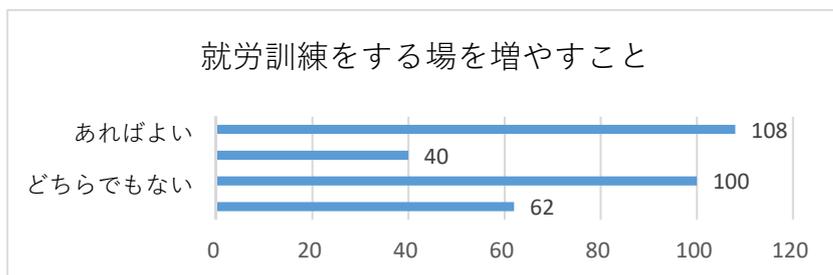
- (ア) 保証人の確保 ②
- (イ) 家賃保証のシステム ③
- (ウ) 精神障がい者の受け入れが可能な住宅の確保 ④
- (エ) 理解ある不動産会社を増やすこと ⑤
- (オ) 近隣住民への理解を増やすこと ⑥



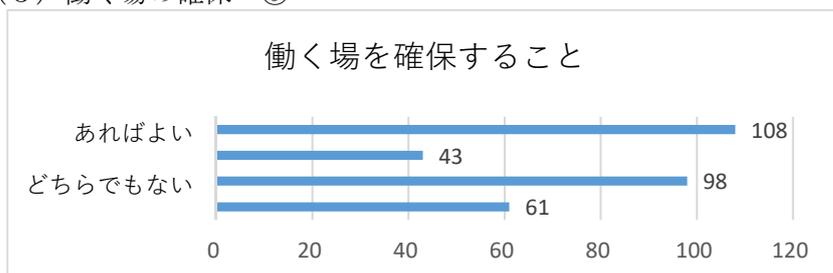
(3) 地域生活をするための訓練をする場の増設 ⑦



(4) 就労訓練をする場の増設 ⑧



(5) 働く場の確保 ⑨



(6) 地域生活移行後の福祉サービスを充実するための

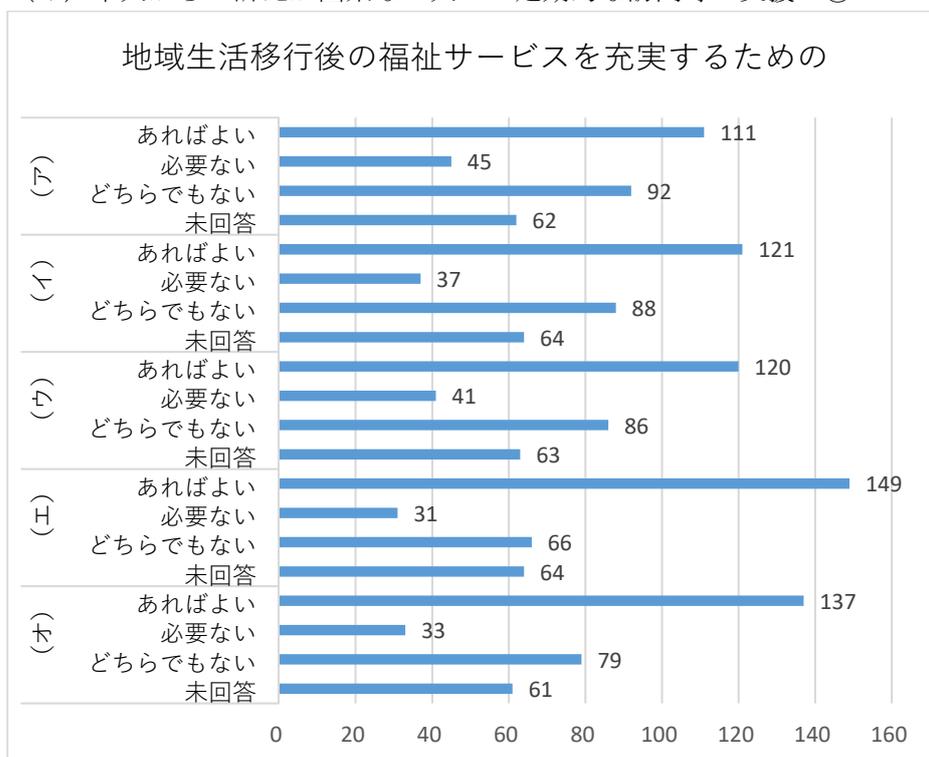
(ア) 土日祝日等の支援 ⑩

(イ) 正しい生活を継続できるようなハード面での支援（例えば週5日通所する場を確保する等） ⑪

(ウ) 通所等の支援（必要に応じて電話等での起床の声掛け、出勤確認、移動支援等の規則正しい生活が定着するまでの支援） ⑫

(エ) 本人に適した環境になるまで一緒に試行錯誤し落ち着く状況までの支援 ⑬

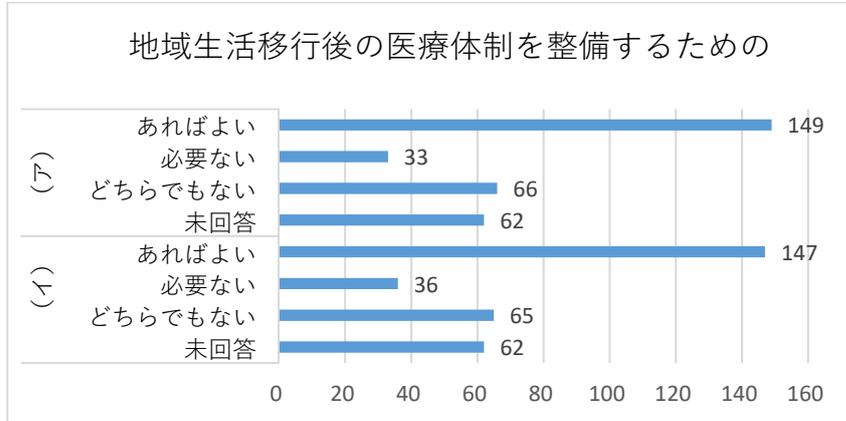
(オ) 本人からの訴えが出来ない人への定期的な訪問等の支援 ⑭



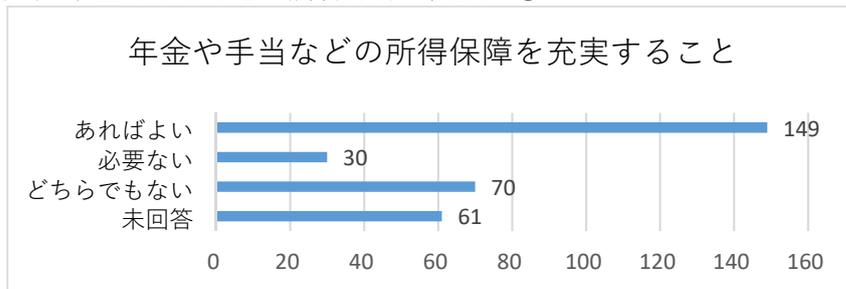
(7) 地域生活移行後の医療体制を整備するための

(ア) 通院の付き添い等の支援・自主通院が可能となるような支援 ⑮

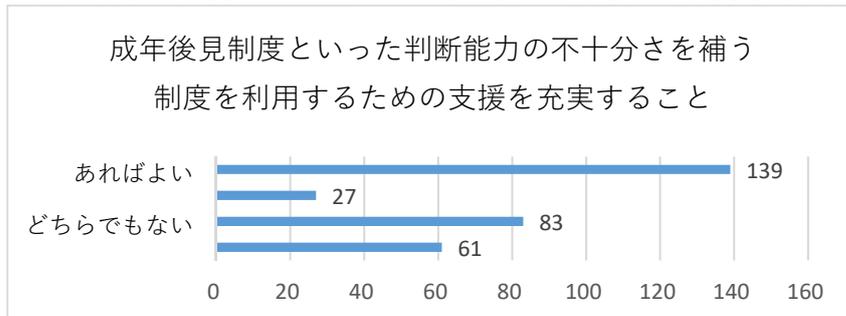
(イ) 服薬管理・手伝い（電話・スマホ動画での確認等も含む） ⑯



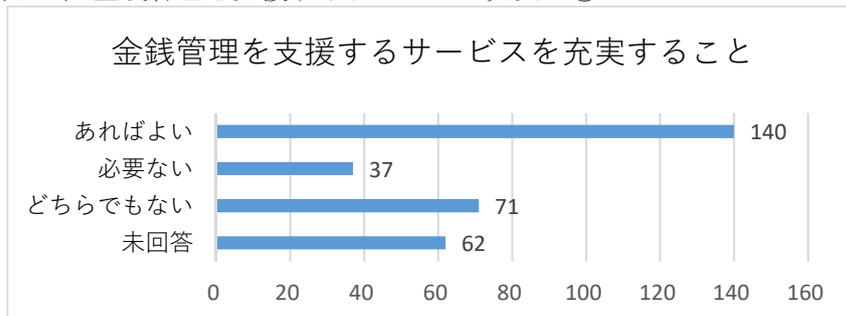
(8) 年金や手当などの所得保障の充実 ⑰



(9) 成年後見制度といった判断能力の不十分さを補う制度を利用するための支援の充実 ⑱



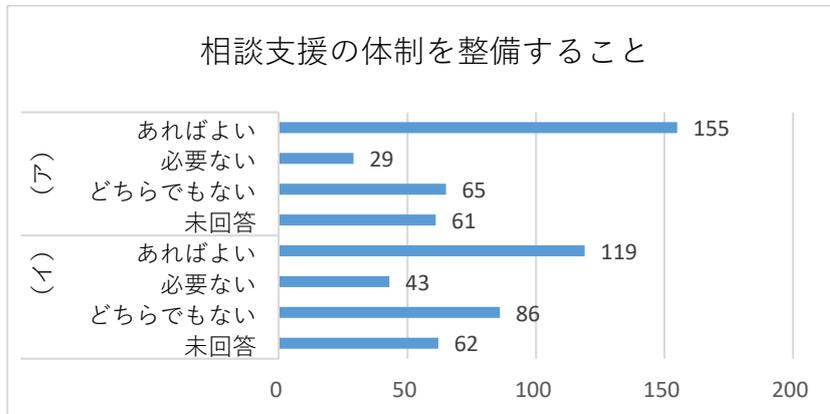
(10) 金銭管理を支援するサービスの充実 ⑲



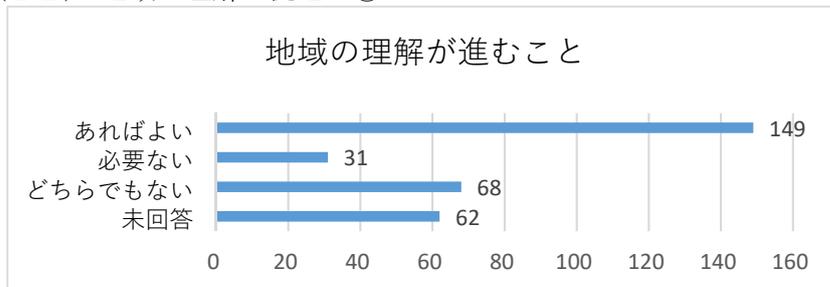
(1 1) 相談支援の体制の整備

(ア) 本人が困ったとき・不安な時などに駆けつけられる体制 ⑳

(イ) 家主・不動産会社などからの呼び出しに駆けつけられる体制 ㉑



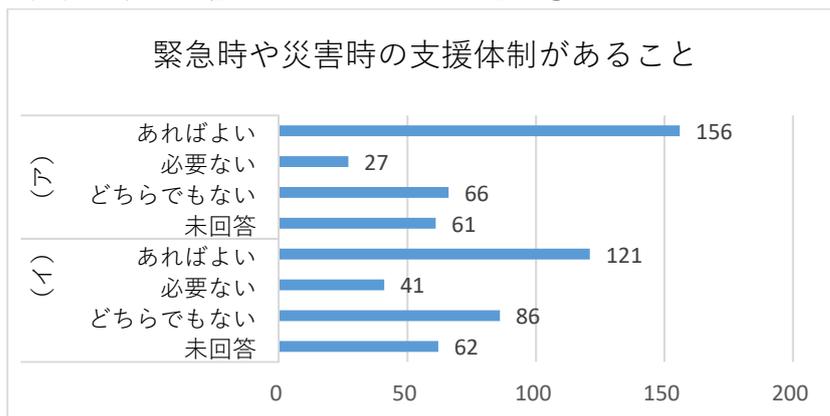
(1 2) .地域の理解の促進 ㉒



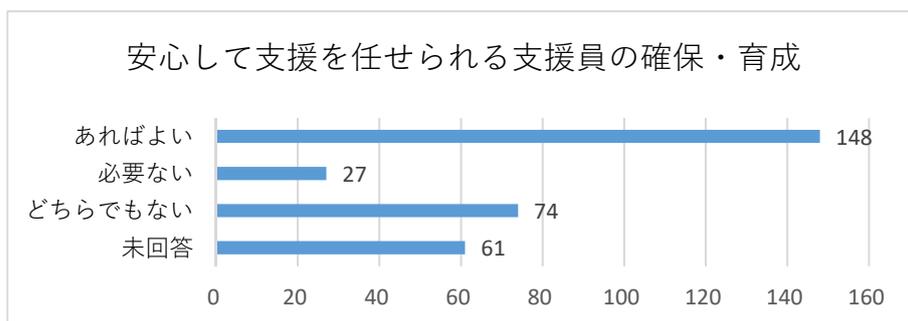
(1 3) 緊急時や災害時の支援体制

(ア) 地域との連携が取れていること ㉓

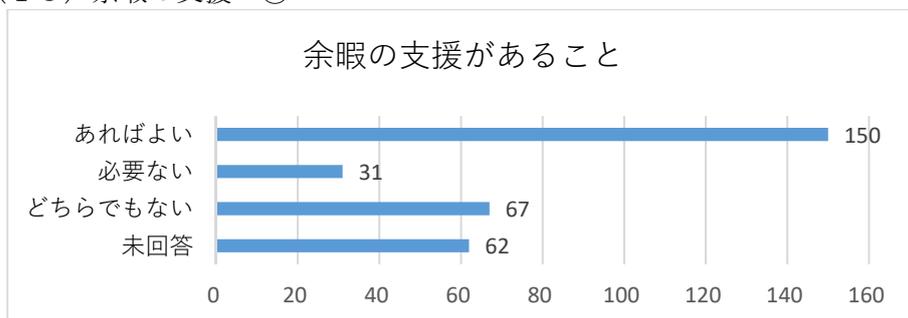
(イ) 行政の災害マニュアルがあること ㉔



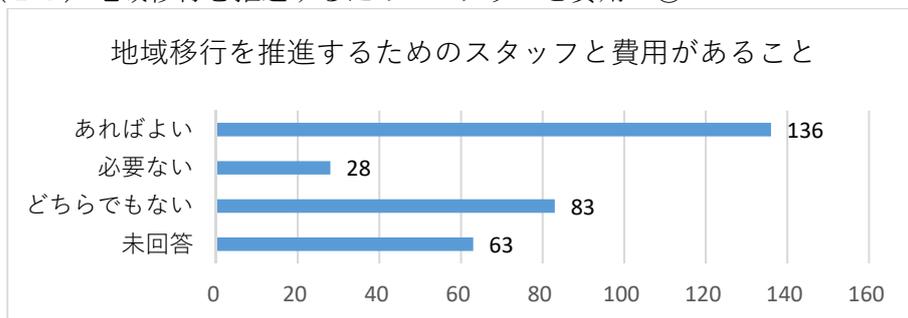
(14) 安心して支援を任せられる支援員の確保・育成 ②⑤



(15) 余暇の支援 ②⑥



(16) 地域移行を推進するためのスタッフと費用 ②⑦



(17) その他 ②⑧

- ・楽しい
- ・本人に質問内容を理解してもらうことが難しいため3を選択している
- ・本人に理解していただくことが難しいため3を選択しています
- ・本人の理解がどこまでできているかの判断が困難なためどちらでもないを選択している

①～⑳の中で優先度が高いと思われる項目はどれですか。

		1番	2番	3番	4番	5番
1	⑥	21	7	13	7	7
2	⑱	20	5	10	6	2
3	①	19	2	1	2	5
4	⑬	14	10	5	9	11
5	⑦	11	8	2	7	7
6	㉓	10	3	2	1	6
7	⑩	9	21	3	3	8
8	㉒	8	10	5	6	3
9	⑲	7	3	3	6	1
10	㉖	7	2	3	10	5
11	㉕	6	10	5	3	11
12	⑮	5	20	8	6	4
13	⑰	5	8	5	9	3
14	⑭	5	5	6	4	12
15	②	5	1	0	0	1
16	⑧	4	4	11	2	4
17	㉔	3	9	8	9	9
18	④	3	3	7	2	0
19	⑪	2	5	8	3	4
20	㉓	2	5	5	6	5
21	⑨	2	3	6	9	7
22	⑫	1	7	9	4	3
23	㉑	1	1	3	1	0
24	③	1	1	2	0	0
25	⑤	0	9	4	11	1
26	⑯	0	5	13	5	7
27	㉔	0	0	0	0	0
28	㉘	0	0	0	0	0

※「優先度が高いと思われるもの」の1番に記入された番号の多い順で並べています。

18：この調査票はどなたが記入しましたか。

1.本人が記入した 21人

2.本人の意志を確認しながら、他の人（続柄等： ）が記入した 250人

調査（４）【グループホーム・利用者からの回答】

1：年齢と性別を教えてください。

回答数 374人

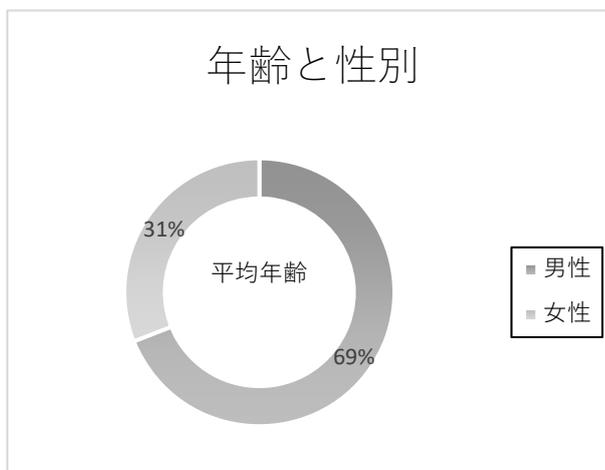
男性… 254人

女性… 114人

男性… 19歳～76歳

女性… 20歳～76歳

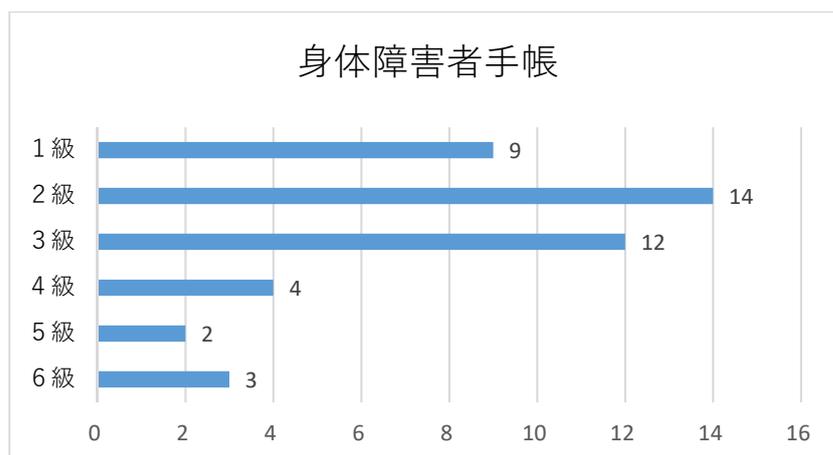
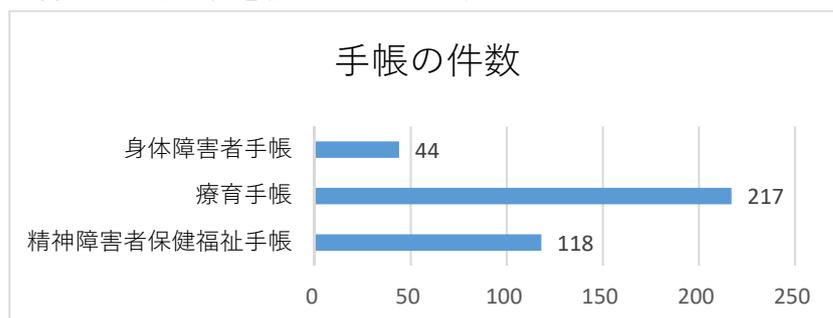
未回答…… 6人

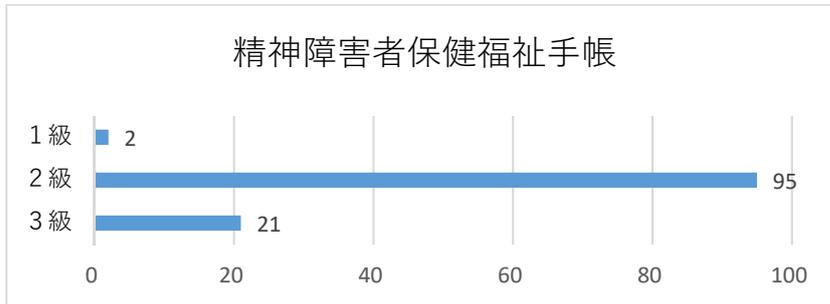
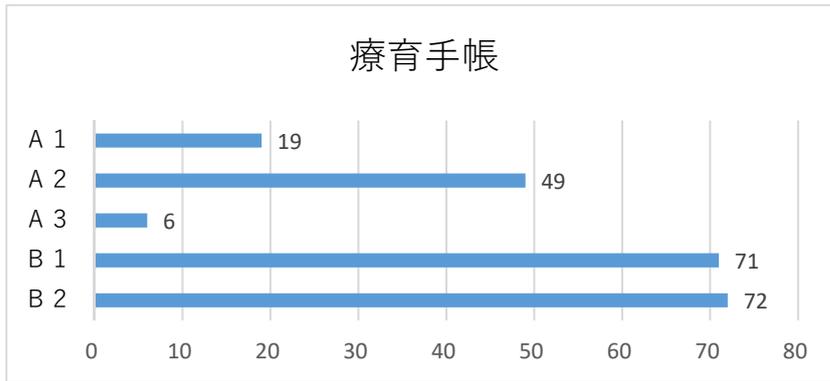


2：入居して何年になりますか。

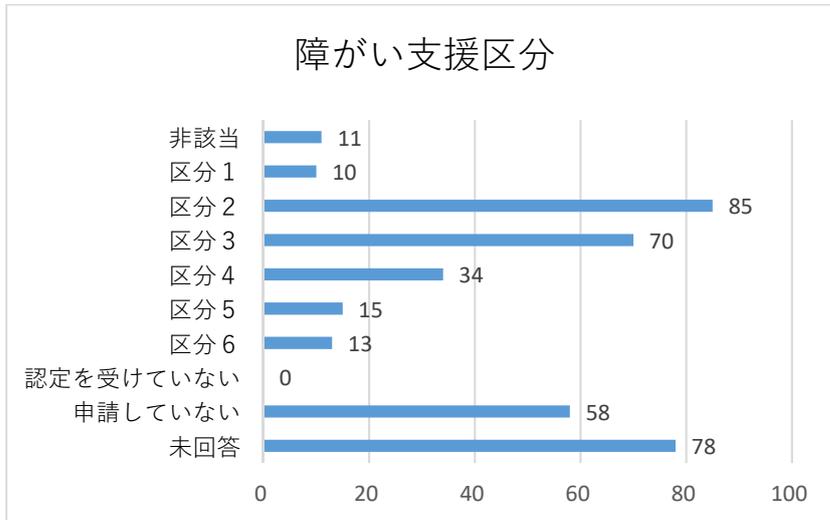
平均年…4年 一番短い年…0年 一番長い年…25年

3：持っている手帳を教えてください。

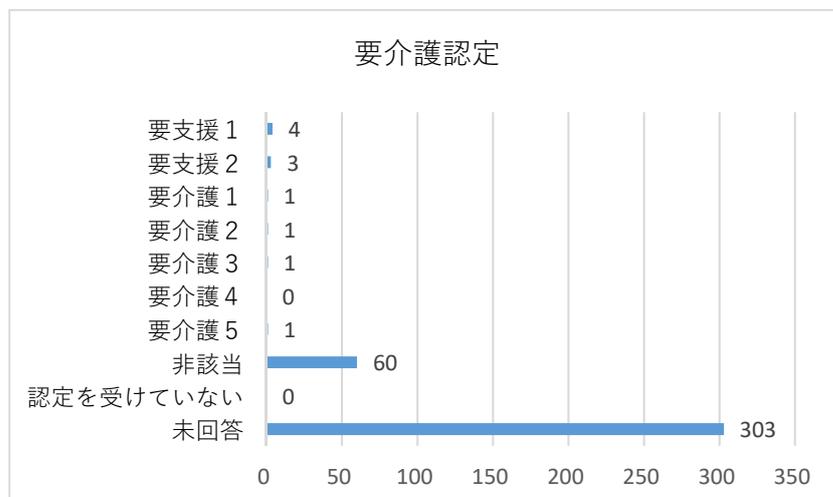




4：障がい支援区分はどれに当てはまりますか。



5：要介護認定はどれに当てはまりますか。



6：ご両親の年齢を教えてください。

お父さん…平均年齢 68 歳 最低年齢 29 歳 最高年齢 88 歳

お母さん…平均年齢 68 歳 最低年齢 39 歳 最高年齢 96 歳

7：今の暮らしは楽しいですか。

とても楽しい…89 人 楽しい…224 人 楽しくない…46 人

8：とても楽しい、楽しいと答えた方 一番楽しいことを教えてください。

- ・自分の時間が落ち着いて過ごせること
- ・他の利用者のお方とお話している時
- ・みんなと一緒に生活できること、自分で少しづつ身の回りのことが出来るようになった
- ・部屋でテレビとビデオを見るのが楽しい
- ・他の入所者との夕食や休みの日の散歩など
- ・仲間と一緒にホームから通所できる
- ・デイケアで勉強できること
- ・いろんな行事があつて参加してみると楽しかった
- ・支援員の方々や仲間と一緒にいるから
- ・天気のいい日のお散歩

9：楽しくないと答えた方 楽しくないのはなぜですか。

- ・未来に向けてのやりたい事がみあたらない
- ・他の利用者が迷惑かけてくるし、部屋に勝手に入ってくる人がいる。自分の時間が作れなくて楽しくない
- ・一人で過ごせる時間が少ない
- ・先行き不安でたまらない
- ・自由がない。いつも誰かと一緒
- ・他の利用者と距離が近くなりすぎることがある
- ・話題がない。さわがしすぎる
- ・なかなかグループホームの環境に慣れない
- ・毎日の繰り返しでおもしろくない
- ・障がいの特性に対する施設側の配慮がほとんどなされていないから

10：月のうち何日くらい外出しますか。(生活介護・通院等への通所は含みません)

平均の日数…10日 最低日数…0日 最高日数…31日

11：ホームの行事以外の外出はありますか。その外出は誰としますか。

ある…303人 ない…50人 未回答…21人

・家族 ・訪問看護 ・支援者 ・彼氏 ・恋人 ・仕事仲間

・1人 ・ヘルパー ・保護者 ・友人 ・友達 ・職員

12：1か月で自由に使えるお金はいくらですか。

平均の金額…23,475円 最低金額…0円 最高金額…240,000円

13：食事はおいしいですか。

とてもおいしい…134人 おいしい…211人 おいしくない…8人 未回答…21人

14：一番楽しみなメニューは何ですか。

・うどん ・ちゃんぽん ・お刺身 ・お肉料理 ・お味噌汁 ・揚げ物 ・井もの

・味噌汁 ・ラーメン ・チャーハン ・野菜炒め ・カレー ・焼き魚

15：仲間たちと気が合いますか。

とても気が合う…53人 気が合う…226人 あわない…66人 未回答…29人

16：職員さんたちと気が合いますか。

とても気が合う…77人 気が合う…245人 あわない…30人 未回答…22人

17：あなたはこれからもずっとこのホームで暮らしたいですか。1つだけ回答してください。

1.このままここで暮らしたい

2.1人暮らしをしたい

3.家族と一緒に暮らしたい

4.シェアハウスなどで仲間と一緒に暮らしたい

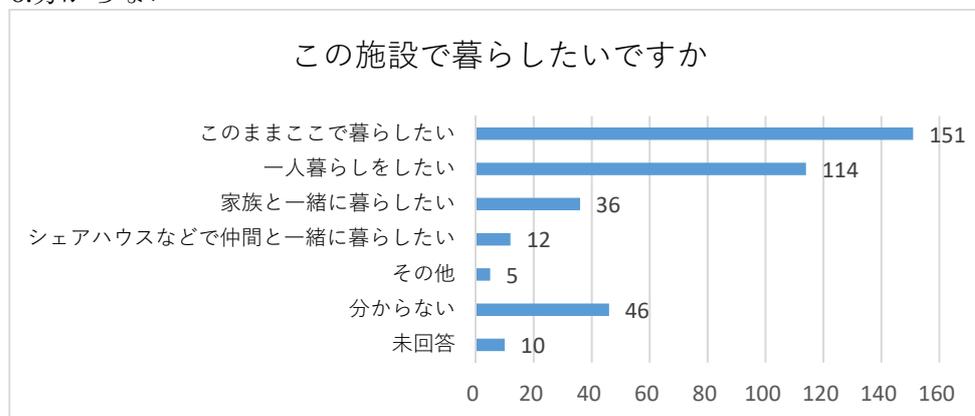
5.その他

・愛する人見つけて

・彼と結婚して家族で暮らしたい

・結婚して子供を授かる

6.分からない



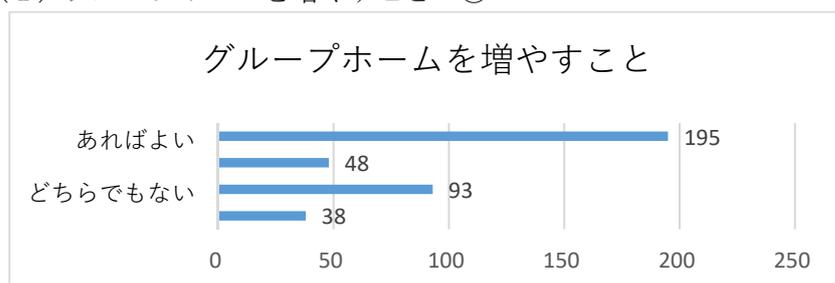
18： どうしてそう思うのですか。

- ・自分の時間を大切にしたいから
- ・路上生活をしている時は辛かった。あの頃を思い出すと本当に安心できるから
- ・一歩ずつステップアップをして、最終的に一人暮らしを実現させたい
- ・気の合う仲間と一緒にいられるから
- ・まだまだ一人で毎日暮らす自身がなくて、実家よりここの方が交通の便がいいから。この指導員の人たちは本当に親切だから
- ・みんなと食事が楽しい優しいから好きだから
- ・自立をして自分だけの力で生活をしたいから
- ・家族が高齢になり、家で世話を受けることが困難、または不可能になるかもしれないから
- ・現在のホームに満足している。仲間がいること。職員さんがよく面倒を見てくれること
- ・親元から少しでも離れて自立していきたい

19：もし地域での生活をするとしたら、どのような支援やサービスがあればよいと思いますか。

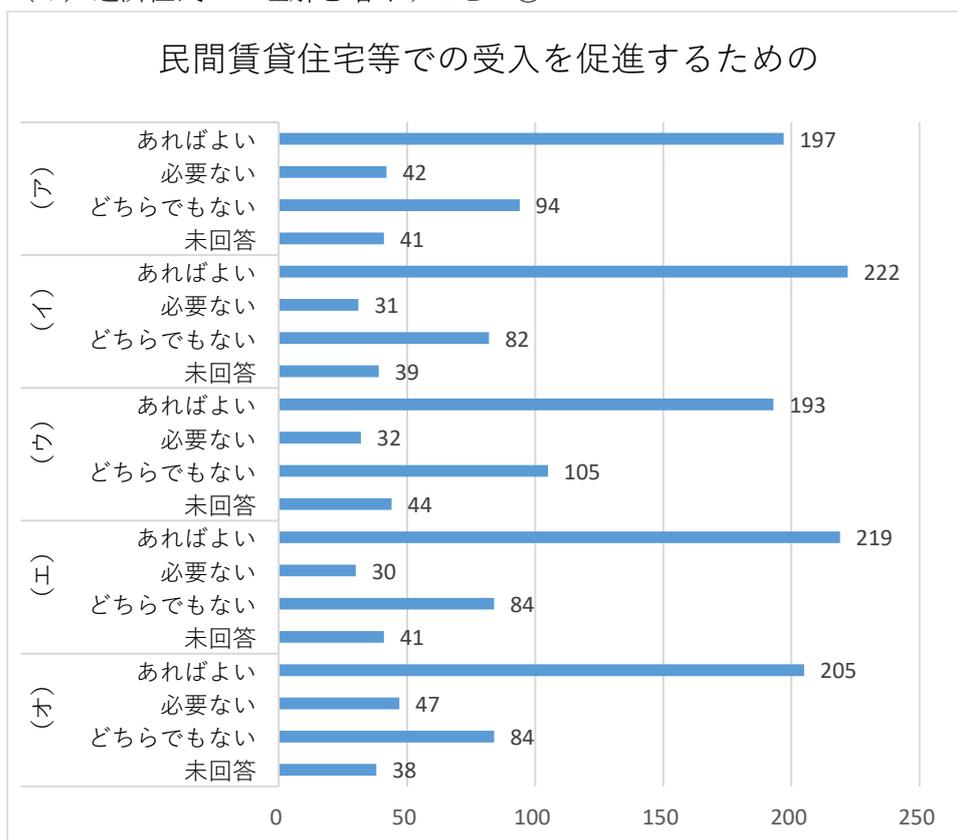
回答は、「1」あればよいと思う 「2」必要ないと思う 「3」どちらでもないの3択
また、「1」を選んだ中で、特に優先的に取り組んでほしいと思うものを5つ選んでください。
必ずしも5つ選ぶ必要はありません。

(1) グループホームを増やすこと ①



(2) 民間賃貸住宅等での受入を促進するための

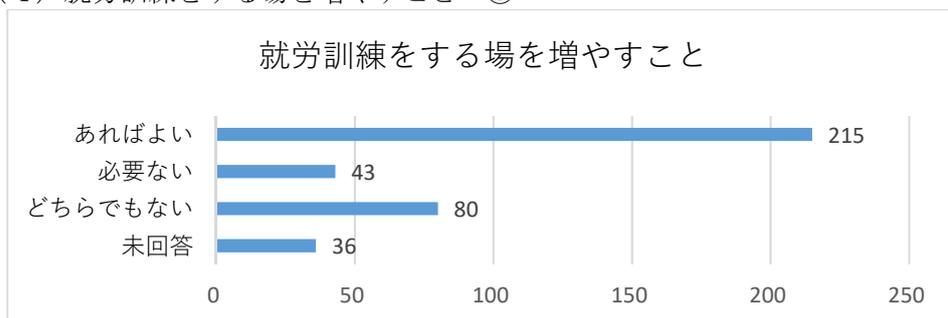
- (ア) 保証人の確保 ②
- (イ) 家賃保証のシステム ③
- (ウ) 精神障がい者の受け入れが可能な住宅の確保 ④
- (エ) 理解ある不動産会社を増やすこと ⑤
- (オ) 近隣住民への理解を増やすこと ⑥



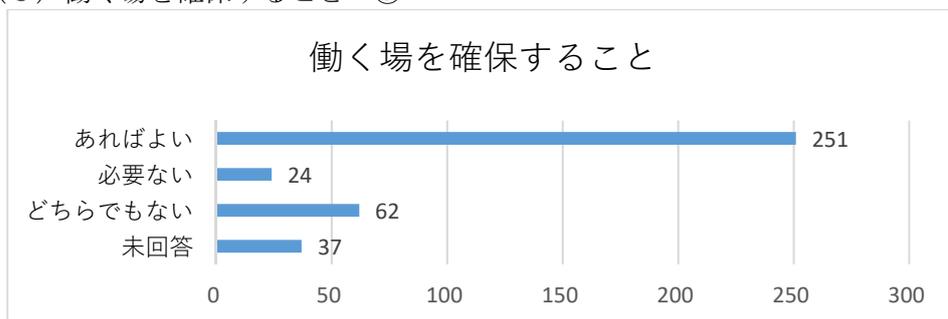
(3) 地域生活をするための訓練をする場を増やすこと ⑦



(4) 就労訓練をする場を増やすこと ⑧



(5) 働く場を確保すること ⑨



(6) 地域生活移行後の福祉サービスを充実するための

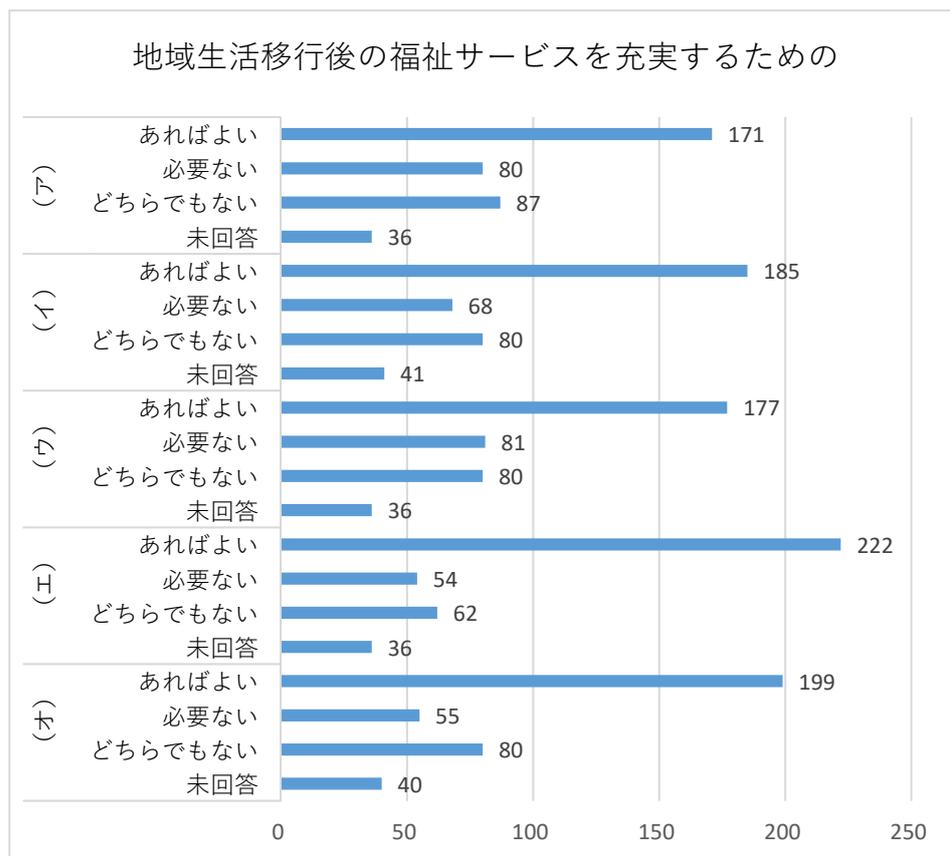
(ア) 土日祝日等の支援 ⑩

(イ) 規則正しい生活を継続できるようなハード面での支援（例えば週5日通所する場を確保する等） ⑪

(ウ) 通所等の支援（必要に応じて電話等での起床の声掛け、出勤確認、移動支援等の規則正しい生活が定着するまでの支援） ⑫

(エ) 自分に適した環境になるまで一緒に試行錯誤し落ち着く状況までの支援 ⑬

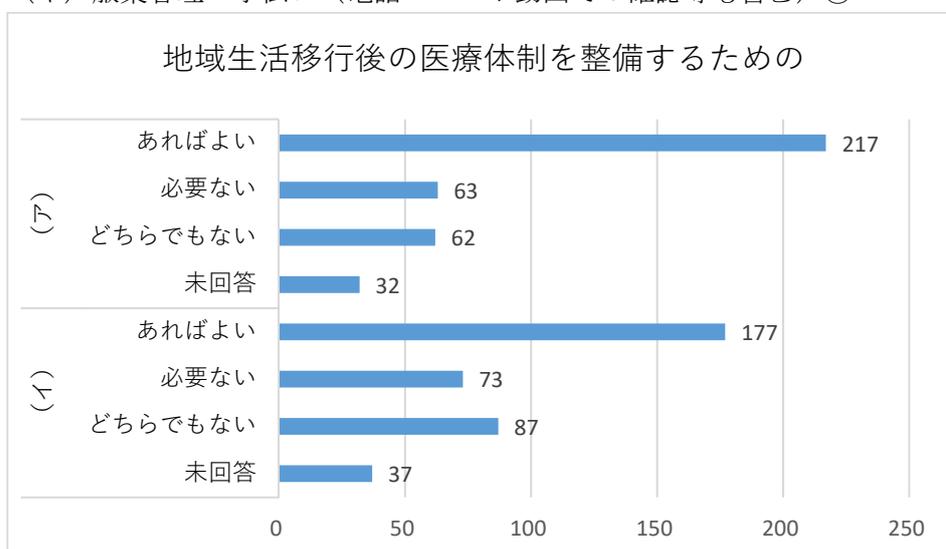
(オ) 本人からの訴えが出来ない人への定期的な訪問等の支援 ⑭



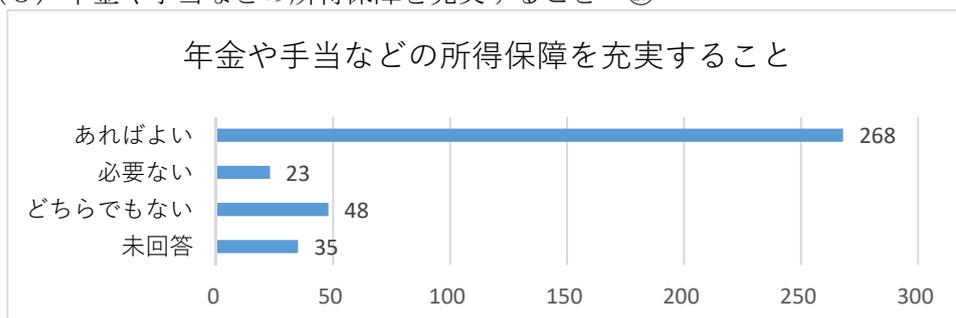
(7) 地域生活移行後の医療体制を整備するための

(ア) 通院の付き添い等の支援・自主通院が可能となるような支援 ⑮

(イ) 服薬管理・手伝い（電話・スマホ動画での確認等も含む） ⑯



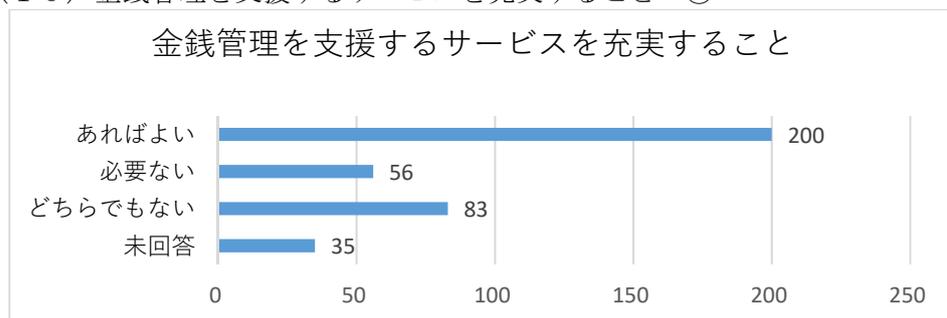
(8) 年金や手当などの所得保障を充実すること ⑰



(9) 成年後見制度といった判断能力の不十分さを補う制度を利用するための支援を充実すること ⑱



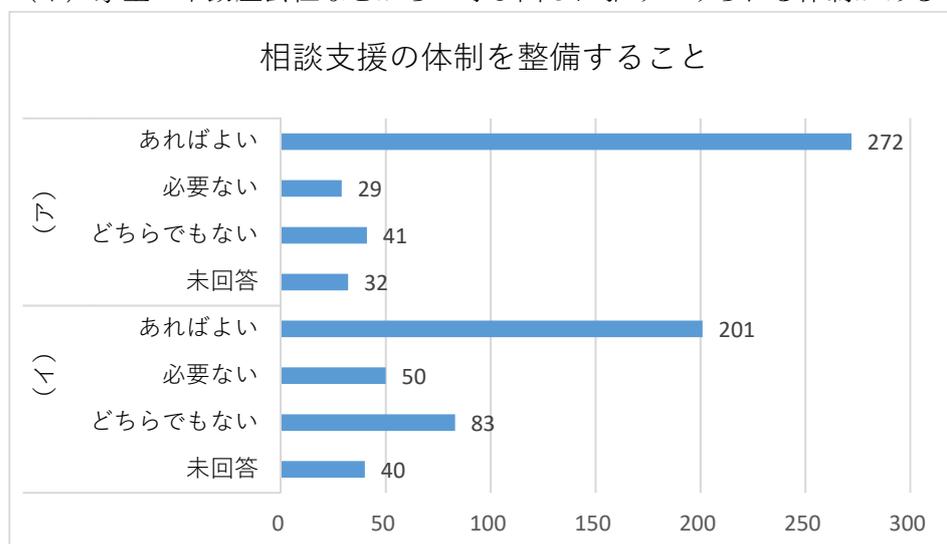
(10) 金銭管理を支援するサービスを充実すること ⑱



(11) 相談支援の体制を整備すること

(ア) 本人が困ったとき・不安な時などに駆けつけられる体制があること ㉔

(イ) 家主・不動産会社などからの呼び出しに駆けつけられる体制があること ㉕



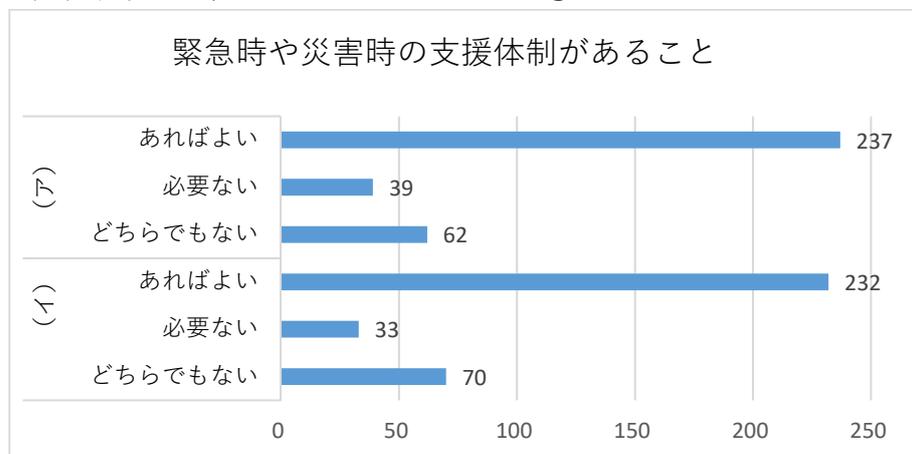
(12) 地域の理解が進むこと ㉖



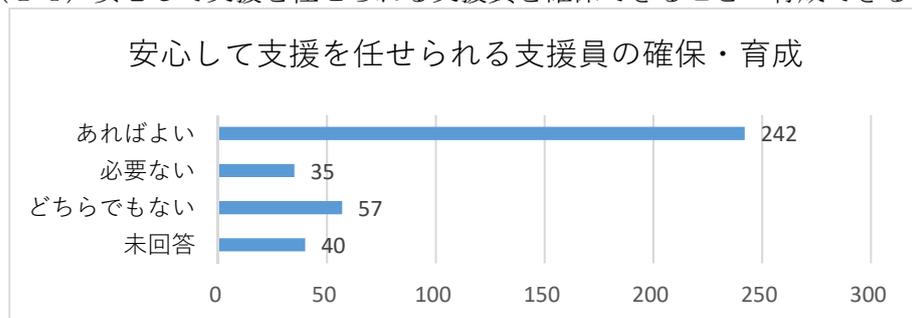
(13) 緊急時や災害時の支援体制があること

(ア) 地域との連携が取れていること ⑳

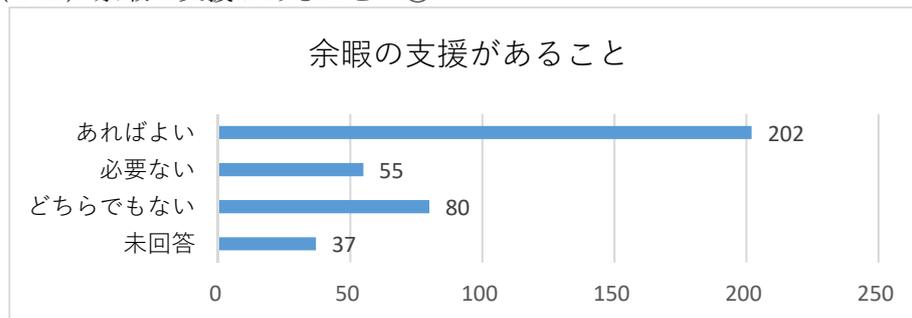
(イ) 行政の災害マニュアルがあること ㉑



(14) 安心して支援を任せられる支援員を確保できること・育成できること ㉒



(15) 余暇の支援があること ㉓



(16) 地域移行を推進するためのスタッフと費用があること ㉔



(17) その他 ㉘

- ・インターネットでの買い物支援
- ・永住
- ・親亡き後、年金だけでは生活できません。そのことがとても不安です
- ・親亡き後も本人が楽しく生活できることを希望します
- ・親亡き後のある程度の資金を持つこと
- ・外出、入浴等、ヘルパー事業が使えてほしい
- ・個人の自由を侵害している設間が多い
- ・支援やサービスを元より必要としていない
- ・支援するスタッフを増やして、一人あたりの負担を軽く（職員側）。支援側とされる側がうまくいくように。負担が増えると僕のような人（苦しむ人）を増やしてしまう
- ・食事作りや買い物などのヘルパーが十分に利用できること
- ・スタッフとの面談
- ・全体的にグループホームが少ないので、これから急ピッチで増やす

①～⑳の中で優先度が高いと思われる項目はどれですか。

		1番	2番	3番	4番	5番
1	①	54	8	4	8	9
2	②	26	14	5	7	7
3	⑰	24	17	19	8	9
4	⑳	21	20	12	19	15
5	⑧	17	17	16	11	8
6	⑨	15	22	11	11	6
7	④	15	14	11	4	2
8	⑥	10	12	5	5	11
9	③	9	15	11	5	4
10	㉕	9	8	11	8	10
11	⑤	8	19	13	17	10
12	⑩	8	15	17	2	9
13	⑭	8	4	13	14	8
14	⑱	8	4	9	9	6
15	⑪	7	19	13	7	9
16	⑬	6	10	12	20	9
17	㉖	6	4	9	12	11
18	⑦	5	10	5	8	9
19	㉗	5	4	2	1	9
20	⑯	5	3	4	2	6
21	㉘	5	0	0	0	0
22	⑮	2	17	15	12	16
23	⑫	2	5	9	8	5
24	㉙	2	2	4	13	8
25	㉑	2	1	5	4	3
26	㉒	2	0	4	5	5
27	⑱	1	1	8	8	6
28	㉔	0	0	1	4	6

※「優先度が高いと思われるもの」の1番に記入された番号の多い順で並べています。

20：この調査票はどなたが記入しましたか。

1.本人が記入した 196人

2.本人の意志を確認しながら、他の人（続柄等： ）が記入した 135人

調査（５）【入所施設・家族等からの回答】

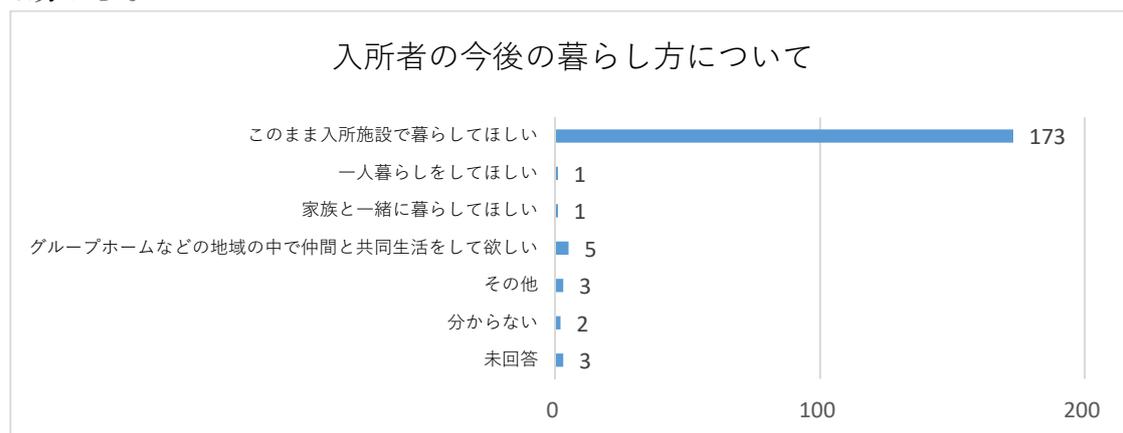
1：入所者との関係と年齢を教えてください。

回答数 188 人

親…97人 兄弟・姉妹…63人 祖父母…0人 子…8人 孫…0人 親戚…8人
 成年後見人(後見人)…6人 成年後見人(保佐人)…0人 成年後見人(補助人)…0人 未回答…6人
 平均の歳…68歳 最低の歳…25歳 最高の歳…92歳

2：入所者の今後の暮らし方についてどのように考えられていますか。

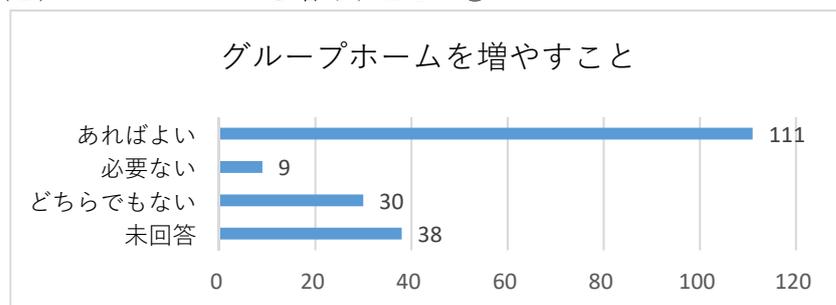
- 1.このまま入所施設で暮らしてほしい
- 2.一人暮らしをしてほしい
- 3.家族と一緒に暮らしてほしい
- 4.グループホームなどの地域の中で仲間と共同生活をしてほしい
- 5.その他
 - ・一応の医療制度のある介護施設に入居させたい
 - ・施設内の環境、衛生、スタッフの態度
 - ・できるだけ自宅近くの施設で暮らしてほしい
 - ・本人の希望重視
- 6.分からない



3：現在の入所施設を退去し、地域での生活をするると仮定した場合、どのような支援やサービスがあればよいと思いますか。

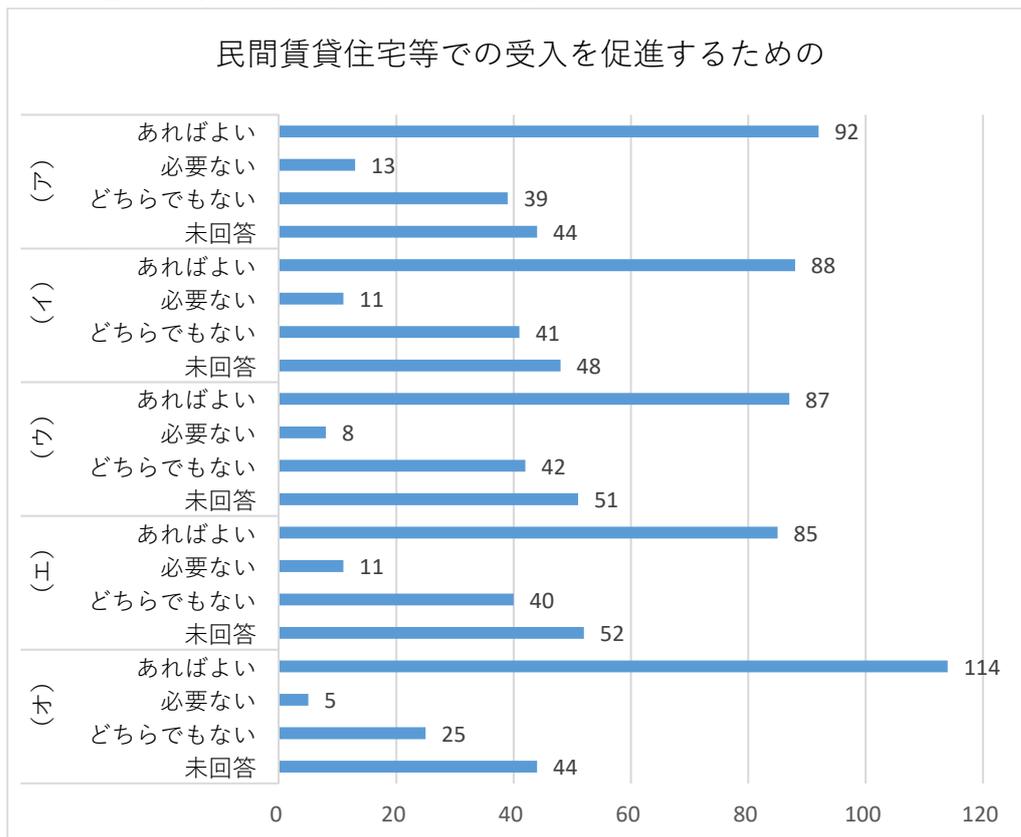
回答は、「1」あればよいと思う 「2」必要ないと思う 「3」どちらでもないの3択
 また、「1」を選んだ中で、特に優先的に取り組んでほしいと思うものを5つ選んでください。
 必ずしも5つ選ぶ必要はありません。

(1) グループホームを増やすこと ①

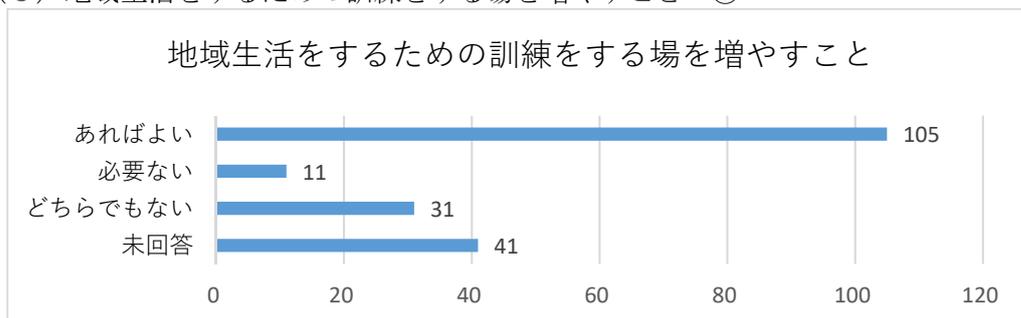


(2) 民間賃貸住宅等での受入を促進するための

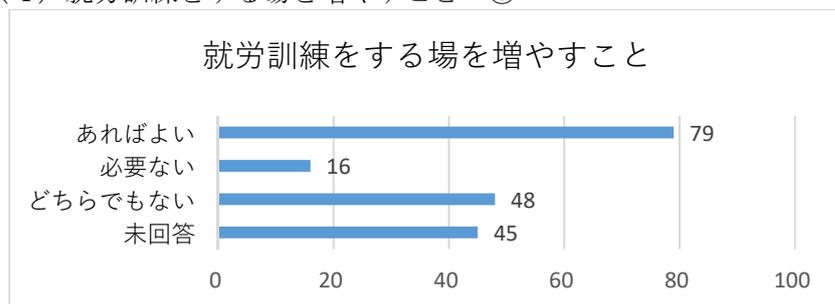
- (ア) 保証人の確保 ②
- (イ) 家賃保証のシステム ③
- (ウ) 精神障がい者の受け入れが可能な住宅の確保 ④
- (エ) 理解ある不動産会社を増やすこと ⑤
- (オ) 近隣住民への理解を増やすこと ⑥



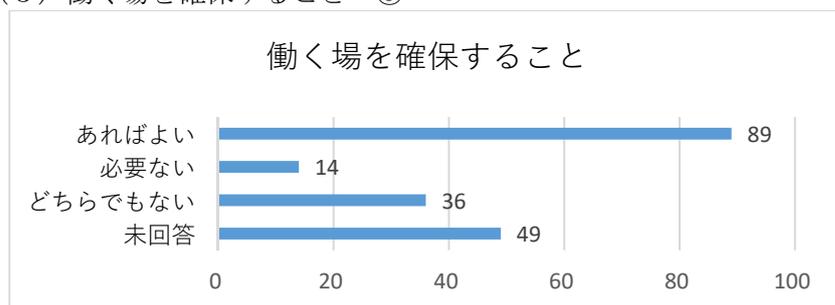
(3) 地域生活をするための訓練をする場を増やすこと ⑦



(4) 就労訓練をする場を増やすこと ⑧

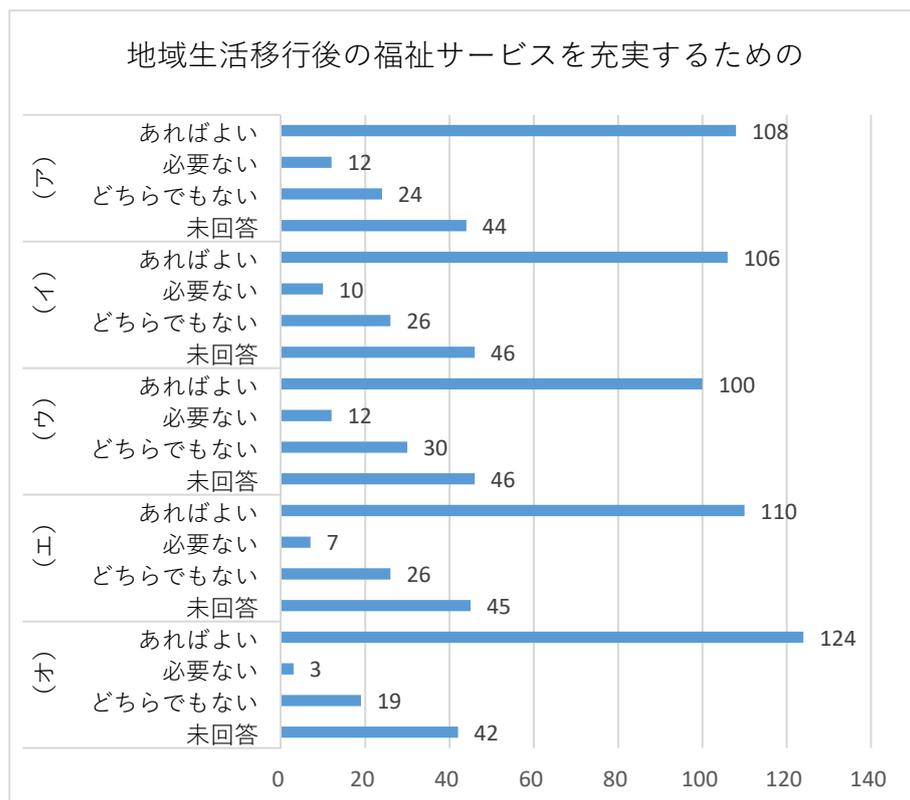


(5) 働く場を確保すること ⑨



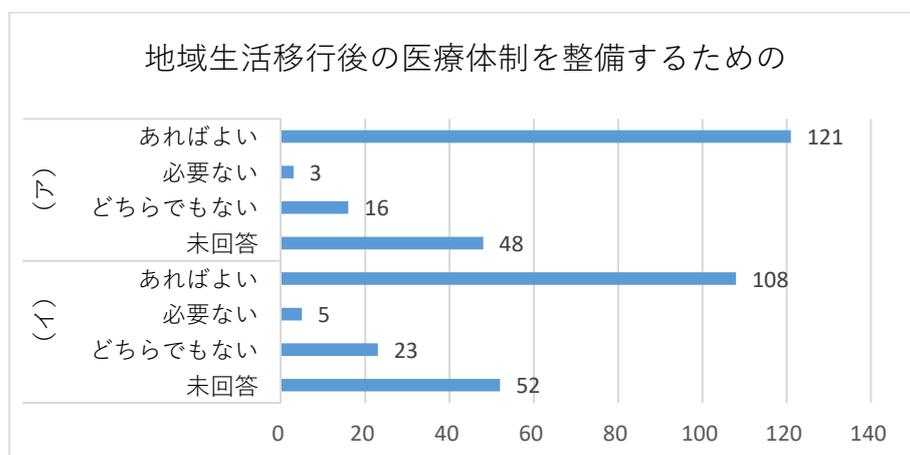
(6) 地域生活移行後の福祉サービスを充実するための

- (ア) 土日祝日等の支援 ⑩
- (イ) 規則正しい生活を継続できるようなハード面での支援（例えば週5日通所する場を確保する等） ⑪
- (ウ) 通所等の支援（必要に応じて電話等での起床の声掛け、出勤確認、移動支援等の規則正しい生活が定着するまでの支援） ⑫
- (エ) 自分に適した環境になるまで一緒に試行錯誤し落ち着く状況までの支援 ⑬
- (オ) 本人からの訴えが出来ない人への定期的な訪問等の支援 ⑭

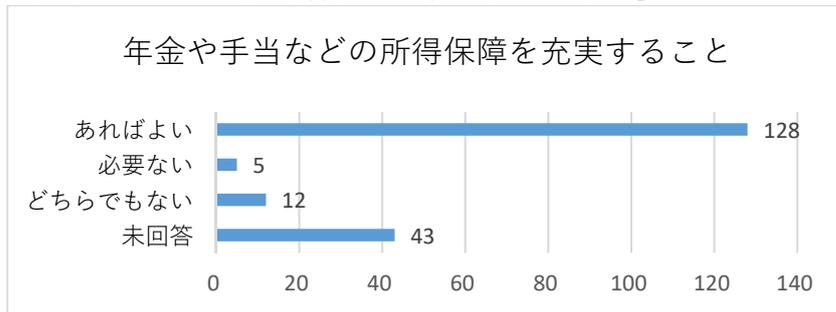


(7) 地域生活移行後の医療体制を整備するための

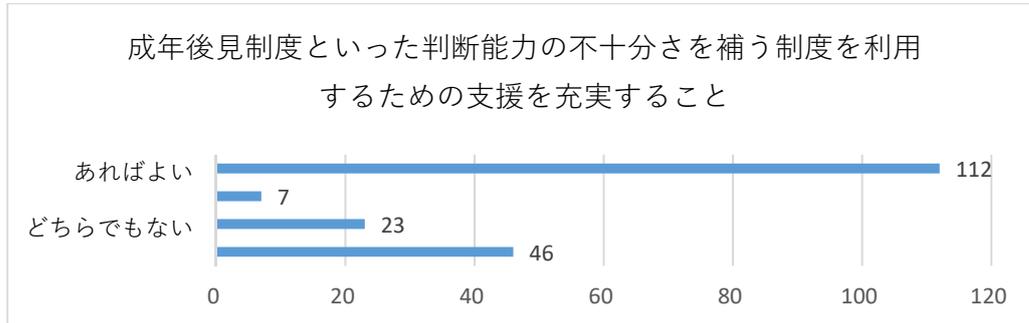
- (ア) 通院の付き添い等の支援・自主通院が可能となるような支援 ⑮
- (イ) 服薬管理・手伝い（電話・スマホ動画での確認等も含む） ⑯



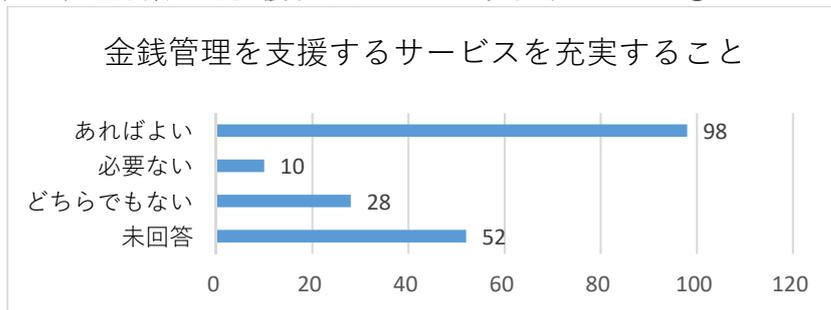
(8) 年金や手当などの所得保障を充実すること ⑰



(9) 成年後見制度といった判断能力の不十分さを補う制度を利用するための支援を充実すること ⑱



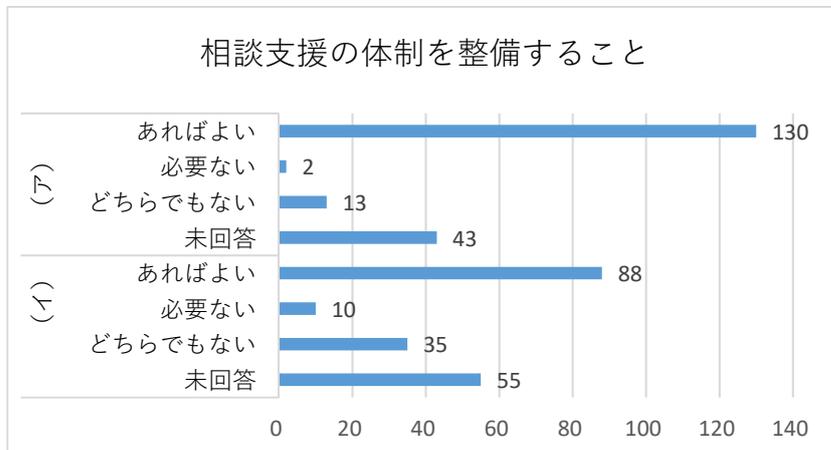
(10) 金銭管理を支援するサービスを充実すること ⑲



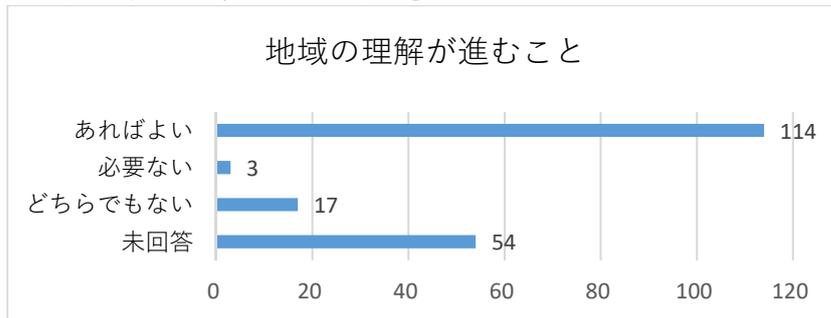
(11) 相談支援の体制を整備すること

(ア) 本人が困ったとき・不安な時などに駆けつけられる体制があること ⑳

(イ) 家主・不動産会社などからの呼び出しに駆けつけられる体制があること ㉑



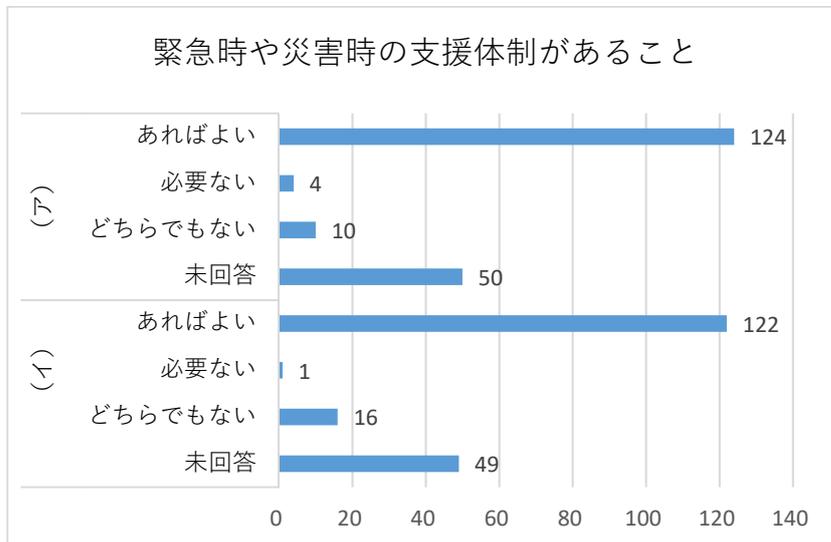
(12) 地域の理解が進むこと ⑳



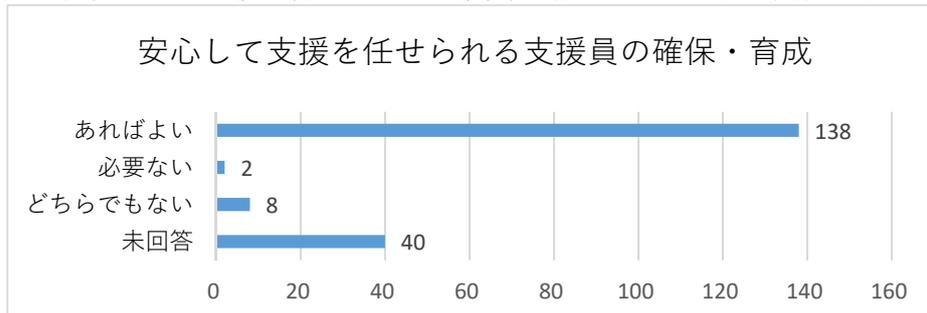
(13) 緊急時や災害時の支援体制があること

(ア) 地域との連携が取れていること ㉓

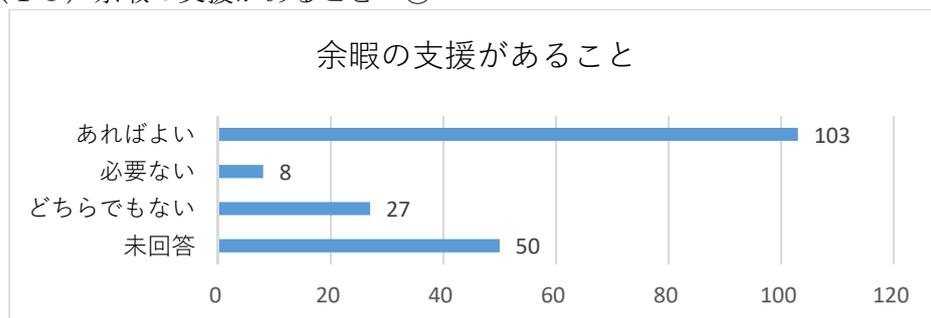
(イ) 行政の災害マニュアルがあること ㉔



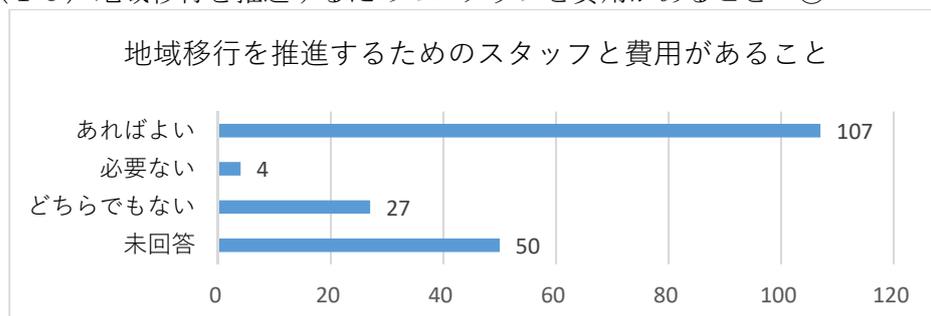
(14) 安心して支援を任せられる支援員を確保できること・育成できること ㉕



(15) 余暇の支援があること ⑳



(16) 地域移行を推進するためのスタッフと費用があること ㉑



(17) その他 ㉒

- ・ 金銭の不正利用など第3者のサービスをさらにチェックする体制
- ・ グループホームで数年暮らしたが、結局土日祝日や夕方から夜間翌朝まで放置状態だったのでトラブルが多く、親は疲れ果てた
- ・ 公的支援が必要
- ・ 高齢化、病気入院後の対応、見通し
- ・ 高齢の入所者が介護施設へスムーズに移行できるようご配慮願えれば大変ありがたいです
- ・ 個人法人等いろいろな人がグループホームを運営しているが、金銭面での継続性に不安がある
- ・ 常時、本人の体調や精神状態を把握し対応できる体制が必要である
- ・ 退去しての生活は無理です
- ・ 地域で暮らすことは考えられない。最重度の者は生涯施設にお願いしたい
- ・ 病気になった時の入院が大変かと思えます

①～⑳の中で優先度が高いと思われる項目はどれですか。

		1 番	2 番	3 番	4 番	5 番
1	①	29	7	2	4	2
2	⑰	20	5	7	5	4
3	㉕	16	11	6	5	11
4	⑥	10	11	4	1	2
5	⑬	6	4	10	5	4
6	⑮	4	7	12	9	8
7	⑧	4	7	3	8	1
8	⑱	4	6	3	8	1
9	⑪	4	4	7	9	4
10	②	4	3	2	4	1
11	㉒	4	2	2	0	2
12	⑭	3	14	6	10	16
13	⑳	3	10	9	7	11
14	③	3	4	2	3	2
15	㉓	3	2	6	5	3
16	㉔	3	0	0	1	1
17	⑩	2	6	5	2	1
18	⑯	2	5	6	6	4
19	⑫	2	3	6	7	1
20	⑦	2	3	8	1	2
21	④	2	3	6	2	0
22	⑨	2	2	5	3	6
23	⑰	2	2	1	2	6
24	㉗	2	1	4	2	6
25	㉖	1	2	0	2	3
26	㉔	1	1	1	5	3
27	⑤	0	3	0	1	4
28	㉑	29	7	2	4	2

※「優先度が高いと思われるもの」の1番に記入された番号の多い順で並べています。

調査（6）【グループホーム・家族等からの回答】

1：利用者の年齢と性別を教えてください。

回答数 157 人

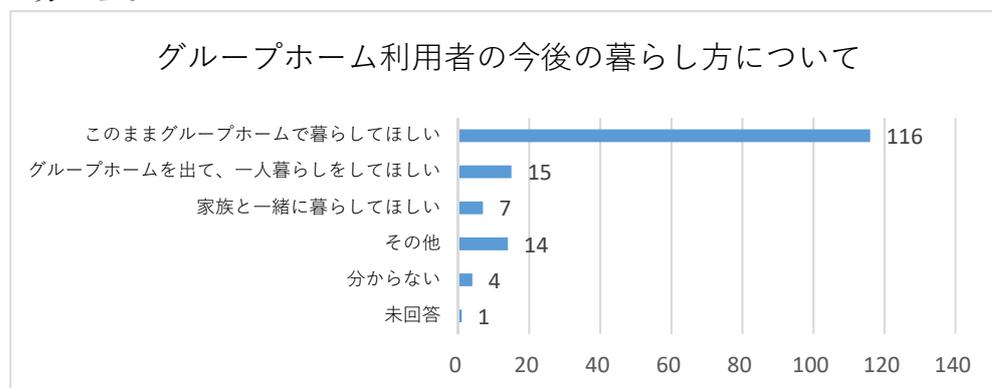
親…112 人 兄弟・姉妹…35 人 祖父母…0 人 子…2 人 孫…1 人 親戚…2 人

成年後見人(後見人)…1 人 成年後見人(保佐人)…0 人 成年後見人(補助人)…0 人 未回答…4 人

平均の歳…65 歳 最低の歳…35 歳 最高の歳…92 歳

2：グループホーム利用者の今後の暮らし方についてどのように考えられていますか。

- 1.このままグループホームで暮らしてほしい
- 2.グループホームを出て、一人暮らしをしてほしい
- 3.家族と一緒に暮らしてほしい
- 4.その他
 - ・親亡き後も何かストレス解消、気分転換できるものがあればと思う
 - ・ケアホームでの同居
 - ・自立に向けてグループホームで今は暮らして欲しい
 - ・本人の状態（年齢や障がいの状況）に合わせて尊厳のある暮らしができるところで暮らしてほしい。ただ、慣れるのに時間がかかるので、いくつも変わることは難しい
 - ・老人ホーム（グループホームが利用できないとき）
- 5.分からない



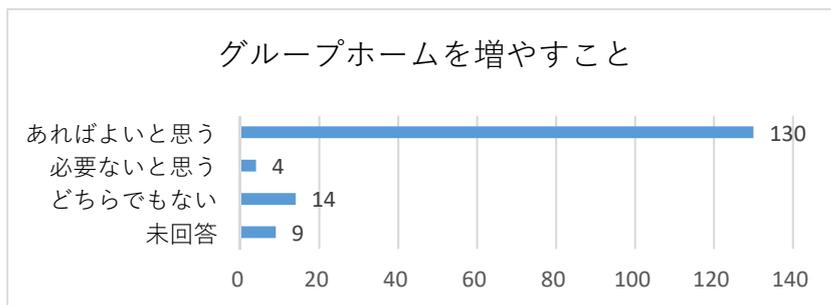
3：現在、グループホームを利用している方が、地域での生活をする場合、どのような支援やサービスがあればよいと思いますか。

回答は、「1」あればよいと思う「2」必要ないと思う「3」どちらでもないの3択

また、「1」を選んだ中で、特に優先的に取り組んでほしいと思うものを5つ選んでください。

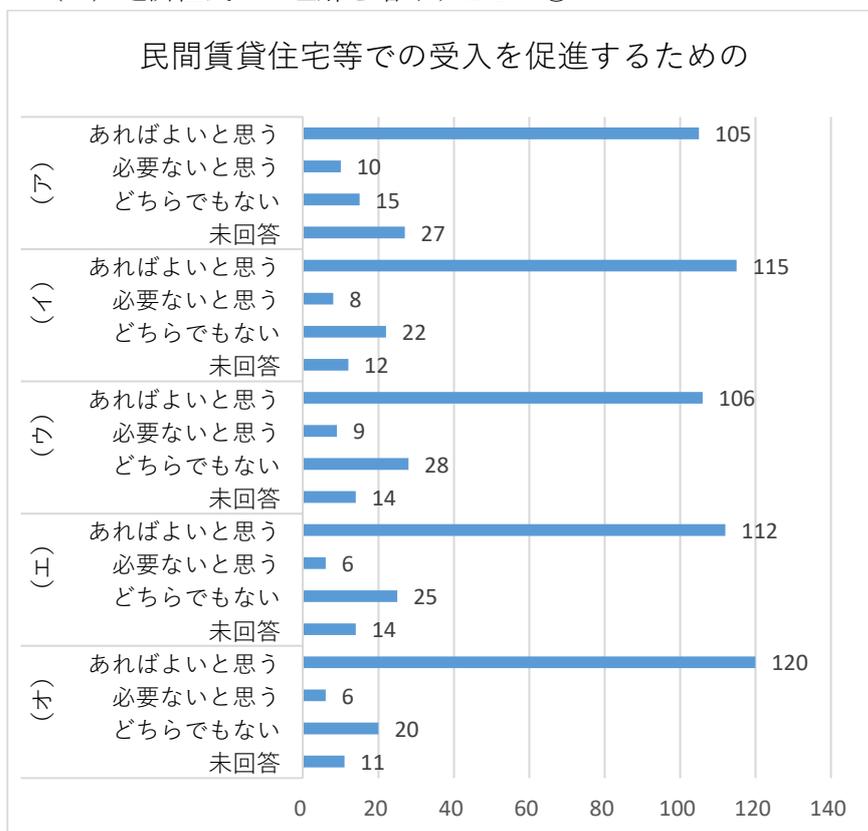
必ずしも5つ選ぶ必要はありません。

(1) グループホームを増やすこと ①



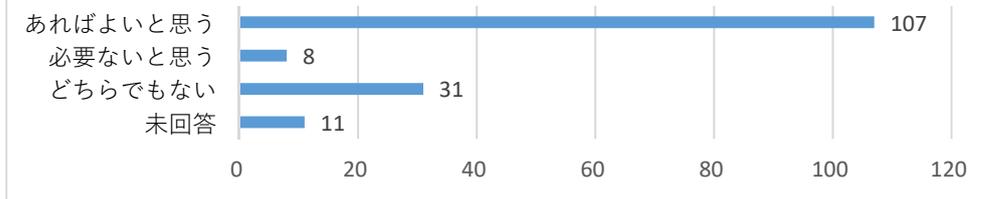
(2) 民間賃貸住宅等での受入を促進するための

- (ア) 保証人の確保 ②
- (イ) 家賃保証のシステム ③
- (ウ) 精神障がい者の受け入れが可能な住宅の確保 ④
- (エ) 理解ある不動産会社を増やすこと ⑤
- (オ) 近隣住民への理解を増やすこと ⑥

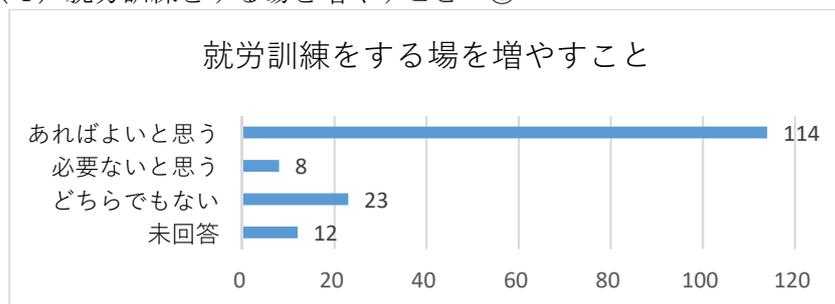


(3) 地域生活をするための訓練をする場を増やすこと ⑦

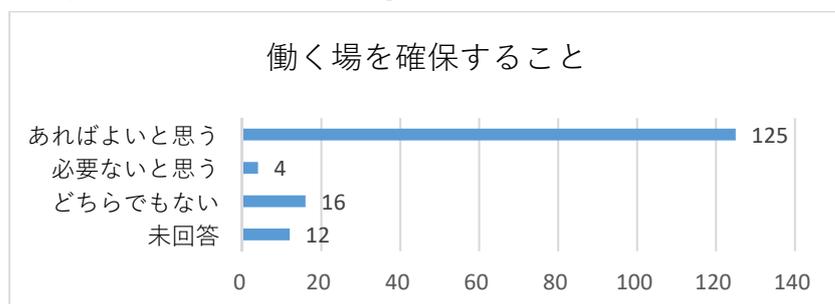
地域生活をするための訓練をする場を増やすこと



(4) 就労訓練をする場を増やすこと ⑧

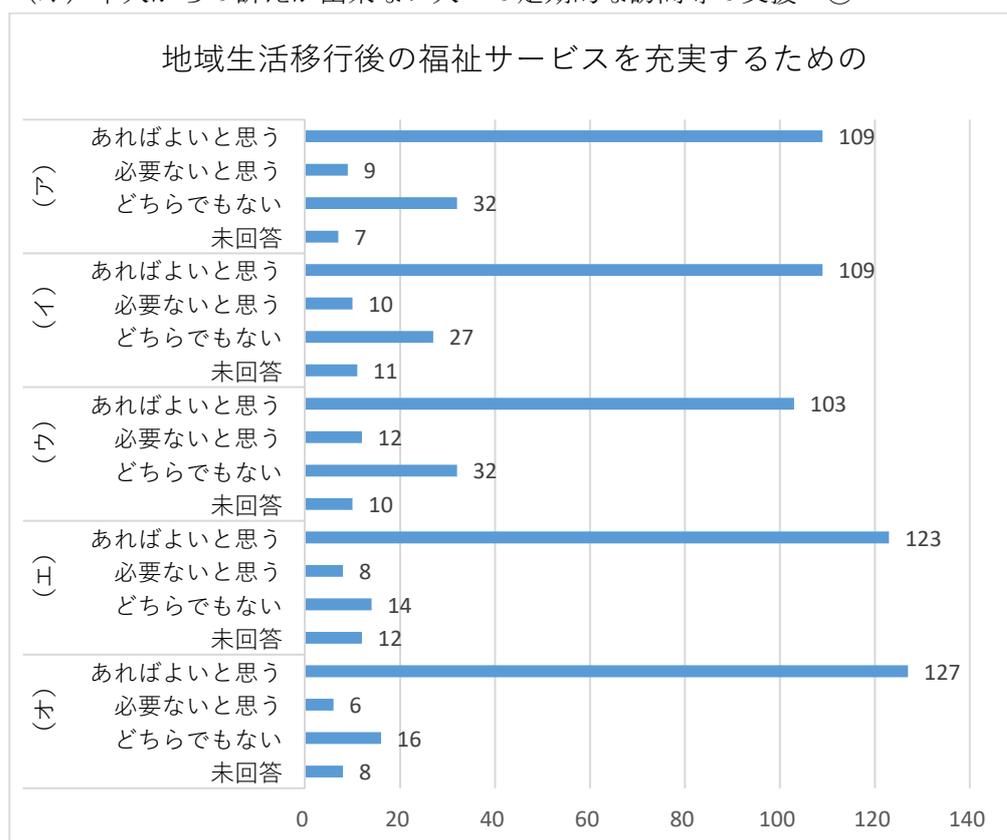


(5) 働く場を確保すること ⑨



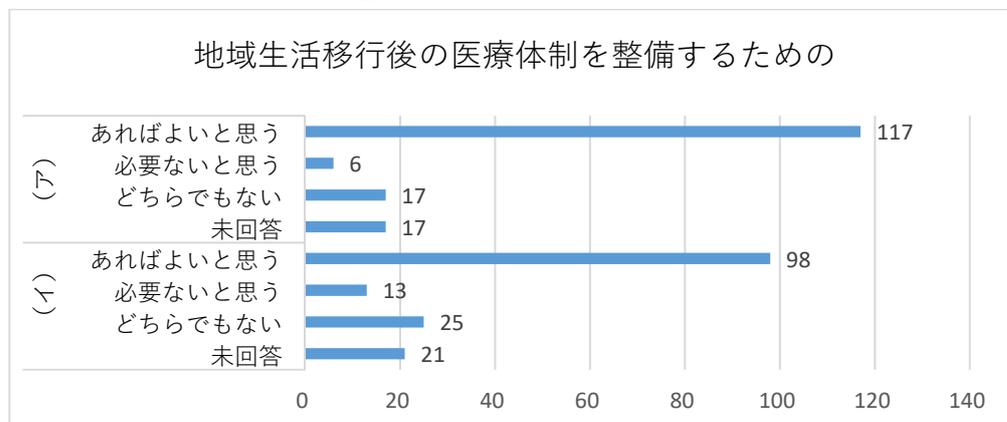
(6) 地域生活移行後の福祉サービスを充実するための

- (ア) 土日祝日等の支援 ⑩
- (イ) 規則正しい生活を継続できるようなハード面での支援（例えば週5日通所する場を確保する等） ⑪
- (ウ) 通所等の支援（必要に応じて電話等での起床の声掛け、出勤確認、移動支援等の規則正しい生活が定着するまでの支援） ⑫
- (エ) 自分に適した環境になるまで一緒に試行錯誤し落ち着く状況までの支援 ⑬
- (オ) 本人からの訴えが出来ない人への定期的な訪問等の支援 ⑭

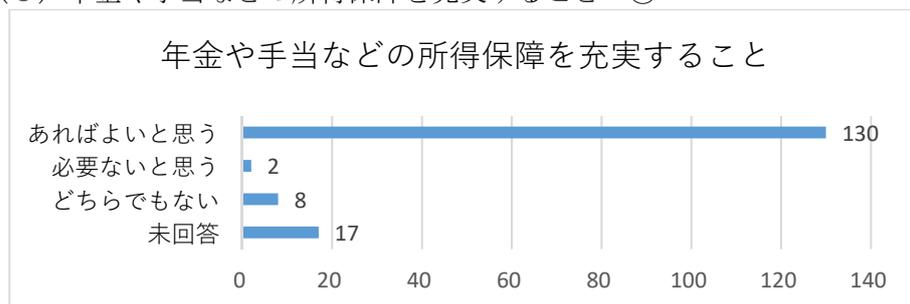


(7) 地域生活移行後の医療体制を整備するための

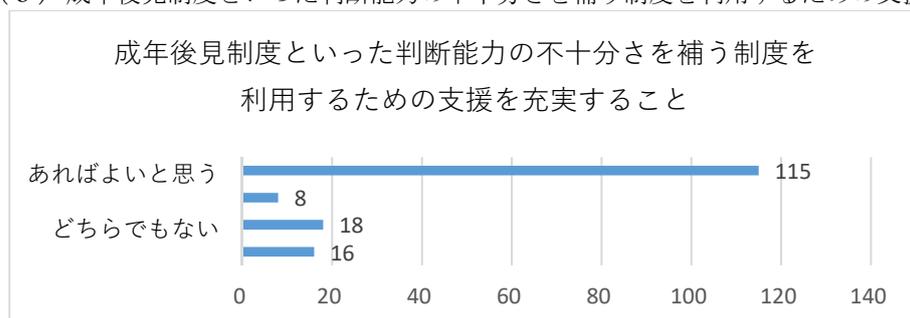
- (ア) 通院の付き添い等の支援・自主通院が可能となるような支援 ⑮
- (イ) 服薬管理・手伝い（電話・スマホ動画での確認等も含む） ⑯



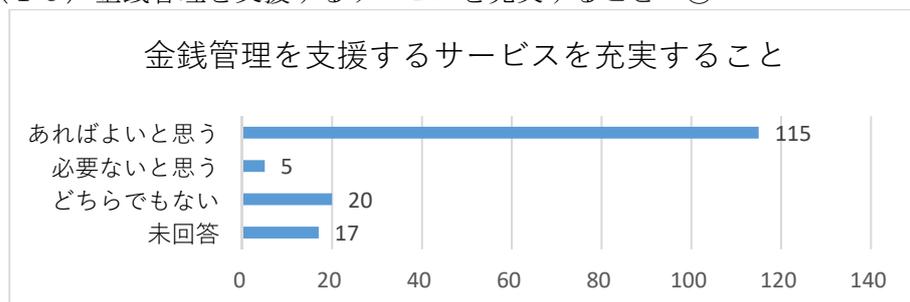
(8) 年金や手当などの所得保障を充実すること ⑰



(9) 成年後見制度といった判断能力の不十分さを補う制度を利用するための支援を充実すること ⑱



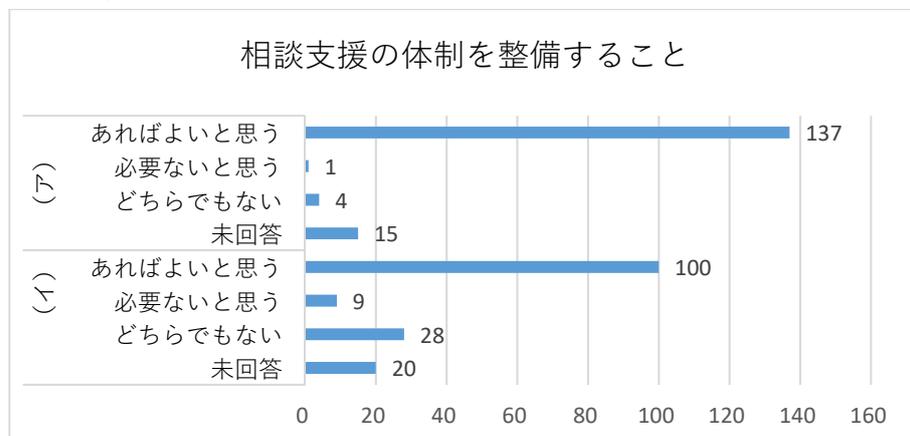
(10) 金銭管理を支援するサービスを充実すること ⑲



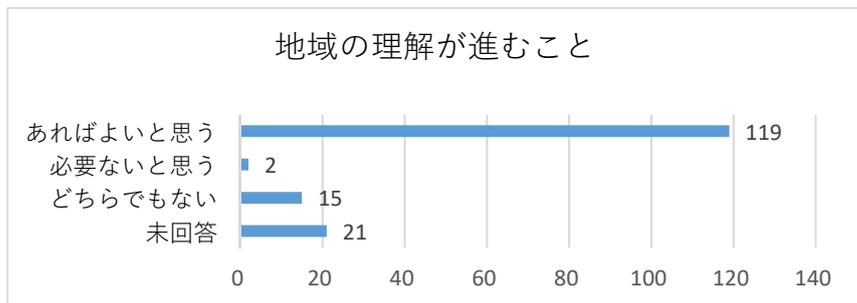
(11) 相談支援の体制を整備すること

(ア) 本人が困ったとき・不安な時などに駆けつけられる体制があること ⑳

(イ) 家主・不動産会社などからの呼び出しに駆けつけられる体制があること ㉑



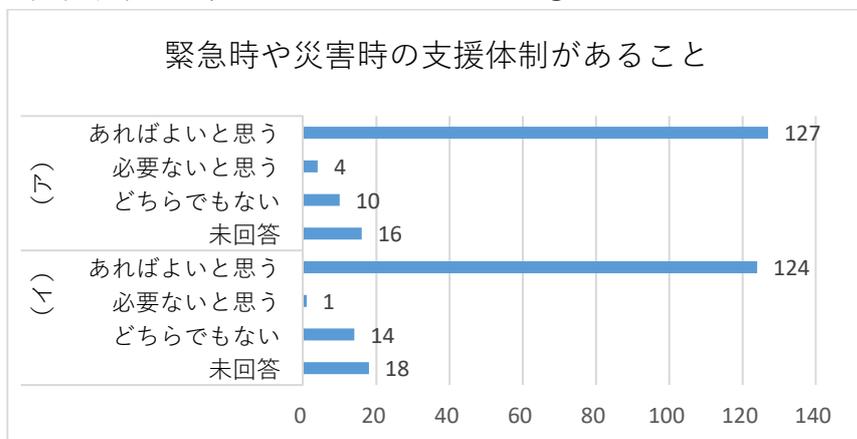
(12) 地域の理解が進むこと ②②



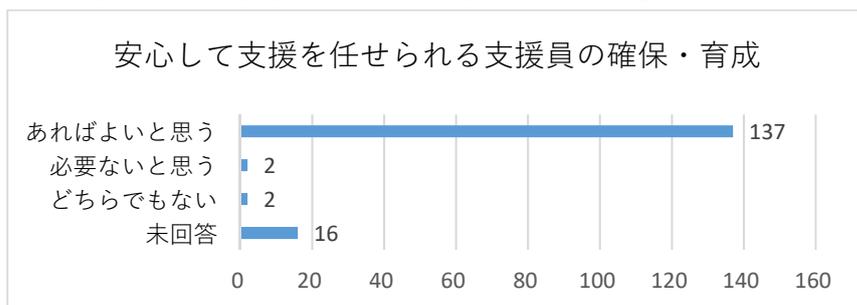
(13) 緊急時や災害時の支援体制があること

(ア) 地域との連携が取れていること ②③

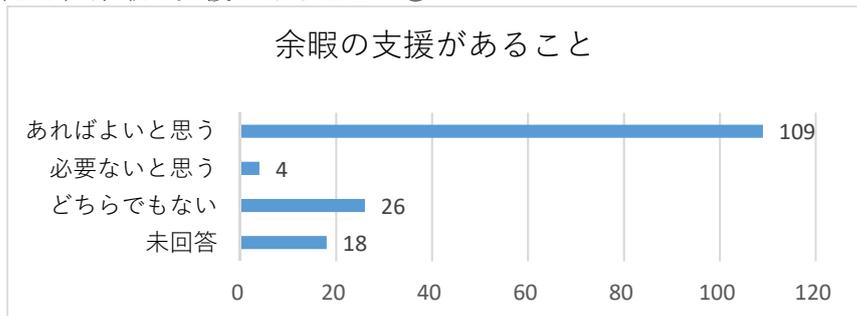
(イ) 行政の災害マニュアルがあること ②④



(14) 安心して支援を任せられる支援員を確保できること・育成できること ②⑤



(15) 余暇の支援があること ②⑥



(16) 地域移行を推進するためのスタッフと費用があること ⑳



(17) その他 ㉑

- ・親亡き後など日々の生活において分からないことや困った事等をいつでも相談できる場所があればよい
- ・休日や入浴、食事介助等別に必要
- ・グループホームの中で食事以外でゲームをしたり楽しめるスペースがあればと思います
- ・交通の便がよく生活しやすい立地のグループホームを増やして欲しい
- ・公的に制度化されること、ボランティアでないこと
- ・個々の障がいに応じた適切な支援を受けること。知的、身体的では全く違うと思います
- ・支援されているだけでなく暮らしを感じるような支援
- ・障がい年金で暮らせるようになってほしい
- ・保護者が亡くなった後も一人で生活（自立）できるような施設等環境の充実を切に望んでおります
- ・夜間の相談を電話で出来る

①～⑳の中で優先度が高いと思われる項目はどれですか。

		1 番	2 番	3 番	4 番	5 番
1	①	33	4	5	3	8
2	㉕	14	11	10	6	10
3	⑨	12	11	7	9	7
4	⑰	11	5	9	11	5
5	④	7	9	10	1	0
6	⑥	7	8	1	4	2
7	⑭	6	4	6	9	6
8	⑱	5	8	3	7	7
9	⑧	5	7	7	4	4
10	③	5	7	4	5	1
11	㉒	4	8	17	11	11
12	⑦	4	4	3	0	3
13	⑪	3	7	11	6	4
14	㉔	3	2	0	0	4
15	⑬	3	4	10	8	5
16	⑮	2	6	6	11	9
17	⑩	2	5	9	4	1
18	㉗	2	3	2	0	8
19	㉘	2	2	3	1	0
20	⑲	2	2	1	4	7
21	②	1	6	1	1	1
22	⑤	1	5	3	7	0
23	㉙	1	2	2	4	4
24	㉚	1	1	0	3	0
25	⑯	0	2	2	1	7
26	㉖	0	2	1	5	5
27	⑫	0	1	2	3	4
28	㉛	0	1	0	1	0

※「優先度が高いと思われるもの」の1番に記入された番号の多い順で並べています。